

平成25年度 秋期スクーリングの手引

東京スクーリング

第1期 10月12日～10月14日
第2期 10月26日～10月28日
※体育実技のみ 10月19・20・26・27日
第3期 11月16・17・23・24日 } 通信教育部1号館ほか

地方スクーリング

第1期 10月26日～10月28日 札幌・大阪
第2期 11月 2日～11月 4日 仙台・大垣・福岡

夜間スクーリング

10月21日～12月16日 通信教育部1号館ほか

スクーリング受講手続日程

		東京第1・2期	東京第3期	地方第1・2期	夜間
①	受講申込締切日	9月4日(水) <u>在学生専用サポート（Web報）【24:00まで】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【消印有効】</u>	10月15日(火)	9月4日(水)	9月4日(水)
	受講許可通知書発送予定日	9月25日(水) ※発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。	10月29日(火)	10月2日(水)	10月2日(水)
②	受講辞退手続締切日	10月2日(水) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>	11月6日(水)	10月11日(金)	10月9日(水)
③	受講料納入期限	10月9日(水) <u>銀行窓口にて【厳守】</u>	11月13日(水)	10月21日(月)	10月16日(水)
	結果通知発送予定日	12月上旬 <u>在学生専用サポート（Web報）にも掲載します。</u>	12月下旬	12月上旬	1月下旬

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の④、⑤も手続きしてください。

④	履修登録締切日	8月16日(金) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>	10月1日(火)	8月16日(金)	8月16日(金)
⑤	リポート提出締切日	9月4日(水) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>	10月15日(火)	9月4日(水)	9月4日(水)



日本大学通信教育部

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、秋期に実施される東京、地方及び夜間スクーリングの実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみの受講の場合は、ある科目をスクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等にも記載されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、およそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- ① 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- ② 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- ③ 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- ④ 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- ⑤ 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

<h2>I 講座の選定</h2> <p>1 受講講座の選定 2 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について 4 3 「開講講座表」の見方 5</p> <h2>II 東京スクーリング</h2> <p>1 開講日程 6 2 実施会場 6 3 「体育実技」実施日程、授業時間及び会場 6</p> <p>◆開講講座表及び講座内容（シラバス） ・第1期 8 ・第2期 16 ・第3期 25</p> <h2>III 地方スクーリング</h2> <p>1 開催地及び開講日程 34 2 実施会場 34</p> <p>◆開講講座表、会場及び講座内容（シラバス） ・第1期 札幌 35 ・第1期 大阪 38 ・第2期 仙台 41 ・第2期 大垣 43 ・第2期 福岡 46</p> <h2>IV 夜間スクーリング</h2> <p>1 開講日程 48 2 実施会場 48 3 開講講座 48</p> <p>◆開講講座表及び講座内容（シラバス） ・月曜日 50 ・火曜日 54 ・水曜日 59 ・木曜日 64 ・金曜日 69</p> <h2>V 講座の申込方法</h2> <p>1 受講手続の流れ 74 2 講座を申し込む 75 3 受講講座の変更・追加 79</p> <h2>VI 申込講座の許可と不許可</h2> <p>1 受講許可通知書を確認する 80 2 講座振り分け及び受講不許可について 81 3 許可講座を辞退する 81</p> <h2>VII 受講料の納入</h2> <p>1 受講料 84 2 納入期限 84 3 納入方法 84</p>	<h2>目次</h2> <h2>VIII 受講準備</h2> <p>1 使用教材の購入 86 2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行 88 3 通学定期券の購入 88 4 「学割証」の発行 89 （長距離区間乗車時の学生割引制度）</p> <h2>IX 受講及び試験</h2> <p>1 講座の受講 92 2 試験の受験 92 3 スクーリング結果の確認 93</p> <h2>X 受講期間中の学生生活</h2> <p>1 受講にあたっての諸注意 94 2 スクーリング期間中の滞在先届 95 3 「千代田区生活環境条例」について 95 4 緊急時の避難行動の指針について 95</p> <h2>XI 各種用紙</h2> <p>「為替」送付時の注意事項 98 教材購入用紙（丸沼書店用） 99 教材購入願（通信教育教材用） 101 追加科目履修届 103 通学定期乗車券発行控 105 学割証交付願 107 滞在先届 109 休暇依頼状（勧奨状）申込書 111 <受講申込辞退願> 東京スクーリング（秋期）第1・2期 113 受講申込辞退願 113 東京スクーリング（秋期）第3期 115 受講申込辞退願 115 地方スクーリング（秋期）第1・2期 117 受講申込辞退願 117 夜間スクーリング（秋期） 119 受講申込辞退願 119</p> <h2>■ 付録</h2> <p>1 東京スクーリング（秋期）宿泊施設の利用案内 121 2 交通案内・校舎案内 124 スクーリング手続 チェックシート 126</p> <p><受講届>東京スクーリング（秋期）第1・2期 <受講届>東京スクーリング（秋期）第3期 <受講届>地方スクーリング（秋期）第1・2期 <受講届>夜間スクーリング（秋期）</p>
--	---

I 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。ただし、東京スクーリング第2期と地方スクーリング第1期については、開講期間が重複するため、いずれか一方のみの申込みとなります。各自、入学時に配布された『学習要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできないので注意してください。

(3) カリキュラムによる受講制限

カリキュラムの適用により、受講できない講座があります。自分のカリキュラムを次ページで確認し、後掲の「開講講座表」の「制限・注意」欄を参照してください。

【平成 25 年度のカリキュラム適用状況】

各自の学生（科目履修生）番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

種別	入学年度	学生（科目履修生）番号の 3～5 桁目の表示		適用カリキュラム
		4月生	10月生	
正科生	平成 14 年度	** 021 ***	** 025 ***	C カリキュラム
	平成 15 年度	** 031 ***	** 035 ***	D カリキュラム
		** 032 ***	** 036 ***	C カリキュラム
	平成 16 年度	** 041 ***	** 045 ***	D カリキュラム
		** 042 ***	** 046 ***	
		** 043 ***	** 047 ***	C カリキュラム
	平成 17 年度	** 051 ***	** 055 ***	D カリキュラム
		** 052 ***	** 056 ***	
		** 053 ***	** 057 ***	
		** 054 ***	** 058 ***	C カリキュラム
	平成 18 年度	** 061 ***	** 065 ***	C カリキュラム
		** 062 ***	** 066 ***	
		** 063 ***	** 067 ***	
		** 064 ***	** 068 ***	
	平成 19 年度	** 071 ***	** 075 ***	D カリキュラム
		** 072 ***	** 076 ***	
		** 073 ***	** 077 ***	
		** 074 ***	** 078 ***	
	平成 20 年度	** 081 ***	** 085 ***	D カリキュラム
		** 082 ***	** 086 ***	
		** 083 ***	** 087 ***	
		** 084 ***	** 088 ***	
	平成 21 年度	** 091 ***	** 095 ***	D カリキュラム
		** 092 ***	** 096 ***	
		** 093 ***	** 097 ***	
		** 094 ***	** 098 ***	
	平成 22 年度	** 101 ***	** 105 ***	D カリキュラム
		** 102 ***	** 106 ***	
		** 103 ***	** 107 ***	
		** 104 ***	** 108 ***	
	平成 23 年度	** 111 ***	** 115 ***	D カリキュラム
		** 112 ***	** 116 ***	
		** 113 ***	** 117 ***	
		** 114 ***	** 118 ***	
	平成 24 年度	** 121 ***	** 125 ***	D カリキュラム
		** 122 ***	** 126 ***	
		** 123 ***	** 127 ***	
		** 124 ***	** 128 ***	
	平成 25 年度	** 131 ***	** 135 ***	D カリキュラム
		** 132 ***	** 136 ***	
		** 133 ***	** 137 ***	
		** 134 ***	** 138 ***	
科目 履修生	平成 24 年度	** 120 ***	_____	D カリキュラム
	平成 25 年度	** 130 ***	_____	

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同一の場合は申込みできません。

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ず「受講許可通知書」にて、講座名・担当講師を確認し、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
0904	教育の思想	0901	教育原論
0941	道徳教育の研究	0940	道徳教育の理論と方法
0942	特別活動の研究	0943	特別活動論
0947	教育カウンセリング論	0937	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成23年度	1学年入学生
		平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生
		平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（2桁）には、この講座コードを記入してください。						
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。						
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。						
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は限定的ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（4桁）には、この科目コードを記入してください。						
5	受講方式	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「※印」が記載されています。						
6	制限・注意	<table border="1"> <tr> <td>配 当 学 年</td> <td>ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。</td> </tr> <tr> <td>受 講 条 件</td> <td>その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。</td> </tr> </table>	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。	カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。	受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。							
カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。							
受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。							

II 東京スクーリング

1 開講日程

開講期	日程	授業時間
第1期	12日(土) 10月 13日(日)	9:30~18:30 9:00~18:30
	14日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
	26日(土) 10月 27日(日)	9:30~18:30 9:30~18:30
第2期 (体育実技を除く)	28日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
	16日(土) 11月 17日(日)	13:00~18:30 9:00~16:30
	23日(土) 24日(日)	13:00~18:30 9:00~16:00 <試験も含む>

[注意] 第2期に開講の「体育実技」は日程、授業時間及び会場が異なります。

- ※ 期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※ 授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※ 各期から1講座のみ申し込みできます。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3
交通案内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 「体育実技」実施日程、授業時間及び会場

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
10月19日(土)	18:00~21:30
10月20日(日)	9:00~17:00
10月26日(土)	18:00~21:30
10月27日(日)	9:00~17:00

※ 第2期の他講座と日程、授業時間及び会場が異なります。

b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「案内図」参照）

c 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・スクーリング受講許可通知書兼領収書

d 「体育実技」の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

f 注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。

〈文理学部案内図〉

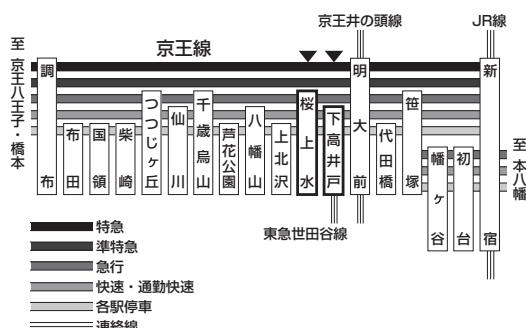
(住 所)

東京都世田谷区桜上水3-25-40

(交通案内)

京王線下高井戸駅又は、桜上水駅下車

徒歩約10分



◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京
第1期

日 程		授 業 時 間	備 考
10月12日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
10月13日	日	9:00～18:30	
10月14日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
A1	美 術 史	小野 佳代	0019	美 術 史		1年	D	
A2	日本史入門	八馬 朱代	0095	日本史入門		条件 参照		・史学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可
A3	商 法 II	松嶋 康尚	0143	商 法 II		2年		
A4	労 働 法	新谷 真人	0171	労 働 法		2年		
A5	国文学講義Ⅲ(中世)	鹿野 しのぶ	0334	国文学講義Ⅲ(中世)		2年		
A6	国語学概論	保科 恵	0351	国語学概論		条件 参照		・国文学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可
A7	英米事情 I	石川 勝	0476	英米事情 I	※	2年		・英文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
A8	異文化間コミュニケーション概論	武井 朗子	0478	異文化間コミュニケーション概論	※	2年		・英文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
A9	倫理学概論 A	上 憲治	0533	倫理学概論		2年		
AA	東洋史演習	綿貫 哲郎	0686	東洋史演習 I	※	3年		・史学専攻のみ申込可 ・I・IIのどちらに該当されるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0687	東洋史演習 II				
AB	租 税 論	吉田 達雄	0744	租 税 論		2年		
AC	教 育 の 社 会 学	張 琥華	0907	教育の社会学	※	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
AD	人文地理学概論	小倉 真	0975	人文地理学概論		2年		・法学部・史学専攻・経済学部のみ申込可
AE	博物館資料保存論	青木 繁夫	2013	博物館資料保存論	※	2年	D	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆名品でたどる日本美術史

[美術史]

開講単位：2単位 担当者：小野 佳代

◆学習目標 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術の名品を取り上げ、作品が生み出された歴史的背景や中国からの影響を理解しつつ、作品の技法や様式など美術史的な特徴を学んでいきます。飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術史の流れを理解することが目的です。

◆授業方法 講義形式で行います。取り上げる作品および関連事項について概説したうえで、スライドで作品を映写しながら着目すべき点などを指摘します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で解説したポイントを自分自身の目で確認し理解することが重要です。

◆準備学習 飛鳥時代から平安時代までの代表的仏像や絵画を、あらかじめ写真図版で確認しておくことが望ましい。
『美術史 0019』（通信教育教材）掲載の図版はいずれも代表的作品です。よく観察しておいてください。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥・白鳳時代の歴史 ・飛鳥時代の美術（飛鳥大仏、法隆寺金堂釈迦三尊像、夢殿救世觀音像、法隆寺百濟觀音像、中宮寺天寿国織帳） ・白鳳時代の美術（伊山田寺仏頭、法隆寺夢違觀音、法隆寺橘夫人念持仏厨子、法隆寺金堂壁画、高松塚古墳壁画）
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・天平・平安時代前期の歴史 ・天平時代の美術（法隆寺五重塔初層塑像、藥師寺藥師三尊像、興福寺十大弟子・八部衆像、東大寺戒壇院四天王像、唐招提寺鑑真像・木彫群、鳥毛立女屏風など） ・一木造と檀像彫刻、密教美術の開花（東寺講堂立体曼荼羅など）
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代後期・鎌倉時代の歴史 ・平安時代後期の美術（平等院鳳凰堂阿弥陀像、淨瑠璃寺阿弥陀像、平家納経、源氏物語絵巻など） ・鎌倉時代の美術（興福寺北円堂諸像、東大寺南大門の仁王像、似絵と肖像画など）

◆教科書 [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆参考書 通材『美術史 0019』通信教育教材（教材コード 0000310）2,500円（送料込）
<この教科書は市販の『カラー版 日本美術史』辻惟雄監修（美術出版社）と同一です>

◆成績評価基準 3日間を通じて出席することを前提とし、平常点と筆記試験により総合的に評価します。

◆E-Mail :

◆日本史研究の史料と研究方法（古代・中世）

[日本史入門]

開講単位：2単位 担当者：八馬 朱代

◆学習目標 日本史研究の基本は、史料に基づいて歴史を考察することである。古代・中世の様々な史料について、史料の利用方法や特色について説明した上で、古代・中世の制度、政治、対外関係などについて、史料を使って解説する。史学科の学生が卒業論文作成のために必要な日本史研究の基礎知識を習得することを目的とする。なお、平成24年度春期夜間スクーリングの日本史入門と内容が重複するので、左記の日本史入門を受講した学生は受講不可。

◆授業方法 配布したプリントを使用する講義形式。日本史研究の基礎となる史料を説明し、古代・中世の政治、制度や事件などを取り上げ、史料を用いて解説していく。

◆準備学習 授業では日本史の史料や古代・中世の政治、制度、事件、宗教などを取り上げるので、日本史の通史的な理解が必要である。『日本の歴史』（講談社、集英社、小学館）や、『日本の時代史』（吉川弘文館）などから、該当する時代について事前に読み、日本史の理解を深めておくようにしてください。

◆授業計画 [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	<p>歴史学とは 史料について 奈良時代の史料について 奈良時代の制度、政治、事件について、史料を使って学ぶ。</p>
2日目	<p>平安時代の史料について 平安時代の政治、事件などについて、史料を使って学ぶ。 古代・中世における中国や朝鮮半島との交流について学ぶ。 古記録・物語などから見る人々の生活について</p>
3日目	<p>鎌倉・室町時代の史料と制度、政治、事件について 古代・中世の寺院・神社について</p>

◆教科書 使用しない。[当日資料配付] 適宜プリントを配布する。

◆参考書 授業中に適宜紹介する。

◆成績評価基準 試験 70%, 平常点 30%
※毎回出席することを前提として、総合的に評価する。

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆会社法の基礎を学ぶ

〔商法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：松嶋 康尚

◆**学習目標** 会社法に関する基本的な法知識の習得を目的とする。
税との関わりなど実務に関連する部分も、適宜取り上げていきたい。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行っていく。
条文の確認は適宜行いたいので、六法は必ず持ってくること。
出席は毎回取る。

◆**準備学習** 本授業の対象となる会社とはどういうものか、自分なりに知識・イメージを持っておくことにより、学習の理解がより進むであろう。新聞等で会社をとりまく経済記事をチェックすることも有用であるが、経済小説・企業小説を読んで会社に対するイメージをある程度持っておくと学習に入りやすいであろう。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①ガイダンス、②会社制度の存在意義 ③株式会社における株主の地位 ④株式に関する諸問題
2日目	⑤株主総会、⑥取締役・取締役会、⑦役員報酬規制、⑧監査役・監査役会、⑨会計参与・会計監査人、⑩委員会設置会社、⑪役員の責任と責任追及
3日目	⑫小規模会社における会社債権者保護、⑬設立手続、⑭定款、⑮持分会社、⑯組織再編、⑰試験

◆**教科書** 丸沼「会社法の基礎知識」 根田正樹編著 学陽書房 3,150円（税込）（送料340円）
最新版（2013（平成25）年版）の六法（出版社は特に指定しない）

◆**参考書**

◆**成績評価基準** ①平常点（10%）及び②試験の採点結果（90%）を総合して評価をする。
なお、毎回出席することを前提とする。

◆ E-Mail :

◆労働法の基礎を学ぶ

〔労働法〕

開講単位：2単位 担当者：新谷 真人

◆**学習目標** 労働法は、生まれながらにして労働者保護を目的とした法律である。しかし、現実の労使関係においては、賃金未払い、長時間労働、不当な解雇などのトラブルが絶えない。本講義では、労働法の基礎を学ぶことによって、労使双方が守るべき労働法のルールを理解することを目標とする。労働契約法、労働者派遣法、高年法などの最新の改正の動向についても言及したい。

◆**授業方法** 労働法は、労働基準法を中心とする個別の労働法と、労働組合法を主体とした集団的労働法に分かれる。この両分野を教科書に沿って講義をするが、一部省略する場合がある。授業開始時に新聞記事等の資料を配付する。またDVD等の映像を活用して理解の手助けとする。

◆**準備学習** 下記の授業計画を参考に、教科書の該当箇所を一読してほしい。関連条文は六法で確認しておく。
六法は小型でよいが、2012年に労働契約法などの大きな改正があり、新しいもの用意するのが望ましい。
毎年10月に最新版が発売されている。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①労働法の生成と展開、②労働契約の締結と雇用の成立、③労働基準法と労働条件決定のしくみ、④雇用の展開と労働契約、⑤賃金の保護
2日目	⑥労働時間、休憩、休日、年次有給休暇、⑦労働災害の予防と補償、⑧雇用における男女平等
3日目	⑨雇用の終了、⑩労働基本権の保障、⑪不当労働行為制度、⑫労働組合の組織と活動、⑬試験

◆**教科書** 丸沼「労働法」林和彦編著 三和書籍 3,570円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 丸沼「労働判例百選第8版」ジュリスト増刊 有斐閣 2,599円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 論述式の試験によって評価する。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆『徒然草』に学ぶ

〔国文学講義Ⅲ（中世）〕

開講単位：2単位 担当者：鹿野 しのぶ

◆**学習目標** 『徒然草』には日本の中世を代表する知識人、兼好によって、鎌倉時代の世相やその時代を生きた人物などが活き活きと記されている。これを丁寧に読むことにより、中世的な自然観やこの時代の世相を学びましょう。さらに、中世文学の表現の特徴を考えてみましょう。加えて、古典文学の研究方法についても学びます。

◆**授業方法** 教科書として指定した文庫本（『ビギナーズクラシックス 徒然草』・角川ソフィア文庫）に掲載されている章段について、執筆動機なども考慮しながら読解していきます。必要に応じてプリントを配布し、解説します。講義形態が基本ですが、テーマによっては質疑や感想・意見を述べる、また、本文の朗読など、受講生が発言する時間を設けます。

◆**準備学習** ・教科書の270頁～278頁の解説をよく読んでから授業に臨んでください。第1日目の講義の折に、この部分に関する小テストを行う予定です。
・教科書所載のコラム（教科書の目次を参照してください）を事前に読んでおくとよいでしょう。

◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	・『徒然草』の伝本研究—古典作品はどうynchronously継承されてきたのでしょうか。 ・『徒然草』の作者・兼好について—「吉田」「ト部」「カネヨシ」「ケンコウ」とは何でしょうか。 ・『徒然草』の成立・作品の構成について—序段はいつ書かれたのでしょうか。 ・『徒然草』の「つれづれ」について—語義を考えながら、作者の執筆動機を考えましょう。
2日目	・『徒然草』における自然観—中世的なものの見方とはどのようなものでしょうか。 ・『徒然草』における人物描写—鋭い觀察眼によって描き出される中世の人々、そこに記される兼好の人生観、社交術とはどのようなものでしょうか。 ・『徒然草』にみる中世の文化—行事、有職故実、和歌、連歌、平曲、白拍子、遊技について学びましょう。
3日目	・『徒然草』の最終段が持つ意味を考える—再び作品の構成・章段排列について考えましょう。 ・まとめ ・試験

◆**教科書** 丸沼『ビギナーズクラシックス 徒然草』角川書店編・角川ソフィア文庫 700円（税込）（送料260円）
【当日資料配付】当日プリント配布

古語辞典（使い慣れたものでよい）を毎回持参すること（電子辞書でも構いません）。

◆**参考書** 授業時も適宜紹介しますが、教科書279～281頁に挙げられているものを、まずは図書館など読んでおくと良いでしょう。

◆**成績評価基準** 試験(70%)、平常点(30%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail :**

◆国語学がどういう学問かを知る

〔国語学概論〕

開講単位：2単位 担当者：保科 恵

◆**学習目標** ひと口に「国語学」と言っても、様々な対象・方法があります。国語学がどういう学問なのかをひと通り見渡すことによって、国語学に対する知識を身につけることを目標とします。

◆**授業方法** 講義を中心として授業を進めますが、適宜指名してテキストを読みもらったり、各項目についての小テストを行なったりします。

◆**準備学習** 特別なこと必要ありませんが、いろいろな国語の現象に対する興味を持っていることが前提です。

◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	・国語学とは何か ・音韻 ・文字
2日目	・文法 ・語彙 ・文体
3日目	・言語生活 ・方言 ・系統 ・試験

◆**教科書** 丸沼『国語学要論』福島邦道 笠間書院 1,470円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験60%。平常点40%。

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆歴史的背景から見た文学

〔英米事情Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** 19世紀以降の英米の政治、経済、社会状況と文学との関係を考える。特にフリーメイソンとの関わりを解き明かしていく。

◆**授業方法** 講義形式で授業を行う。授業の最後に理解度をチェックする。

◆**準備学習** 事前に自分の好きな作家作品を選んでおき、授業内容を参考にしたうえで、その作家作品について最終日に解説を書いてもらう。必須ではないが事前にフリーメイソンについて調べておくと授業の理解が増すと思われる。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ガイダンス、18世紀の英米事情について解説
2日目	19世紀の英米事情について解説
3日目	20世紀の英米事情について解説、テスト

◆**教科書** [当日資料配付] 授業中にプリントを配布する。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 皆出席を前提とし最終日に論述試験を行い評価を決める。

◆ E-Mail :

◆異文化間コミュニケーションとは何か [異文化間コミュニケーション概論]

開講単位：2単位 担当者：武井 朗子

◆**学習目標** 文化・言語・人種など、様々な角度から現代社会の異文化における価値観・行動様式などの共通性・相違点を考え、異文化間コミュニケーションとは何かについての理解を深めます。テキストのエッセイの著者は在日アメリカ人ですので、特に日米の異文化間コミュニケーションを中心に学んで行きます。

◆**授業方法** 演習形式で授業を進めます。テキストの内容を確認し、それに関して受講者に意見を出し合ってもらいます。授業での貢献度を評価の対象としますので、積極的に授業に参加できる受講者を望みます。遅刻・欠席は一切認めません。また受講者の人数、英語の能力によっては、授業の進度が変わることもありますので、授業計画は目安と考えてください。

◆**準備学習** 受講者は、あらかじめテキスト（エッセイ部分）を精読しておいてください。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	ガイダンス Unit 1 Foreign neighbors Unit 3 Strong Women	Unit 2 Kids and Culture Unit 4 Global Shopping
2日目	小テスト Unit 5 Meeting Strangers Unit 7 Human Touch	Unit 6 Calligraphy Unit 8 Family Ties
3日目	Unit 9 Freedom and Love Unit 11 Kids and Violence 試験	Unit 10 Volunteering Unit 12 Racism and Stupidity

◆**教科書** 丸沼『INSIGHTS』Joseph Shaules 宮添輝美 南雲堂 2,100円(税込)(送料340円)

◆**参考書** 英和辞典(電子辞書可)を必ず持参すること。

◆**成績評価基準** 小テスト(20%)・授業への参加、貢献(40%)・試験(40%)

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆現代英國倫理学に見る倫理学のテーマ

〔倫理学概論 A〕

開講単位：2単位 担当者：上 憲治

◆**学習目標** 本講義は英國倫理学を中心に倫理学が何をテーマとし、何がテーマであるべきなのかについて、英國倫理学の2潮流を視点において、概括する。とりわけ分析倫理学の G.E. MOORE やその時代周辺に上げられた成果を見、倫理学が学たり得るための課題を考える。

◆**授業方法** 授業は講義形式で、適宜スライドを用いてポイントを示し、分かり易い授業を心がける。また、授業毎にレポートを提出してもらい、レポート作成を介して自分の考えをまとめてもらう。

◆**準備学習** 事前に講義予定を知らせるので、テキストの該当箇所をまとめてレポートし、授業時そのレポートにメモを書き込み、終了後に提出してもらう。レポート評価は成績評価に加味する。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	はじめに 倫理学のいくつかのテーマをあげ、本講義の位置づけとテーマを理解してもらう。 幾つかの倫理学説を見る。
2日目	英國倫理学説を概括する。 功利主義と直観主義の歴史を見る。 英國分析倫理学を見る。
3日目	近代的自我倫理の問題を考察する。 新しい倫理学を考察する。

◆**教科書** 丸沼「功利と直観 英米倫理思想史入門」児玉聰 勁草書房 3,360円（税込）（送料 340円）

◆**参考書** 丸沼「現代倫理学の展望」遠藤弘、伴博 勁草書房 3,045円（税込）（送料 340円）

丸沼「道徳的実在論の擁護」菅 豊彦 勁草書房 2,940円（税込）（送料 340円）

丸沼「道徳の中心問題」マイケル・スミス ナカニシヤ出版 3,990円（税込）（送料 390円）

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）と提出レポート（30%）で評価する。

◆ E-Mail :

◆中国語は話せないけど論文ぐらいは読めるようになりたい [東洋史演習]

開講単位：1単位 担当者：綿貫 哲郎

◆**学習目標** 「東洋史」（特に中国史）の卒業論文を書く学生は、先行研究にあたる際、日本語の論文だけでなく中国語の論文を参照したいものである。そのような学生を対象に、独学で論文を読むことができるようになる手助けをする。時間を使って中国語を日本語に翻訳するという作業をつうじて、よく使われる中国語のフレーズをマスターし、あわせて論文そのものの内容を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 受講生が事前に準備した中国語の論文の日本語訳を、ワンセンテンスごとに発表する。受講生が多数の場合はグループで発表をおこなう。その後、訳文について受講生全員で辞書を引きながら確認し理解する。なお中国語は話せなくてよい。ただし通常以上の日本語能力・語彙（を学ぶ覚悟）を必要とする。

◆**準備学習** 講義に用いるテキストは、中国近世史または中国民族史に関する研究書・研究論文を予定している。受講者予定者には、教務課よりプリントを発送するので、指示に従い事前に準備をすること。あわせて文中に出てくる歴史的な用語も調べてくることを希望する。事前の翻訳ミスを恥ずかしがる必要はない。中国語の文章にじっくり取り組み日本語に翻訳する機会はめったにない貴重な経験である。この集中講義の時間では、普段のせわしい外界と遮断され、密度の濃い時間をすごせるはずである。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス、授業の進め方・発表の仕方、論文で書かれている時代背景	学生による発表(1)
2日目	学生による発表(2)	学生による発表(3)
3日目	学生による発表(4)	まとめ

◆**教科書** 事前資料送付 プリントを事前に配布する。毎回、中国語辞典（中日辞典）を持参すること。中国語辞典を買うならば、愛知大学中日大辞典編纂處編『中日大辞典』（大修館書店）がよい（できるだけ初版本が望ましい）。一般的な辞書は歴史的な語彙や例文が少なく、中国史研究にはまったく使いものにならない。また、電子辞書は初心者向けではないので紙媒体のものがよい（多くの電子辞書はピンイン【拼音】で検索するため）。なお、日本語の語彙に自信がない学生は、あわせて国語辞典（日本語辞典）の持参も勧める（こちらは電子辞書でよい）。

◆**参考書** 使用しない。

◆**成績評価基準** 事前準備（40%）、発表（40%）、授業参画度（20%）。最終試験はおこなわない。なお、中国語辞典を持参しない学生は出席を認めない。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆租税の公平性と効率性

[租税論]

開講単位：2単位 担当者：吉田 達雄

◆**学習目標** 租税が納税者または政府にとって果たす役割、どんな税制が望ましいか、日本の主要な税はどんな仕組みで徴収されているかを学ぶ。基本は経済学なのでその基本概念を用いた講義となる。歴史や外国の制度はほとんど扱わない。

◆**授業方法** 資料及びむずかしい部分については、解説したものを配付する。板書と資料を参照しながら講義する。

◆**準備学習** とくにないが参考書記載のものを前もって学習しておくとよい。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	日本財政の現状、なぜ政府の経済活動および財政が必要なのか、どんな税があるか、税制評価の基準とされる効率性および公平性の概念、租税原則について講義する。
2日目	税と対比して公債発行について学習する。また日本の所得税の基本的な仕組みと特徴、所得税の課税最低限とは何か、負の所得税、所得税の経済効果、貯蓄への二重課税とは何か、望ましい課税対象は所得か消費支出か、これらについて検討する。
3日目	日本の消費税（統一）と法人税・相続税を扱う。法人所得課税の実効税率とは何か、配当に対する二重課税、法人税と所得税の統合問題、日本の相続税の特徴、相続税と遺産税のちがいをみる。これまでの学習事項の要点を復習し、筆記試験を行う。

◆**教科書** 指定しない。参考書が消費者余剰、生産者余剰、効率性の概念と日本の税についての知識を与えてくれる。授業では財務省のHPにある資料も参照する。

◆**参考書** 丸沼 中谷武・中村保著『1からの経済学』、碩学社発行、中央経済社販売 2,520円（税込）（送料340円）
丸沼 三木義一著『日本の税金 新版』、岩波新書 840円（税込）（送料260円）

◆**成績評価基準** 最終日の筆記試験の結果で評価する。

◆ E-Mail :

◆変化する社会における教育

[教育の社会学]

開講単位：2単位 担当者：張 球華

◆**学習目標** この授業は、教育社会学の視点や方法を用いながら、ダイナミックに変化しつつある現代社会における教育を考察する。社会学的に教育をみていく手がかりになるいくつかの重要な概念や理論を理解すること、そうした概念や理論を実際の現象やデータ解釈にあてはめてみること、そして具体的な教育の変動をみていくことで、グローバルな世界の変容の中で教育をとらえることをめざす。

◆**授業方法** この授業は講義形式で進める。講義時に独自の資料を適宜配布する。ビデオやパワーポイントも利用することを予定している。概念や理論を理解するためには、講義を漫然と聴くのではなく、きちんと講義内容の要点を聞き取り、自分なりに要約して整理することが必要である。

◆**準備学習** 受講者は、世界の変動の中での教育の役割について、いろいろと考えをめぐらせながら講義を受講してもらいたい。それゆえ、授業の3倍程度の時間をかけて、あらかじめ参考図書や新聞・雑誌などを通して予習をしておくことが求められる。また、政治や経済・外交など、広い知識や関心を持つ者ほど得るもののが大きいはずである。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	文化の伝達装置としての学校：1 学校で伝達される文化の特徴、重要性と問題性 2 その政治的意味、経済的効用 3 学校で伝達される文化がもつ社会的・文化的意味 4 不平等の再生産に果たす役割 ※学校で伝達されている文化の特徴、もたらしている問題などを理解した上で、社会統合に期待している役割と結果、教育達成における階層間格差、民族間格差、地域間格差の原因を考察し、学校教育の本質について考える。
2日目	多文化社会における教育：1 国際化と日本における国際理解・異文化理解教育 2 日本における国際理解教育の実態と生徒の異文化理解・国際理解意識 3 新たな国民統合の理念としての多文化主義とその論争 4 各多文化社会における多文化主義・多文化教育の実態と抱えている問題 ※20世紀に入ってから、社会変動に伴って教育の内容がどう変わってきているのか、多民族・多文化社会において、それぞれの国がどのように対応してきたかを把握する。そしてこれからの教育のあり方について考える。
3日目	社会変動と教育：1 社会変動と教育に関する諸説明理論 2 政治変動と教育（中国の事例から） 3 経済の激変と教育（中国における計画経済期、市場経済期と教育） 4 試験 ※政治変動や経済変動の時期において、教育の量的变化が何によって影響されているのかを考察する。労働者階級の処遇に焦点を当てて、平等と選抜方法、貧困と教育、市場化原理と教育などの問題について考える。

◆**教科書** 指定しない

◆**参考書** 丸沼『格差・秩序不安と教育』広田照幸 世織書房 3,780円（税込）（送料340円）

丸沼『ヒューマニティーズ 教育学』広田照幸 岩波書店 1,365円（税込）（送料340円）

丸沼『思考のフロンティア 教育』広田照幸 岩波書店 1,470円（税込）（送料340円）

『リーディングス 日本の教育と社会』（全20巻、日本図書センター）他。

◆**成績評価基準** 試験結果を重視するが、講義の合間に書いてもらうペーパーも加味する。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆環境と地域社会の関係について考える

〔人文地理学概論〕

開講単位：2単位

担当者：小倉 真

◆**学習目標** 人文地理学の分析視点に基づいて、環境（自然・社会）の地域的特長や変動と、これに対応しながら展開する世界の地域社会の多様な状況について分析・整理し、地域がもつ特質や内容を位置づけるとともに、地理学の基本的性格について学習する。

◆**授業方法** 配布するレジュメおよび資料（統計・地図・写真等）を用いて授業を進める。授業は基本的に講義形式で行なうが、受講者数によっては特定テーマについての討議を設定することもある。

◆**準備学習** 地理事項（特に地形や気候など）に関する基本的知識はできるだけ事前に学習しておくこと。また、世界の環境問題、人口問題、産業（農業・工業）立地問題、都市構造と都市化問題、エネルギー問題、食料問題などに関する情報も取得しておくことを希望する。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	1. 人文地理学はどのような学問か（地理学における位置づけ） 地域の概念とスケール、地域社会の構造、世界全図の特徴と理解 2. 自然環境と地域社会成立・展開について考察する アフリカの部族社会、日本の集落立地と展開、日本の村落社会の特質と現代社会
2日目	1. 自然条件と人口増加・分布の関係、食料問題について考える 気候分布のメカニズム、世界の人口増加と地域的偏在、食料生産と先進国・途上国との関係 2. 資源の分布と工業立地・発展について検証する 資源分布と偏在性の実態、EUにおける工業立地の特徴、日本の高度経済成長と工業立地および変容
3日目	1. 世界の都市化と都市構造について理論的に整理する 都市化のメカニズム、日本の都市化過程 2. 自然環境と地域社会の対応について考える 扇状地平野と社会的発展過程 3. まとめ テスト

◆**教科書** [当日資料配付] 授業初日にプリント配布。

◆**参考書** 通材『人文地理学概論 0975』 通信教育教材（教材コード 000422） 1,300円（送料込）
地図帳、地理資料など。その他は必要に応じて授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験（80%）と平常点（小レポート含む）（20%）により評価する。

◆ E-Mail :

◆活用のために博物館資料を守りましょう

〔博物館資料保存論〕

開講単位：2単位 担当者：青木 繁夫

◆**学習目標** 博物館活動の基本になる資料の保存について、その意味と目的を理解してもらう。資料の取り扱いや展示・収蔵環境に関する知識を取得して、保存上の問題が発生しないように危機管理の基礎的能力を養う。

◆**授業方法** 授業時に配布した資料を使用しながらパワーポイントを使用して講義形式で授業を実施する。

◆**準備学習** 博物館の展示活動は、資料を展示して見学してもらうことによって成り立っています。しかし、展示公開を実施すればするほど資料の劣化が進行する矛盾を抱えています。その矛盾を出来るだけ解消するためにさまざまな保存対策が行われています。博物館・美術館を見学して展示室の中でどのような保存対策がとられているか、気がついたことをまとめておいてください。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	なぜ博物館資料の保存を考える必要があるのか、博物館資料がどのような材料と技術でつくられているかを理解してもらったりた上で、物理的・化学的影響をうけて博物館資料が劣化、損傷していくメカニズムと、その防止対策が博物館でどのように行われているか具体的な事例を示して、その基本的知識を習得してもらう。
2日目	微生物や昆虫による博物館資料の損傷と総合的有害生物管理による防止対策、火災や漏水などの事故や地震などの自然災害から博物館の資料を保護する為の危機管理について講義を行い初期対応に関する保存科学的な基礎的知識を習得させる。
3日目	劣化損傷した博物館資料の修復理念と修復材料について修復実例を交えながら基礎的知識を理解させる。 史跡などに併設される博物館の保存問題と、それに付随している遺跡の保存整備と保存管理について理解するとともに活用時における安全と安心の確保について事例を示しながら対策について理解をさせる。

◆**教科書** [当日資料配付] 授業時に配布する講義資料を使用して授業を行う

◆**参考書** 通材『博物館資料保存論 2013』 通信教育教材（教材コード 000477） 4,450円（送料込）
<この教科書は市販の『文化財保存環境学』三浦定俊他著（朝倉書店）と同一です>

◆**成績評価基準** 授業終了時に実施する試験の成績によって成績評価を行う。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京 第2期

日 程		授 業 時 間	備 考
10月26日	土	9:30～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。 ※体育実技のみ日程 が異なります（6 ページ参照）。
10月27日	日	9:00～18:30	
10月28日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラム	受 講 条 件			
B1	英 語 A	八木 茂那子	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。					
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
B2	英 語 B	角田 裕子	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。					
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
B3	英 語 C	小山 誠子	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。					
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
B4	民 法 II	山川 一陽	0132	民 法 II	2年						
B5	英 文 法	真野 一雄	0445	英 文 法	条件 参照		・英文学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可				
B6	英米文学演習 A	山下 登子	0486	英米文学演習 I	※ 3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			0487	英米文学演習 II							
			0488	英米文学演習 III							
B7	英米文学演習 B	北原 安治	0486	英米文学演習 I	※ 3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			0487	英米文学演習 II							
			0488	英米文学演習 III							
B8	哲 学 演 習 A	小山 英一	0581	哲 学 演 習 I	※ 3年		・哲学専攻のみ申込可 ・I・IIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。				
			0582	哲 学 演 習 II							

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
B9	日本史演習	古川 隆久	0681	日本史演習 I	※	3年		<ul style="list-style-type: none"> ・史学専攻のみ申込可 ・I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0682	日本史演習 II				
BA	貨幣経済論	続橋 孝行	0747	貨幣経済論		2年		
BB	簿記論 I	林 徳順	0854	簿記論 I	条件参照			<ul style="list-style-type: none"> ・商学部のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可
BC	国語科教育法Ⅲ	品川 利幸	0955	国語科教育法Ⅲ	※	2年		<ul style="list-style-type: none"> ・国文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
BD	英語科教育法Ⅲ	佐藤 恵一	0961	英語科教育法Ⅲ	※	2年		<ul style="list-style-type: none"> ・英文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
T1	体育実技 A	吉本 俊明	0077	体育実技 I	※	1年		<ul style="list-style-type: none"> ・I・IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
			0078	体育実技 II				

【注意】「体育実技 A」のみ開講日程および会場が異なるため、注意してください（6ページ参照）。

講座内容（シラバス）

◆ナショナルジオグラフィックのビデオで英語を学びましょう 【英語 A】

開講単位：1単位 担当者：八木 茂那子

◆**学習目標** 本講座では初中級レベルの学習者を対とします。ナショナルジオグラフィックの臨場感あふれる世界各地の映像と美しい写真を使ったビデオ・アクティビティを中心に実用的場面で使われる日常会話の演習も含め、世界の文化に触れ、楽しみながら無理なくスピーキング、リスニングの向上を図ることを目的とします。

◆**授業方法** 各ユニットの1. warm up でビデオの内容に関する写真を使った問題を解き、ビデオに出てくる語彙の意味を把握します。2の Before You Watch 各国的基本情報を学びます。3 While You Watch でビデオを視聴しながら問題に答えます。以下ビデオを使いながら色々なアクティビティを行いビデオの内容理解とリスニング力をアップさせます。（クラスのレベルに応じ内容を変更する場合があります。）

◆**準備学習** 準備学習としては 授業で取り上げる各ユニットの範囲のビデオを視聴した後、演習問題を1回目は参照物なしで、2回目はペンの色を変えて辞書や参考書を見ながら2度解いて来て下さい。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス 午前：Unit 1 Spain 午後：Unit 3 Peru	Unit 2 China Unit 4 Tokyo
2日目	午前：Unit 5 New York City 午後：Unit 7 India Unit 9 Africa Review	Unit 6 Antarctica Unit 8 New Zealand Unit 10 Cambodia
3日目	午前：Unit 11 Egypt 午後：Unit 13 Mars Oral test 復習 試験	Unit 12 Italy

◆**教科書** 丸沼『Globe Trotters』 Carmella Lieske センゲージラーニング (DVD付き) 2,520円(税込) (送料340円)

◆**参考書** 中英和辞典（電子辞書可）

◆**成績評価基準** 筆記試験 50%+平常点 50% (quiz, 提出物, 発表, Oral test 他) による総合評価（受講生のレベルにより調整を加えることがあります。）

◆ E-Mail :

◆英語でイギリスを知る

【英語 B】

開講単位：1単位 担当者：角田 裕子

◆**学習目標** 本講座は、英語でイギリスを知ることを目標とします。イギリスに関する様々な事柄を扱った教科書を読み込むことで、イギリスを身近に受け止め、同時に英語力を養成します。

◆**授業方法** 授業計画に従って授業を進めます。毎回、受講者には一人ずつ音読と和訳を必ず発表してもらいます。その後、教員が必要に応じて文法と内容の解説をします。

◆**準備学習** 毎回、受講者には一人ずつ音読と和訳を必ず発表してもらうので、予習は不可欠です。分からぬ單語の意味を辞書で調べるだけでなく、本文の内容に関しての疑問点を明確にして授業に出席して下さい。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	ガイダンス & Lesson 1 Check In and Work Out Lesson 2 What Will the Weather Be Like? Lesson 3 A London without Red Buses? Lesson 4 Back to the Future Lesson 5 Shop- 'n' -Chat
2日目	Lesson 6 More Than Just a Post Office Lesson 7 Off the Beaten Path Lesson 8 Pubs in Decline Lesson 9 Dining Out Diversity Lesson 10 Afternoon Tea
3日目	復習、試験

◆**教科書** 丸沼『Gateway to Britain ちょっとイギリス街角散策』テリー・オブライエン著 南雲堂 1,995円(税込) (送料340円)

◆**参考書** 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参して下さい。

※携帯電話などを辞書代わりに使用することは固く禁止します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表・授業態度など）：50%，試験：50%

※授業に毎回出席することを前提に評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ TOEIC 教材を使った総合的な英語学習 [英語 C]

開講単位：1単位 担当者：小山 誠子

◆**学習目標** TOEIC スコア 500 取得を目指す（目標）に①語彙力増強②基本的文法事項の確認③実践に即した練習問題の演習及び④会話による表現の導入／定着（リスニングセクションを活用）により総合的な英語力のアップを図ります。（※ TOEIC スコア 400 前後の受講者を対象とします。初日にレベルチェックを予定しています。既にそれ以上のスコア保持者には学習効果及び評価が期待できませんので受講は控えてください。）

◆**授業方法** 受講者全員（下記準備学習が前提）による発表（各問題の解答）に解説（文法事項の確認を含む）を行う演習形式にて可能な限りテキストの問題に取り組みます。

※ 3 日間の限られた日程ですので、受講確定次第テキストを入手し準備学習をして受講に臨んでください。

◆**準備学習** ※「既習」（初見で正解）と「未習」（不正解）を区別する為にテキスト以外のノートへの全学習の記録を推奨します。

①テキストを事前に入手し、「TOEIC の問題／解答形式」pp.8-9（英文）をよく読み確認する。

②現時点での「実力チェック」を行う。（ノート等に Part ごとに問題番号を記録し）リスニング（Part1-4）は CD に従い解答を選択。リーディング（Part5-6=20秒/問、Part7=1分/問）で各自解答時間を作成し（制限時間の設定／厳守）し、解答を記録する。

※制限時間を厳守しないと実力チェックになりませんので、初見の場合は正確に時間を計測して解答を記録してください。

※「正解」か否かは授業にて判明しますが、その際正解⇒「既習＝身についている＝復習必要なし」、不正解⇒正解：3 日間で学習／定着

③リスニング（Part1-4）：テキストの空所が埋まるまで何度も CD を聞いて記入 ※ 繰り返し不明の場合はカタカナでも可 CD を「真似」て、英文を声に出してすらり読めるようになるまで繰り返し発話する。（※ 各々の発音／アクセント／区切り 注意）

④リーディング（Part5-7）：不明な語彙は辞書にあたり（品詞／意味を確認・記録）、文法書等を参考し正解（だと思ふもの）を導き、その根拠（文法解説等）を文章化して記録する。⇒授業での発表内容

⑤未習の語彙は（1）品詞及び（2）定義／意味＝代表的概念複数を記録し単語帳を作成のこと。⇒最終試験

※上記準備学習の記録は初日授業開始時にチェックし、「平常評価」の一部となります。

※開講までに全頁（Review Test 除く）に関して上記を実施し受講に臨んでください。⇒ TOEIC500 取得目標達成の為

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分] ※ 受講者数／レベルにより進度は変更有

1日目	ガイダンス（事前学習のチェックを含む）及びレベルチェック 第1章／第2章／第3章／第4章／（第5章）の解答・解説
2日目	（第5章）／第6章／第7章／第8章／第9章／（第10章）の解答・解説
3日目	（第10章）／第11章／第12章の解答・解説 試験

◆**教科書** 丸沼『Seize the main points of the TOEIC Test』金星堂 ※CD付き 1,995円（税込）（送料340円）

◆**参考書** ※授業での携帯電話及び PC（タブレット含む）の辞書替わりの使用は認めません。

大学／社会人レベルの英和辞書（電子辞書可）を全3日間持参してください。

◆**成績評価基準** ※3日間全出席を前提としますので予め欠席／遅刻／早退等見込まれる人は受講を遠慮してください。

①平常評価（40%）：(1)事前学習（初日にチェック）(2)発表 等を含む授業への積極的取組みを評価
②最終試験（60%）※語彙問題を含む

◆ E-Mail :

◆融資の確実な回収手段としての担保物権制度 [民法 II]

開講単位：2単位 担当者：山川 一陽

◆**学習目標** ここでは物権法のうちの担保物権法について学ぶ。資本主義社会において金融の便宜を受けることの重要性は説くまでもないが、その回収の手段となる担保物権とりわけ抵当権制度の重要性も説くまでもなかろう。今回はこの抵当権という制度を中心として講義をし、その他最近に発展したいわゆる変形担保制度についても講義する。なるべく理解しやすい講義を行いたい。

◆**授業方法** 抵当権を中心とする内容を講義方式で行う。もちろん、抵当権のみならず他の担保物権についても言及する。とりわけ最近にあって活用されている譲渡担保や所有権留保、仮登記担保制度などにも触れたい。

※過去に山川の民法 II（担保物権法）を修得した学生は内容が重複するため受講できない。平成 25 年度東京（春期）第1期の民法 II（通常物権法）と積み重ね可能。

◆**準備学習** 1回でもいいですから、教科書について一通り目を通しておいて下さい。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	担保物権とは何か 担保物権の種類と性格	担保物権に共通する性格 機能としての担保物権	留置権制度について
2日目	抵当権の意義 抵当権の対象	抵当権侵害 抵当権の効力の及ぼし範囲	抵当権と用益権
3日目	変形担保の諸問題 譲渡担保の発生	不動産譲渡担保と動産譲渡担保 譲渡担保の意義と機能	その他の変形担保制度

◆**教科書** 丸沼『担保物権法〔第3版〕』山川一陽著 弘文堂出版 3,255円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験結果と平常点

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆英文法をより深く

〔英文法〕

開講単位：2単位 担当者：真野 一雄

◆学習目標 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を全般的により深く習得します。

◆授業方法 テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問、練習問題も行います。必要に応じて別途、練習問題を行うこともあります。

◆準備学習 毎回、テキストを読み、設問、練習問題の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1章 基本文型—新しい視点から眺めて 第2章 文の構造—文の多様性を探る
2日目	第3章 動詞—文の中心語句を解明 第4章 否定—否定の正しい意味解釈のために
3日目	第5章 助動詞—文のニュアンスを表現する 試験+質疑応答

◆教科書 丸沼『大学生のための現代英文法』 開拓社 2,310円（税込）（送料340円）

◆参考書 他の英文法参考書、英文法研究書など

◆成績評価基準 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

◆T. Hardy の小説を読む

〔英米文学演習 A〕

開講単位：1単位 担当者：山下 登子

◆学習目標 イギリス19世紀の作家 Thomas Hardy (1840-1928) の小説を読むことで、作品及び作家の理解を深めることを目標とする。

◆授業方法 本文の音読と和訳を受講生が発表する精読形式と、担当箇所をグループで要約し発表する形式で、作品を読み進めながら随時問題点や意見の発言を求める。内容の理解を確認するための小テストも行う。講読範囲は「Part First — At Marygreen, i — v」です。

◆準備学習 辞書などを参考にして分からぬ単語などの下調べを行い、事前に講読範囲の理解を行ってください。間違えたり分からぬところがあっても、それを認識することでその後の学習につながります。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	・ガイダンス ・作品購読 ・小テスト ・グループワーク
2日目	・作品購読 ・小テスト ・グループワーク
3日目	・グループ発表 ・まとめ及び質疑 ・最終試験

◆教科書 事前資料送付 事前に該当部分のコピーを送付します

◆参考書 中型以上の英和辞書（電子辞書可）

丸沼『日陰者ジュード』（上・下）トマス・ハーディ著 川本静子訳 中公文庫 上 1,200円（税込）（送料260円） 下 1,399円（税込）（送料340円）

◆成績評価基準 予習・発表・受講状況・グループワーク（40%）、小テスト（10%）、最終試験（50%）。

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆『ジェイン・エア』卒論に役立つ演習

[英米文学演習 B]

開講単位：1単位 担当者：北原 安治

◆**学習目標** 卒論に役立つポイントを押さえながらフェミニズム小説の古典『ジェイン・エア』を読んでいきます。今年は『ジェイン・エア』の演習を2回やりますが、それぞれちがったところを読みます。

◆**授業方法** 19世紀英国の女流作家シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の抜粋本の第9章から一日4ページほど読んでいきます。学生さんにひとりひとり当てていくので、かならずしも予定通りには進みません。辞書を引いて単語を一語一語調べる予習をしてもらいたいです。なお、卒論で悩んでいる学生さんにアドバイスを与えながら進めていきたいと思います。なお、1996年に映画化されていますので参考にして下さい。500円の名作DVDの『ジェイン・エア』(オーソン・ウェルズ主演、1944 白黒版)もあるので、これも参考にするとよいでしょう。なお講義中にDVDを見せる場合があります。

◆**準備学習** 本文をノートに3～5行おさに手書きで写して、単語を調べておくこと。講義で文法構造と和訳を言うので書く。最終日にノート検査をします。辞書を必ず持ってくること。最終日の試験は100分として、テスト用紙の表面は和訳、裏面すべてを論述に当てます。ジェインは誰からどの様な影響を受けて人間的に成長していくか時系列に沿ってまとめて暗記しておくこと。試験は持ち込み無しです。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	4ページ前後進むのが目安ですが、英文が大変難しいので、学生さんの予習いかんによって時間がかかり必ずしも読めないことがあります。DVDを見せる場合があります。
2日目	4ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。
3日目	3ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。限定した部分の和訳、そして全体的内容を書く論述を組み合わせたテスト。持ち込みなし

◆**教科書** 事前資料送付 『ジェーン・エア』 西崎注 北星堂書店（ダイジェスト版です）をすでにお持ちの方はお使いください。絶版なので各自にプリントを郵送。121ページから132ページまで読む予定。プリントは132ページ以降のページも送ることがあるので、時間のある人は多めに予習しておけば良い。

◆**参考書** 丸沼『ジェイン・エア』(上・下二巻本) 光文社古典新訳文庫 上 859円(税込) 下 919円(税込) (送料どちらも340円、2冊で390円)

『ジェイン・エアを読む』中岡 洋(著) 開文社出版(1995) 絶版
卒論を書く方は『ジェイン・エア』完全版を買っておけば良いでしょう。インターネットの書店アマゾンなどで、ノートン版(Norton Critical Edition)を買わなければよいでしょう。二千円ぐらいだと思います。ノートン版は紙の質がよいので書き込みやすいです。無いときはペンギン版やワールズ・クラシック版で良いでしょう。『Jane Eyre: An Authoritative Text, Contexts, Criticism』(Norton Critical Editions) (ペーパーバック) Charlotte Bronte(著), Richard J. Dunn(編集)
出版社: W W Norton & Co Inc : 3版 (2000/10)

通信英文科OGのHPも参照。「吉川はつよ」「ジェイン・エア」で検索。

◆**成績評価基準** 小テスト、試験などの総合評価。皆出席を望みます。ノートをしっかりとノートなきものは不合格。ノートは本文、文法構造、和訳をしっかりと書くこと。

◆ E-Mail :

◆哲学で何ができるか

[哲学演習 A]

開講単位：1単位 担当者：小山 英一

◆**学習目標** この哲学演習の学習目標は、下記テキストの副題にもあるように、文化と私（自我・自己）を通じて現代的な視点から哲学し、現代の状況（文化と文化のなかのわたし）を考察することである。皆さんと共にゆっくりと歩み（読み、意見交換）をしながら哲学のありかた「哲学で何ができるのか」を考えていきたい。

◆**授業方法** 授業は演習形式でおこなう。演習参加者に『哲学で何をするか 文化と私の「現実」から』の一部をあらかじめ割り振り、担当者を決める。担当者は、指定する箇所を読み、まとめ（レジュメ作成）と説明（発表）をおこなう。その後、担当者の司会で意見交換をしていく。（受講手続が終わったら、下記のメールアドレスにアクセスしてください。担当部分をお知らせします。また、このメールアドレスは担当部分を決めるためだけに使用します。それ以外には使用しないでください。なお、インターネットにアクセスできない人は直接、教務課に問い合わせてください。必ず何らかの方法をとって担当箇所を知り、学習しておいてください。）

◆**準備学習** ・簡単なメモを取りながら、テキスト全体を読んでおくこと。
・担当部分については、「音読→レジュメによるまとめ（要旨）→用語や人物の解説・各段落の説明・自分の意見の発表→自分が司会での全体での意見交換」の流れを頭に入れて学習しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	はじめに 第一章 「文化」のさまざまな顔	第二章 文化のなかの「わたし」
2日目	第三章 「わたし」と「システム」を生成する流れ	第四章 「絶対」の探究——ニーチェ以前の哲学
3日目	第五章 〈現実の哲学〉 試験	

◆**教科書** 丸沼『哲学で何をするか 文化と私の「現実」から』 貢成人 築摩選書 築摩書房 2012 1,785円(税込) (送料340円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 発表と質疑応答(50%), 試験(50%)
状況によって割合を変更する場合がある。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆石橋湛山の評論でみる日本の近現代

[日本史演習]

開講単位：1単位 担当者：古川 隆久

◆**学習目標** 石橋湛山（1884～1973）は、1911（明治44）年から太平洋戦争敗戦直後の1946（昭和21）年まで『東洋経済新報』でジャーナリストとして日本の政治・外交・軍事・経済・社会について多数の鋭い論説を書き、戦後は政治家に転じ、公職追放を経て1956年に首相となつたが、病気のためわずか2カ月で退陣した。彼の明治末期から1960年代末に至る主要な論説の読解を通して日本近現代史の歴史像や研究手法を学ぶ。

◆**授業方法** 短期集中の演習のため、受講者にはあらかじめ報告分担部分及び準備（調査及び報告案の作成）方法の指示をするので、指示に従い準備の上、授業に臨んでもらう。授業では、各受講者の報告を聞いた上で質疑討論を行い、教員が補足説明するという形で進める。

◆**準備学習** テキスト購入後、まず、解説を含むテキスト全体を必ず通読し、概要を理解しておくこと。石橋の人物像については、参考書欄を参照。分厚いが、『湛山回想』（岩波文庫、公共図書館か古書店で）も面白い。報告の分担や準備方法についての指示が届いたら、それに従い報告の準備をすること。日本近現代史の予備知識に自信がない場合は、北岡伸一『日本政治史』（有斐閣、1995円）も読んでおくことを薦める。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	テキストの「解説」（松尾尊児）と、I（急進的自由主義者の出発）、及びII（大正デモクラシーの陣頭で）の途中までについての講読（報告、質疑討論、教員の補足説明）。
2日目	テキストのII（大正デモクラシーの陣頭で）の途中からIII（政党政治への提言）とIV（戦時下の抵抗）の途中までについての講読（報告、質疑討論、教員の補足説明）。
3日目	テキストのIV（戦時下の抵抗）の途中からV（戦後日本の進路）までの講読（報告、質疑討論、教員の補足説明）と全体のまとめ。

◆**教科書** 丸沼『石橋湛山評論集』松尾尊児編 岩波文庫（岩波書店）882円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 丸沼『石橋湛山』増田弘 中公新書 966円（税込）（送料260円）

丸沼『石橋湛山論』上田美和 吉川弘文館 3,990円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 報告50%、質疑討論の参加度50%、毎回出席を前提として評価する。

◆ E-Mail :

◆貨幣経済と国家破綻

[貨幣経済論]

開講単位：2単位 担当者：続橋 孝行

◆**学習目標** 学習の目標は、貨幣経済の下でバブルが発生すれば、必ず崩壊し、そして経済は長期の景気低迷に陥り、場合によっては国家が破綻するかもしれない、ということを理解することにあります。この課題を理解していくにはマクロ経済学の知識が必要です。しかし、これらを十分に理解している学生は少ないので、まずマクロ経済学を平易に解説し、それから課題に取り組んでいきます。

◆**授業方法** 板書を中心とした授業ですが、教員が一方的に説明することは避けたい。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問したりして、課題の理解を深めていきたいと思っております。

◆**準備学習** (1)新聞の経済・政治面を読んでおきましょう。(2)経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3)図やグラフに親しんでおきましょう。(4)現実の経済・政治と人間をイメージしておきましょう。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①GDPとは何か②GDPの大きさはどのようにして決まるのか③GDPが大幅に下がる原因は何かについて考察します。キーワードは有効需要、不完全雇用均衡、デフレーション
2日目	貨幣経済の下で起きるバブルの発生、崩壊そして長期の景気低迷に陥っていくプロセスを見ていきます。キーワードは、金融の自由化、証券化、グローバル化
3日目	深刻な不況に陥った時の経済対策・授業全体のまとめ

◆**教科書** 通材『貨幣経済論 0747』通信教育教材（教材コード000440）1,500円（送料込）

◆**参考書** 必要に応じて資料を配布します。

◆**成績評価基準** 筆記試験、授業への取り組みなどで評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆簿記の基本構造を学ぶ

〔簿記論Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：林 徳順

◆**学習目標** 簿記は、企業の経済活動等を貨幣額等にとらえ、その企業がもっている財産の変動内容と結果をわかるように、記録、計算する技術である。簿記は貸借対照表及び損益計算書を作成する前提でもあるため、簿記の基本構造及びその仕組みを理解することは重要である。本講義は、初心者を対象とし、①簿記の基本構造及びその仕組みを理解し、②一部の内容については簿記検定3級レベルに到達できることを目標としている。

◆**授業方法** 講義形式で授業計画に沿って授業を進める。授業中、講義した内容に関する練習問題を解いて頂くので、毎回電卓を持参する必要がある。一回でも授業に出席しない場合、理解できなくなるため、毎回必ず出席し、積極的授業に取り組むことを望む。授業内容について、受講生の予習及び復習が必須である。

◆**準備学習** 各自に適した簿記に係る書物を読むことは、簿記の理論構造及びその仕組みを理解するのに有益である。「簿記論」、「現代簿記」、「簿記講義」など多くの書物のなかで、各自に適した書物を選んで読むことは、本講義での学習効果を更に向上させることができる。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	ガイダンスと簿記の理論構造について講義を行う。具体的には、簿記の目的、種類、基礎概念、勘定と仕訳、種類、決算の意義と手続き、試算表、精算表、元帳の締切り、繰越試算表、損益計算書および貸借対照表の作成等について講義を行う。講義中には、仕訳、転記、試算表等の作成練習を実際にを行い、講義内容に関する受講者の理解を深める。
2日目	資産、負債、収益及び費用に係る取引について講義を行う。具体的には、現金預金、商品売買、売掛金と買掛金、有価証券、固定資産、収益と費用の種類、収益及び費用の見越し及び繰延べに係る取引が含まれる。講義中には、実際に会計処理の練習を行い、講義内容に関する受講者の理解を深める。
3日目	決算と財務諸表作成について講義を行う。具体的には、試算表の作成、棚卸表の作成と決算整理事項、精算表の作成、決算振替手続きと元帳の締切り、財務諸表の作成について講義を行う。授業中に、仕訳練習を行い、試算表及び棚卸表を作成し、元帳の締切り、損益計算書及び貸借対照表を作成する練習を行う。

◆**教科書** ①【丸沼】『新検定簿記講義3級商業簿記〈平成25年度版〉』渡部裕亘ほか編著 中央経済社 735円（税込）（送料340円）
 ②【丸沼】『新検定簿記ワークブック3級商業簿記〈平成25年度版〉』渡部裕亘ほか編著 中央経済社 735円（税込）（送料340円）
 ③【当日資料配付】講義内容に応じて、当日にプリントを配布する場合がある。

◆**参考書** 使用しない。

◆**成績評価基準** 平常点40%（授業中小テスト2回）、期末試験60%。
 毎回出席することを前提として評価する。

◆ E-Mail :

◆理論と実際

〔国語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2単位 担当者：品川 利幸

◆**学習目標** 「理論と実際」をテーマに、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅲ』などに説かれる内容を、具体的に『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。秋期は、初日の理論を基に2日目から模擬授業を取り入れ、具体的な展開例から指導法の適否について考察を加える。学習指導の実際を想定した具体的な内容から国語科教師として必要な事項について現代文・古文・漢文の各分野を通じて確認していく。

◆**授業方法** 理論面として「国語教育関係法規」などから教育課程の意義と編成の方法について把握する。併せて学習計画、学習指導案の作成法などについて考察する。『国語総合』に於ける各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、国語科指導の核となる、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの事柄を確認して行きたい。具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その展開例からあるべき授業の形について考察する。

◆**準備学習** 事前課題として『国語総合』284頁「朝三暮四」を2時間で配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、『国語総合』をもとに2日目以降から予定している各ジャンルの指導法について学習指導案の作成をもとに模擬授業の展開を考えておく。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	(1)ガイダンス・教育課程の意義と編成の方法 (2)国語科教育の目標 (3)学習計画・年間計画の立案 (4)学習指導案の作成 (5)古典授業の展開例(ビデオ講義)
2日目	(1)現代文教材 評論文の指導 森本哲郎「やっぱり」の展開 (2)古文教材の指導 平家物語「祇園精舎」の展開 (3)漢文教材の指導 史記より「晏子の御」 (4)現代文教材 短歌・俳句の指導 大岡信「折々のうた」 (5)古文教材の指導 土佐日記「門出」 (6)事前課題「朝三暮四」指導案の検討
3日目	(1)漢文教材の指導 十八史略より「死諸葛走生仲達」 (2)文語文法の指導について (3)訓点・訓読、句型の指導について (4)教材開発(ビデオ視聴) (5)まとめテスト(60分)

◆**教科書** 通材『国語科教育法Ⅲ 0955』通信教育教材(教材コード000445)2,750円(送料込)
 〈この教科書は市販の『新たな時代を拓く 中学校高等学校国語科教育研究』全国大学国語教育学会編(学芸図書)と同一です〉

丸沼『国語総合』教育出版 835円(税込)(送料340円)

◆**参考書** 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講状況(30%)、提出物(20%)、試験(50%)により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆授業計画と実践

〔英語科教育法Ⅲ〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 恵一

◆**学習目標** 授業実践を進める上で英語教師として求められる必要な知識と能力を高め身につけることを目標とする。特に授業の準備と計画から指導案や評価に至るまでの全てに関わる実践上のバックアップを目指す。

◆**授業方法** より良い英語授業を行うために計画から指導案・授業の形態、そして測定等どう行うかをテキストを輪読し、その後グループ討議を中心に進めていく。更にグループ発表を通してそれらを再検討することで、より実践的な授業を構築する。

◆**準備学習** 授業中に直接関わる内容ではなく、一見地味な部分ではあるが英語教師の知識として大事なことがあるので「教科書の実践編Ⅱ～」「授業計画と実践～」を予め目を通しておくことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	オリエンテーション 第13章「授業の準備と計画」 グループ討議・発表及び確認	第14章「授業の形態」
2日目	第15章「学習指導案の作成」 グループ討議・発表及び確認	第16章「測定と診断」 第17章「教室の使用言語」
3日目	第18章「模擬授業」 グループ発表 まとめ 課題テスト	第19章「教育実習」

◆**教科書** 通材『英語科教育法Ⅱ 0997』通信教育教材（教材コード 000490）平成25年度新教材

〈この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会（三修社）と同一です〉

◆**参考書** 丸沼『グローバル時代の英語教育—新しい英語科教育法—』 SEIBUDO 2,625円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 授業への参加（学習意欲・発表・グループ活動等）と最終のレポートによる課題問題で総合的に評価

◆ E-Mail :

◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技 A〕

開講単位：1単位 担当者：吉本 俊明

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆**授業方法** 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバトミントンなどのネット型球技）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を通して体力の現状を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆**準備学習** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各210分、2日目・4日目：480分]

10/19(土)	ガイダンス、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定、体力の維持増進についての解説
10/20(日)	班別スポーツ種目の展開(1)、班別スポーツ種目の展開(2)
10/26(土)	班別スポーツ種目の展開(3)
10/27(日)	班別スポーツ種目の展開(4) 班別対抗ソフトバレーボール大会

※上記のすべての日程に参加すること。

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業への取組み及び自己の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆ E-Mail :

[注意] 日程、開講時間及び日程が他の講座と異なります。詳しくは6ページ参照。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

東京

第3期

日 程		授 業 時 間		備 考	
11月16日	土	13:00 ~ 18:30		※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。	
11月17日	日	9:00 ~ 16:30			
11月23日	土	13:00 ~ 18:30			
11月24日	日	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意			
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件	
C1	英 語 D	長島 万里世	0041	英 語 I	1年			・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III	2年				
			0044	英 語 IV					
C2	英 語 E	伊藤 由起子	0041	英 語 I	1年			・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0042	英 語 II					
			0043	英 語 III	2年				
			0044	英 語 IV					
C3	中 国 語 III・IV	稻葉 明子	0063	中 国 語 III	2年			・III・IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0064	中 国 語 IV					
C4	考 古 学 入 門	澤田 大多郎	0098	考 古 学 入 門	条件 参 照			・史学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可	
C5	刑 法 I	設 楽 裕 文	0151	刑 法 I					
C6	国 際 政 治 学	大八木 時 広	0223	国 際 政 治 論	2年			・経済学部のみ申込可 ・法学部・文理学部のみ申込可 ・商学部のみ申込可	
			0224	国 際 政 治 学					
			0225	国際政治学概論					
C7	国 語 学 演 習	鈴木 浩	0381	国 語 学 演 習 I	※ 3年			・国文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0382	国 語 学 演 習 II					
			0383	国 語 学 演 習 III					
C8	英 語 音 声 学	森 晴 代	0450	英 語 音 声 学	2年				
C9	英 語 学 演 習 C	桑 山 啓 子	0481	英 語 学 演 習 I					
			0482	英 語 学 演 習 II	※ 3年			・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			0483	英 語 学 演 習 III					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目		受講方式	制限・注意		
			科 目 コード	科 目 名		配当学年	カリキュラム	受講条件
CA	英語学演習 D	秋葉 倫史	0481	英語学演習 I	※	3年		<ul style="list-style-type: none"> ・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。
			0482	英語学演習 II				
			0483	英語学演習 III				
CB	東洋思想史 I	梅川 純代	0516	東洋思想史 I		条件参照		<ul style="list-style-type: none"> ・哲学専攻のみ1学年以上申込可 ・その他は2学年以上申込可
CC	経済原論	片平 光昭	0711	経済原論		条件参照		<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部のみ1学年以上申込可 ・文理・商学部は2学年以上申込可
			0712	経済学原論				
CD	証券市場論	佐藤 猛	0829	証券市場論		2年		
CE	教育原論／教育の思想	北野 秋男	0901	教育原論	※	2年		<ul style="list-style-type: none"> ・本誌4ページを参照 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
			0904	教育の思想				

講座内容（シラバス）

◆ Chicken Soup for the Soul を読む

〔英語 D〕

開講単位：1単位 担当者：長島 万里世

◆学習目標 この授業では、アメリカでベストセラーとして支持を集めている *Chicken Soup for the Soul* (3 vols.) の中から英語の購読用に編集された教科書を扱います。様々な実話や人生論を通して読む人の心に残る素晴らしい短編をみなさんと味わいながら、文法、読解等の英語力向上を図ります。

◆授業方法 学生には輪読形式でテキストの音読と日本語訳をしてもらいます。また時間に余裕があれば、教科書に沿って練習問題、英作文、ディスカッション等を取り入れます。
尚、下記の授業計画はあくまで予定であり、受講者のレベルやクラスの人数により授業内容を変更する場合もあります。

◆準備学習 詳しい注が付いていますので、それを参考にテキストをよく読んでおいてください。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目(土)	ガイダンス 基礎的な文法の復習 1. The Circus
2日目(日)	4. Puppies For Sale 5. Follow Your Dream
3日目(土)	6. Love And The Cabbie 9. The Smile
4日目(日)	10. A Simple Gesture 17. If I Had My Life To Live Over 試験

◆教科書 丸沼『Chicken Soup for the Soul チキンスープをどうぞ—こころあたたまる 17 のアメリカ小話集』
Jack Canfield/ Mark Hansen 編 金星堂 1,628 円（税込）（送料 260 円）

◆参考書 英語辞典（毎回必ず持参してください。）

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表等）・テストにより総合的に評価します。

◆E-Mail :

◆ 2013年の事件を英語で言おう

〔英語 E〕

開講単位：1単位 担当者：伊藤 由起子

◆学習目標 本講座では英字新聞を読みます。その内容は現在不明です。たとえば、去年度では消費税の引き上げ、北朝鮮のミサイル発射失敗、柏崎原発3号機停止、オウム真理教菊地直子逮捕、英國エリザベス女王在位60周年について読みました。2012年末には、政権交代、自民党の圧勝や、ノロウィルスによる食中毒などが話題となりましたが、これらを英語ではなんと表現するのでしょうか。この授業ではその疑問に答えます。新聞の読み方や、英字新聞に特有な表現なども覚えることができます。

◆授業方法 授業では、事前配布プリントを受講者が予習してあるものとして授業を進めます。日本語に訳すことが基本ですが、文法、関連表現、日本人が間違えやすい英語表現や発音について途中で多くの時間を割いて解説していきます。受講者は常に教員から質問を投げかけられますので、覚悟が必要です。英和辞書は必ず持参してください。

◆準備学習 英字新聞のプリントが受講前に配られますので、それを見てわからない単語は必ず調べておいてください。「注」のついた記事を使用する予定ですので、それを参考にしてください。記事は5～6つ進む予定ですが、英文の長さや難易度によってはそれ以下になることもあります。

◆授業計画〔1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目(土)	ガイダンス 記事① 以下*印は、随時1日目～4日目に説明を行う。 *時事英語について *発音	*新聞の見出しや本文の読み方について *数の表現	*文法 *日本人が間違いややすい英語表現
2日目(日)	午前：記事②	午後：記事③	
3日目(土)	記事④	記事⑤	試験についての説明
4日目(日)	午前：記事⑥	午後：総括、試験	

◆教科書 事前資料送付 事前に送付します。

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 授業への参加・積極性、予習、発言を含む平常点 40% 試験 60% ただし、試験だけで単位を取ることはできません。

携帯電話の使用、予習なしの場合は単位を失います。試験の不正は厳重に処罰されます。

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆易から難へ一音から捉える中国語

[中国語Ⅲ・Ⅳ]

開講単位：1単位 担当者：稻葉 明子

◆**学習目標** 自宅学習が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自動的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声だけから文と文脈を自力で捉えていく力をつけています。適宜長文読解教材を補います。短期集中で身に付けたりズム感を用い、適切な構文把握に導きます。

◆**授業方法** 日本語の連想の無い状態で、各課についてシートを用いた単語の音声導入を行い、場面と音声から自力で内容を掘っていく訓練を行います。普通に出席していれば、スクーリング中に発音記号の疑問点は解消するでしょう。初日に学習方法を示すので、2日目以降に毎日行う小テストにむけて指示通りに復習をしてください。

◆**準備学習** 予習の必要な長文読解については講習前に指示書とともに示します。音声による認識と練習が主眼の授業ですので、授業計画に示した教科書についてはあえて「予習せずに」臨んでください。適宜初級文法をまとめながら進めます。中国語Ⅱは修得中であっても差し支えありません。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	発音の総復習と実地訓練。(声調・母音・子音・音節) 第6課を用いた基本単語の音節把握とスクーリング中の基本作業の確認。
2日目(日)	第7課 形容詞述語文、「有」と「在」。 第9課 前置詞「比」、結果補語、時刻と動作。 数字・時刻の言い方と時間量の概念。
3日目(土)	第11課 可能補語、動量補語、時量補語。 第13課 助動詞「会」「能」接尾辞「着（～しながら～する）」。文脈とアスペクト。
4日目(日)	第15課 「愛～」、接尾辞「着（～てある）」、受け身、語気助詞、「～来～去」。応用表現と文脈読解。 第17課 処置文「把」、存現文、行き先を伴う方向補語。「書面語」文体の読解。 教場試験

◆**教科書** 通材『中国語Ⅱ 0062』通信教育教材（教材コード 000457）2,750円（送料込）

〈この教科書は、関中研『中国語@キャンパス基礎編（改定版）』（朝日出版社）と同一です〉

〔当日資料配付〕その他プリントを配布。

◆**参考書** 授業中隨時紹介します。二日目以降に教科書附属CDを用いた復習が必要になりますので、教材音声に手軽に親しめる環境を工夫してください。（付属CDをプレーヤーに取り込む、出版社のHPにアクセスするなど）

◆**成績評価基準** 最終試験を基礎に、2日目以降の小テスト、学習状況を加味して判断します。

◆**E-Mail :**

◆考古学とはどのような学問か

[考古学入門]

開講単位：2単位 担当者：澤田 大多郎

◆**学習目標** 過去の人間生活―社会を復元するために人類が目的をもって作成・使用・廃棄した遺構・遺物を資料として、どのような方法で解明するかを考古学発達史（研究の成果）を紹介するとともに、研究の過程と方法上の問題点を中心に論述する。同時に「モノ」を如何に正しく観察し、次世代に伝達するかの方法を身につける手助けとなることを目標とする。そこに考古学とは如何なる学問かがある。

◆**授業方法** プリントを活用した講義とビデオ鑑賞や立体的な遺物を直接自分の目を通して観察することによって考古学の対象物である遺物を理解させる。また、学問がいかに社会の動向に左右されてきたかの状況を学史を通して考古学の現状と問題点を具体的な事例を提示し学習する。

◆**準備学習** 常に身の回りに存在する「モノ」を漠然と眺めるだけでなく、その材質・形態・文様などに関心をもって欲しい。さらに教材の予習は当然のこと、最近の考古学に関するマスコミ報道などに注視して下さい。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	ガイダンス。考古学の定義と目的。日本に存在する約50万件の遺跡の年代決定や時代区分の仕方などを、収集した資料―遺構・遺物よりどのように整理・分析（分布・型式・編年論など）して特定するかを学ぶ。ビデオ鑑賞（遺跡の発掘調査の準備・方法と得た資料の整理・分類・報告書作成）よりその手順を会得する。
2日目(日)	午前：東京国立博物館平成館で展示されている実物（立体的遺物）を直接自分の目で観察し、観察し、授業の補完とする。午後：日本考古学の現状と課題について遺跡を中心に展開する。日本考古学の発達史①日本書紀・常陸風土紀―江戸時代好事家・邪馬台国論争―皇国史観一大森貝塚（東京）一陸平貝塚（茨城）一人種・民族論争―『ドルメン』・『日本歴史教程』一唐占（奈良）一太平洋戦争
3日目(土)	日本考古学の発達史②大湯（秋田）一登呂（静岡）一日本考古学協会設立一岩宿（群馬）一法隆寺壁画消失と文化財保護法一平城宮（奈良）一沖ノ鳥（福岡）一夏島（神奈川）一保存運動陶色（大阪）一福井洞穴（長崎）一平原（福岡）一文化庁発足一古代地方役所の調査一高松塚（奈良）一大塚歳勝土（神奈川）一江戸遺跡の調査 稻荷山（埼玉）一太安万萬侶（奈良）一三ツ寺（群馬）一荒神谷（島根）一バブル経済一北村（長野）
4日目(日)	日本考古学の発達史③長屋王邸宅（奈良）一藤ノ木（奈良）一吉野ヶ里（佐賀）一原ノ辻（長崎）一三内丸山（青森）一中里（東京）一黒塚（奈良）一青谷上寺地（鳥取）一出雲大社（島根）一旧石器捏造事件一纏向・箸墓（奈良）一石見銀山（島根）一弥生年代問題一明大付高敷地（東京）一高松塚石室解体一柳沢（長野） 文化財保護法の意義、埋蔵文化財の大切さを理解させ普及させるために何を為すべきか（博物館など）、テスト

◆**教科書** 通材『考古学入門 0098』通信教育教材（教材コード 000048）1,050円（送料込）

◆**参考書** 各種の考古学入門書と最近の考古学関係報道

〔当日資料配付〕当日プリントを配布。

◆**成績評価基準** 小テスト 10% 平常点 20% リポート 20% 最終試験 50%
毎回出席を前提として評価する

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆刑法学の基本的な考え方を学ぶ

[刑法 I]

開講単位：2単位 担当者：設楽 裕文

◆**学習目標** 基礎理論、犯罪論、罪数論、刑罰論にわたって、刑法及び刑法学の概要を学び、その基本的な考え方を身につける。これを通じて、刑法的な諸問題について、感覚的にではなく、法的思考により的確な評価・判断をする能力を獲得するための基礎を構築する。

◆**授業方法** 基本的に教科書にそって講義をする。授業中に問答・討論・質疑応答はしない。ただし、休憩時間中に若干の質問時間（5～10分）をとる。

参考書の記述については授業中に適宜触れる。

2日目の最後に解答時間30分程度の小テストをおこない、4日目の最後に解答時間1時間の試験をおこなう。

◆**準備学習** 教科書の序章に「刑法の勉強のしかた」が記述してあるので、それにしたがって、最小限、教科書は読んで疑問点をメモしてくる必要がある。余裕があるなら、参考書を読んで問題意識をたかめ、あわせて、解答の方法についても検討するとよい（参考書の序章に論文式答案の書き方などについての懇切な記述がある）。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	①序 ＊主に基礎理論を学ぶ。とくに③④は重要である。	②刑法の意義、性格、機能 ③刑法の解釈 ④刑法の基本原則 ⑤刑法の適用範囲 ⑥犯罪論総説
2日目(日)	①行為 ②実行行為 ③因果関係 ④主觀的構成要件要素 ⑤早すぎた構成要件実現など ＊②～④では、構成要件該当性レベルの重要な諸問題（不作為犯、間接正犯、錯誤など）を学ぶ。	⑥違法性総説 小テスト
3日目(土)	①違法性阻却事由一正当行為 ②違法性阻却事由一正当防衛、緊急避難 ③責任能力 ④責任故意 ⑤未遂犯 ＊違法性・責任レベルの諸問題を学ぶ。③では、原因において自由な行為に言及する。	
4日目(日)	①共犯論総説 ②共犯の諸問題 ③罪数論 ④刑罰論 試験 ＊難解といわれる共犯論について概観し、全体をまとめるとよい。	

◆**教科書** 丸沼『法学刑法1総論』 設楽裕文編 信山社 1,260円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 丸沼『法学刑法3演習（総論）』 設楽裕文編 信山社 1,575円（税込）（送料340円）
なお、六法全書は必携である。

◆**成績評価基準** 小テスト（45%）及び試験（55%）の各結果を基に総合的に評価する。
なお、小テスト及び試験のいずれについても答案は返却しない。

◆ E-Mail :

◆「地域」の視点から考える国際政治

[国際政治学]

開講単位：2単位 担当者：大八木 時広

◆**学習目標** この授業では、現代のヨーロッパやアジアといった「地域」の視点から国際政治を大きく理解することを目的とする。具体的にはヨーロッパは統合史という点から、アジアは民主化と地域国際協力という点から、国際政治を考える。

◆**授業方法** 基本的には講義が主体。ただし一方的な講義だけで終わらないよう、対話形式や討論形式も予定。また理解度をみるために、小テスト（平常点）を行う予定。

◆**準備学習** 事前に教科書を読んで予習をしておくことが望ましい。予習の際は、細かな点にとらわれるのでなく、大きな流れを理解するよう心がけることが望ましい。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	まず国際政治学の基本概念と理論について簡単に学習する。その上でヨーロッパについての基本知識、統合の前史、統合の開始段階について取り上げる。
2日目(日)	ヨーロッパ統合がどのように生成・発展したのか、国際政治からどのような影響を受けて、また逆にどのような影響を及ぼしたのか学習する。
3日目(土)	アジアについての基本的理解をまず深める。そしてアジアにおいてどのように民主化がなされて、またなされなかつたか、という点について個別のケースを取り上げて学習する。またこうした点から国際政治の何が見えてくるか考える。
4日目(日)	アジアにおける地域的協力について、ASEANやAPECといった具体例を取り上げて学習する。またこうした協力が現代の国際政治にとってどのような意義があるのか学習し、最後に4日間のまとめを行う。

◆**教科書** 丸沼『国際関係論』 佐渡友哲・信夫隆司共編 弘文堂 2,310円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 平常点（小テストを含む）（20%）、試験（最終日に実施）（80%）

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ことばを調べ考える力につける

〔国語学演習〕

開講単位：1単位 担当者：鈴木 浩

◆**学習目標** ことばを研究するには実例を処理する能力をもつことが必要である。この授業では、実例の集めかたと、その読みとりかたとを実習し、自力で得た事実から立論できるようになることを目標とする。具体的には、現代日本語で受講生自身が問題を感じる現象（たとえば、「私、本気で迷惑です」は「本気でおしえます」と違う感じがするがそれはなぜか、等）について調査（用例収集）を実践し、その分析・記述を試行する。

◆**授業方法** グループによる調査・報告の実習と、全体の討議を中心に進める。受講生はあらかじめどんな現代日本語（「学習目標」記載のもの）について調べたいか、その候補を用意しておき、自分なりの問題意識をもってのぞむ。授業ではそれをふまえつつ、小規模な調査を分担しておこない、その分析結果を口頭発表し、受講生全員でその内容について討議する。これをもとに受講後文章化し、論文としてまとめる。

◆**準備学習** 各回について指定する課題をおこない、提出すること。課題はことばを研究する能力をやしなうためのもので、具体的な内容は、用例の収集と整理、先行研究の入手、発表資料の作成など、各回の学習内容に直結したものである。それぞれの日で課外の時間量に差があるため、各回で詳細を説明するが、初回分については、遅くとも二週間前には課題の案内を配布する。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各 300 分, 2日目：390 分, 4日目：360 分]

1日目(土)	[紙と鉛筆からの出発] ことばを調べる方法の案内、調査内容の決定 紙媒体の資料をもちいた調査の実習、用例カードの作成、用例の読みとりかた
2日目(日)	[調査量の拡大、研究史の把握] テキストデータをもちいた調査の実習、用例一覧の作成 分析の試行、発表資料のまとめかた、先行研究の把握
3日目(土)	[口頭発表と質疑応答、それによる課題の明確化] 分析結果の発表とその内容についての討議
4日目(日)	[立論へ向けて] 発表の総合と仮説の形成、論文の骨子の作成、研究内容の研究史での位置づけ 学習のふりかえり

◆**教科書** 事前資料送付 プリントを作成し、配布する。

◆**参考書** 適宜紹介する。なお、授業内ではとくにもちいない。

◆**成績評価基準** 準備学習 25%（3日目 10%, ほか各 5%）、発表内容 20%，参加行動 20%，論文 35%。
参加行動 20%は、発言・質問など、授業内で受講生が自発的に行った学習行動に対して認めるものである。出席点ではないから、出席して受け身の態度でいる場合、この 20%は得点できない。

◆ E-Mail :

◆英語の音声現象の基礎理解

〔英語音声学〕

開講単位：2単位 担当者：森 晴代

◆**学習目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のプロソディの学びを通して、英語らしい発音を目指す。

◆**授業方法** 英語音声学の観点から音声変化、強勢、リズム、イントネーションの説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テクストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めています。全員参加型の授業を目指します。

◆**準備学習** たった四日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。英語の母音、子音については理解している前提で授業を進めるので、まだ勉強していない方は事前に学習しておいてください。授業には必ず辞典を持参してください。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各 300 分, 2日目：390 分, 4日目：360 分]

1日目(土)	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、母音、子音の若干の説明 英語の音声変化：脱落、連結、同化（発音練習、リスニング演習）、プリント配布及び解答 小テスト
2日目(日)	英語の音声変化：脱落、連結、同化（発音練習、リスニング演習）続き、 英語の音節（音韻論的内容を含む）、強勢（語強勢、句強勢、文強勢）、プリント配布及び解答 小テスト
3日目(土)	強勢（語強勢、句強勢、文強勢）続き、 リズム、イントネーションの説明（発音練習、リスニング演習）プリント配布及び解答 小テスト
4日目(日)	プロソディに関する補足説明 文章音読 試験

◆**教科書** 丸沼『A Way to Better English Pronunciation-英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
英潮社フェニックス 2009年 池田紅玉、森晴代著 2,310円（税込）（送料 260円）

◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』大修館書店 新装版 CD付 川越いつえ著 2,520円（税込）（送料 340円）
*授業では使用しません

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆英語の発達

【英語学演習 C】

開講単位：1単位 担当者：桑山 啓子

◆**学習目標** イングランドはアングロ・サクソン民族に定住して以来他民族に侵略される度に英語は危機に瀕してきた。他言語をどのように取り入れながら英語は生き残ってきたのか、その結果どのように変化してきたのかを学ぶ。

◆**授業方法** 授業は予習をしてあることを前提に演習方式で進めて行く。学生一人一人が指定された箇所の内容を要約して簡単に説明してもらう。スクーリング中に全員に発表してもらう予定である。進み具合を見ながら関連のある文献を読んだり、CDをかけたりDVDを見る。またその日学んだことに関する小テストを授業の終わりに行う。

◆**準備学習** 参考文献や他の本を読み、イングランドの歴史や英語の歴史について知識を身につけておくこと。また事前送付されたテキストの英文は必ず読んでおくこと。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目(土)	ガイダンス 1: Beginnings (pp.1-6)
2日目(日)	2: Complications (pp.7-13) 3: Variations (pp.14-17)
3日目(土)	3: Variations (pp.17-21) 4: Standards (pp.22-24)
4日目(日)	4: Standards (pp.24-27) 試験

◆**教科書** 事前資料送付『The Fight for English』 David Crystal Oxford University Press (コピーを事前送付)

◆**参考書** 丸沼「図説 英語史入門」 中尾・寺島共著 大修館書店 1,995円(税込) (送料340円)

丸沼「ベーシック英語史」 家入葉子著 ひつじ書房 1,680円(税込) (送料340円)

丸沼「ティクオフ英語学シリーズ：英語の歴史」 松浪有著 大修館書店 1,680円(税込) (送料340円)

◆**成績評価基準** 授業内の発表(25%), 予習調べ, 小テスト等(25%), 最終試験(50%)

◆**E-Mail :**

◆古い英語に触れる（中英語・初期近代英語入門）

【英語学演習 D】

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆**学習目標** 本演習では、古い英語の特徴を知ることを目標とする。特に、Chaucer が用いた英語として知られる中英語(1100-1500年頃), Shakespeare や『欽定訳聖書』で知られる初期近代英語(1500-1700年頃)について焦点を当てる。中英語・初期近代英語について書かれた(現代英語の)テキストを読みながら、当時の英語とそれが使用された背景を学習する。また、現代英語と比較することで、英語の通時的变化について理解を深める。

◆**授業方法** テキストを輪読形式で進める。学生を指名し、音読、和訳を発表してもらい、その後解説を加える形をとる。並行して、実際の中英語・初期近代英語の文献も同様の方法で読み進める。また、適宜プリントを用いて、当時の英語と現代英語を比較し、英文法がどのように変化したのかについて考察を行う。

◆**準備学習** 輪読形式で進めるため、事前にテキストを読み、和訳を用意しておく必要がある。実際の中英語・初期近代英語の文献については、現代英語訳等を参考に内容を確認しておくこと。また、授業内容をより理解するために、指定した参考書や「英語史」に関する入門書等を読み、英語史の概略的な知識を事前に学習することが望ましい。授業で扱った項目については、必ず復習して次の授業に備えること。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分, 2日目：390分, 4日目：360分]

1日目(土)	1. ガイダンス 3. 中英語期の外面史	2. Middle English を読む
2日目(日)	1. 中英語(『カンタベリー物語』)を読む 3. 完了形の発達	2. 非人称動詞の発達 4. 再帰代名詞の発達
3日目(土)	1. 近代英語期の外面史 3. 初期近代英語(『欽定訳聖書』)を読む	2. Shakespeare and the Bible を読む
4日目(日)	1. 法助動詞の発達 3. 試験	2. 助動詞 DO の発達

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英語史入門』 橋本功著 慶應義塾大学出版会 2,520円(税込) (送料340円)

◆**成績評価基準** 試験(60%), 平常点(40%)を総合的に評価する。ただし、全出席を前提とする。

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆性と愛がつなぐ日中思想

〔東洋思想史Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：梅川 純代

◆**学習目標** 性愛技法・房中術を中心として、医学・文学・文化風俗の東洋的思想を考察していく。日中比較文化的な視点から、文献を参照しつつ理解を深めたい。唐・宋・明・清期・近世を中心とする。

◆**授業方法** 下記のような講義を行う。最後にレポートを提出してもらう。

◆**準備学習** 特に必要としない。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	房中術とその伝播 「イントロダクション」「性と愛と“やまい”と」 「房中思想の流伝—医心方から枕文庫まで」
2日目(日)	性愛と文学 「道教と内円」「西遊記異説」「仏教の中の性—“立川流”的思想」「三界一心記」
3日目(土)	性愛と文化思想 「房中術の技法」「房中術の飛翔」「日本人の房中術理解」「房中術の日本における展開」
4日目(日)	「遊女と性愛の日中比較」「聖なる胎児と仏の嬰兒—宗教と性愛の日中比較」「仙学と靈学—近代スピリチュアリズムと性愛の日中比較」「レポート」

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 丸沼『「気」の思想から見る道教の房中術—いまに生きる古代中国の性愛長寿法』 坂出祥伸・梅川純代 王曜書房 2,499円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 平常点およびレポート

◆ E-Mail :

◆国内総生産（GDP）の水準はどのように決まるか

〔経済原論〕

開講単位：2単位 担当者：片平 光昭

◆**学習目標** この講義ではマクロ経済理論を中心にして分析します。ここでは、一国の経済活動水準の指標である国民所得の概念とその決定理論について理解します。この分析から、現在のわが国の様々な経済状況を把握します。

◆**授業方法** 均衡国民所得水準の決定理論や貨幣理論を分析する上で、多くのグラフや簡単な数式を使用します。そこで、このグラフや数式がどのような意味を示しているかを理解するために、できるだけ簡明に解説していきます。

◆**準備学習** この講義は経済学の基礎的知識を土台にしてマクロ経済分析を行ないます。そのため、この講義を受講する前に「経済学」あるいは「経済学概論」を受講しておく方が望ましいでしょう。講義は、一つ一つの分析の積み重ねで継続的に進められますので、必ず前回の内容をしっかりと把握しておくことが必要です。また新聞やニュースなどで現在の経済状況を見ておけば、講義をより興味深く受講できるでしょう。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	ミクロ経済分析とマクロ経済分析、経済循環と国民所得の概念、国民所得の三面等価、均衡国民所得の決定理論
2日目(日)	消費関数と貯蓄関数、投資の決定、貯蓄と投資による均衡国民所得の決定、乗数理論、デフレ・ギャップとインフレ・ギャップ
3日目(土)	貨幣の機能、貨幣の需要、貨幣の供給、貨幣市場の需給均衡、IS曲線とLM曲線
4日目(日)	国民所得と利子率の同時決定、財政政策と金融政策の効果、まとめと試験

◆**教科書** 通材『経済原論 0711／経済学原論 0712』通信教育教材（教材コード 000159）2,350円（送料込）

◆**参考書** 必要に応じて講義中に指示します。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に最終試験により評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆証券の投資方法を学ぶ

〔証券市場論〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 猛

◆**学習目標** 個別証券の価格付けを中心に学習します。実用的な目的ではなく、証券理論として学習します。また日本経済新聞のトピックも話題とします。

◆**授業方法** パワーポイントで行います。またそれを当日資料配布しますが、必要な事項は教科書や参考書で各自、記入してください。レベルは中級程度です。必要に応じて関連DVDを見ます。

◆**準備学習** あらかじめ、テキストで基本用語は勉強しておきましょう。(第1章、第2章が中心です)

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	効率的市場と証券価格（株式 債券 CB WB）の決定
2日目(日)	証券取引の方法（信用取引 デリバティブ取引 オークション インサイダー取引 相場表 日経ダウ、マイクロ秒取引）DVD
3日目(土)	金融商品取引法（ディズクロージャー、公開買い付け：M & A、投資指標 等）
4日目(日)	投資で成功した人々の哲学（ケインズ バフェットのポートフォリオ、ソロス ロジャーズ）DVD

◆**教科書** 通材『証券市場論 0829』通信教育教材（教材コード 000185）1,500円（送料込）
【**当日資料配付**】その他資料を配付する。

◆**参考書** 丸沼『証券市場の基礎理論』佐藤猛 税務経理研究会 (H20.3) 2,835円（税込）（送料 340円）

◆**成績評価基準** 平常点で採点します。平常点は授業内の毎回のコメントまたは練習問題です。

◆ E-Mail :

◆教育の思想

〔教育原論／教育の思想〕

開講単位：2単位 担当者：北野 秋男

◆**学習目標** 現代の教育問題を考える上で、教育思想の歴史的展開を学ぶことは重要である。教育の様々な問題を思想的に学びながら「教育とは何か」を自覚的に問いたいと考える。特に、教育の目的論（人間の内面形成）と教授学思想（一斉教授と個別教授）の展開を中心としながら、国民教育論、新教育理論、脱学校論なども取り上げる予定である。

◆**授業方法** テキストを読み進めながら、教育思想を理解したい。その他には、「ビデオ」も鑑賞し、学力問題、フリースクールなどの現代的な問題にも理解を深めることとする。授業内で簡単なレポートの作成も行う。最後には学習内容に関する最終試験を行う。

◆**準備学習** テキストを丁寧に読むこと。その際に、各章のポイントが何であるかを理解しておくこと。前半の教育目的論の歴史的展開に関しては、人間の内面形成に留意すること。後半の、教授理論の歴史的展開に関しては、一斉教授と個別教授に留意すること。

◆**授業計画** [1日目・3日目：各300分、2日目：390分、4日目：360分]

1日目(土)	ガイダンス 全体の授業構成 教育目的論の原理と歴史的展開（ロック、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバート）
2日目(日)	教育目的論の歴史的展開（デューイ、ニイル）ビデオ鑑賞（感想文） 教授理論の原理と歴史的展開（コメニウス、ペスタロッチ）
3日目(土)	教授理論の歴史的展開（ペスタロッチ、ヘルバート、デューイ）
4日目(日)	課題の提出 現代思想の展開（アリエス、イリイチ） 最終試験

◆**教科書** 通材『教育原論 0901／教育の思想 0904』通信教育教材（教材コード 000199）1,200円（送料込）

◆**参考書** 特に指定しない。

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、課題（20%）、最終試験（50%）

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

III 地方スクーリング

1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
第1期	札幌	26日(土)	9:00~18:30
		27日(日)	9:00~18:30
		28日(月)	9:00~15:30 <試験も含む>
	大阪	26日(土)	9:30~18:30
		27日(日)	9:00~18:30
		28日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>
第2期	仙台 大垣 福岡	2日(土)	9:30~18:30
		3日(日)	9:00~18:30
		4日(月)	9:00~16:00 <試験も含む>

※ いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※ 各期から1開催地1講座のみの申込みです。

※ 札幌会場のみ授業時間が他会場と異なりますので注意してください。

2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・各自、ゴミは持ち帰ってください。

その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会 場	会場案内
第1期	札幌	NTT北海道セミナーセンタ	35ページ
	大阪	近畿大学（東大阪キャンパス）	38ページ
第2期	仙台	ショーケー株式会社	41ページ
	大垣	大垣日本大学高等学校	43ページ
	福岡	パピヨン24	46ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第1期)

札幌

日 程	授 業 時 間	備 考
10月26日	土 9:00~18:30	※時間内に昼休みを設けます。 ※札幌会場のみ他会場と授業時間が異なるため注意して下さい。
10月27日	日 9:00~18:30	
10月28日	月 9:00~15:30 <試験も含む>	

※開講式を初日の8時50分から行いますので、参加して下さい。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意					
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラム	受 講 条 件			
50	D1	英 語 F	堀切 大史	0041	英 語 I	1年			· I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				0042	英 語 II							
				0043	英 語 III	2年						
				0044	英 語 IV							
	D2	英語学演習 E	真野 一雄	0481	英語学演習 I	※	3年		· 英文学専攻のみ申込可 · I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				0482	英語学演習 II							
				0483	英語学演習 III							
	D3	国際経済論	陸 亦群	0737	国際経済論		2年					

札幌

NTT北海道セミナーセンタ
札幌市中央区南22条西7丁目

- 地下鉄南北線「幌平橋駅」下車、徒歩約15分
- 市電「すすきの」→「幌南小学校前」下車、徒歩約3分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ポップソングで学ぶ英語

〔英語 F〕

開講単位：1単位 担当者：堀切 大史

◆**学習目標** ポップソングの歌詞とアーティストに関するエッセイをとおして、英語力を高めること及び異文化理解を深めることを目指します。

2012年度地方スクーリング（秋期）第1期新潟で「英語 F」を受講した学生は、ほぼ同一内容のため本講座を受講することはできません。

◆**授業方法** 受講生には、輪読形式でテクストの音読と日本語訳をしてもらいます。また、ただ英語を読むだけでなく、視聴覚資料として楽曲や映像も使いながら授業をします。なお、授業初日に受講生を確認した後、二日目以降はあらかじめ分担個所を決めます。

◆**準備学習** 英語辞典を丁寧に引きながら、テクストをよく読んでおいて下さい。

◆**授業計画** [1日目：510分, 2日目：510分, 3日目：330分]

1日目	ガイダンス Introduction (1~3ページ7行目) The Beatles (17~18ページ5行目, 21ページ) Simon and Garfunkel (27~28ページ6行目, 31ページ)
2日目	Eagles, 'The Last Resort' David Bowie (48ページ1行目~23行目, 52ページ) Michael Jackson (82~83ページ)
3日目	Madonna (87~89ページ1行目, 91ページ) まとめと試験

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを送付します。

◆**参考書** 英語辞典

◆**成績評価基準** 発表 (30%) 授業参加 (20%) 試験 (50%)
毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

◆生成文法の基本を

〔英語学演習 E〕

開講単位：1単位 担当者：真野 一雄

◆**学習目標** 生成文法の理論について学びます。私たちが学んだ学校文法はいわゆる伝統文法を踏まえたものですが、それとは全く異なる生成文法の基礎についての知識を習得します。

◆**授業方法** 各章冒頭のイントロダクション（英文）を読み、本文（和文）の解説、確認します。必要に応じて担当者が作成する練習問題を行う場合もあるでしょう。章末の練習問題を行います。

◆**準備学習** テキストはあらかじめ読んでおいてください。

◆**授業計画** [1日目：510分, 2日目：510分, 3日目：330分]

1日目	第1章 文法とは 第2章 句の構造
2日目	第3章 語彙 第4章 文の構造
3日目	第5章 非時制文 試験

◆**教科書** 丸沼『現代の英文法—新しい文法理論へのいざない—』 金星堂 2,730円（税込）（送料 340円）

◆**参考書** 英語学入門書、英語学概説書

◆**成績評価基準** 試験 (100%) で評価します（試験は途中退出なしです）。毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆オープンマクロと外国為替問題

〔国際経済論〕

開講単位：2単位 担当者：陸 亦群

◆**学習目標** この講義は、教材の第3章と第4章を中心に、国際マクロ経済学の基礎理論や経済政策関連の内容の説明を進めながら、戦後の国際通貨秩序の確立や国際通貨制度の変遷、そして円高ドル安の国際経済現状を踏まえた外国為替問題も加えて解説を進めていきたい。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を解説し、そのプリント資料を配布する。

◆**準備学習** 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前にミクロ経済学基礎理論を温故し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆**授業計画** (1日目：510分、2日目：510分、3日目：330分)

1日目	国際収支統計と外国為替市場 対外収支と貯蓄投資バランス 外国貿易乗数と弾力性アプローチ
2日目	マクロ経済分析の基礎 IS-LM-BP 分析 国際マクロ経済政策 外国為替相場の決定理論
3日目	外国為替相場の変動と市場介入 円高と日本経済 外国為替制度の選択と国際通貨制度 講義のまとめ

◆**教科書** 通材『国際経済論 0737』通信教育教材（教材コード 000281）1,950円（送料込）

◆**参考書** 講義内容に応じて隨時紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験。国際経済学の基礎知識を身に付けているかを判定する。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

日 程	授 業 時 間	備 考
10月26日 土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
10月27日 日	9:00~18:30	
10月28日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加して下さい。

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地コード	講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目		受講方式	制限・注意		
				科 目 コード	科 目 名		配当学年	カリキラム	受講条件
97	D4	民 法 I	根本 晋一	0131	民 法 I	条件参照	2年	エイブル	・法律学科のみ1学年 以上申込可 ・その他は2学年以上 申込可
	D5	国文学講義I(上代)	近藤 健史	0331	国文学講義I(上代)				
	D6	アメリカ文学史	高橋 利明	0414	アメリカ文学史				

大阪

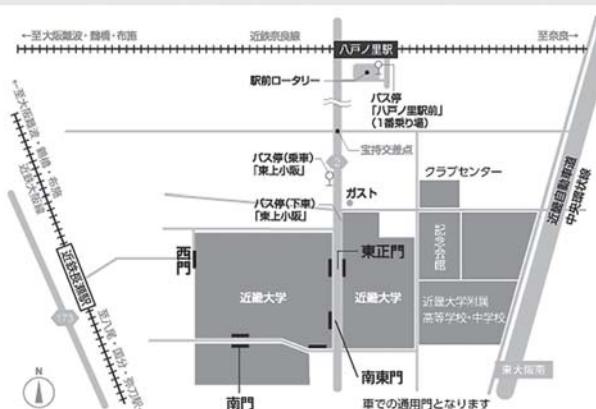
近畿大学 東大阪キャンパス

- ・JR・近鉄大阪線「長瀬」駅から徒歩約10分。
- ・近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から徒歩約20分。

近鉄大阪線・長瀬駅からの経路



近鉄奈良線・八戸ノ里駅からの経路



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆要説 民法総則

〔民法 I〕

開講単位：2単位 担当者：根本 晋一

- ◆学習目標 1 民法学における、民法総則の体系的な位置付を理解する。
 2 民法総則の体系（全体像）を理解する。
 3 1、2の理解および修得を前提として、民法総則に関する重要な論点を理解する。
 ※ 民法 I は、民法 I～V のなかでもっとも平易な科目、という意味ではないので注意を要する。

◆授業方法 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法 I」スク2単位+根本「民法 I」スク2単位 or 根本メディア「民法 I MA」 or 同「民法 I MB」2単位=「民法 I」1科目（4単位）完成は不可である。例外は認めない。

◆準備学習 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。それが本講義における予習であり、準備学習である。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス・民法の基本原理・私権の主体・主権の客体
2日目	(昨日の続き) 法律行為
3日目	(昨日の続き) 法律行為、条件と期限・期間・時效 調整と補遺・筆記試験（ただし、レポート試験を行う場合は実施しない）

◆教科書 指定しない。

- ◆参考書 通材『民法 I 0131』通信教育教材（教材コード 000407）2,300円（送料込）
 丸沼「民法総則講義」第4版（中央経済社）山川一陽 4,200円（税込）（送料 390円）
 丸沼「要説 民法総則・物権法」（法研出版）山川一陽 3,045円（税込）（送料 340円）
 その他の文献については適宜紹介をする。

◆成績評価基準 筆記試験またはレポートの成績・授業態度等を、総合的に考慮する。

◆E-Mail：

◆難波と万葉集について現代で学びましょう

〔国文学講義 I（上代）〕

開講単位：2単位 担当者：近藤 健史

◆学習目標 難波宮の歴史や難波と万葉集の関係を学び、また難波宮跡や発掘された日本最古の万葉仮名の木簡などを見学することにより理解を深める。

◆授業方法 難波宮の歴史、難波を詠んだ万葉集について講義する。また、校外学習として難波宮跡と、隣接する大阪歴史博物館を見学する。

◆準備学習 万葉集において、難波を詠んだ歌について、歌数などを調べておいて欲しい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 難波宮の歴史を学ぶ。 (1)日本書紀・続日本紀の時代 (2)万葉集の時代
2日目	1. 難波万葉の歌を読む(1) 2. 校外学習、難波宮跡と歴史博物館見学
3日目	1. 難波万葉の歌を読む(2) 2. 住吉大社と万葉集

◆教科書 全歌が入っている万葉集なら、どこの出版社でも可。

- ◆参考書 ①『難波宮と難波津の研究』直木孝次郎 吉川弘文館 2009年
 ②『万葉の歌一人と風土一、5. 大阪』井村哲夫、保育社
 (①、②は共に品切れです。②は古本でしか入手できないと思うが安いです。)

◆成績評価基準 授業内の討論発言 20%，試験 80%

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆アメリカ文学の源流をたずねて

〔アメリカ文学史〕

開講単位：2単位 担当者：高橋 利明

◆**学習目標** アメリカ文学の歴史をアンソロジー形式のテクストを用いて概観する。アメリカ文学の源流としての第一期黄金時代である“American Renaissance”的作家5人の代表作の勘所を味読しつつ、アメリカ文学の歴史と民主主義の関係も考察する。

◆**授業方法** 基本的には輪読形式で、学生諸君にパート部分の音読と読解を提示してもらう。さらには問題点などを議論しつつ、補足的な説明を付け加えていく。一日目の冒頭では、アメリカ文学史総論として、20世紀初頭までをプリントで取り上げる。

また、適宜ビデオを利用し、アメリカ文学史の理解の一助にしたい。
(なお、授業の進度は予定である。)

◆**準備学習** テクスト原文と事前配付のプリント資料の十分な予習が必須である。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	<ul style="list-style-type: none">・アメリカ文学史総論・“American Renaissance”について・Ralph Waldo Emerson (12)・Henry David Thoreau (13)
2日目	<ul style="list-style-type: none">・Nathaniel Hawthorne (14)・Herman Melville (15)・Walt Whitman (16)・Emerson (+)
3日目	<ul style="list-style-type: none">・Hawthorne (+)・Melville (+)・試験

◆**教科書** 丸沼『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 1,260円(税込)
(送料260円)

※『アメリカ文学史 0414』通信教育教材とは別の教科書ですので注意してください。

事前資料送付 事前にプリント資料を送付する。

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 試験(70%)・平常点(30%)で、出席を大前提として総合的に評価する。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第2期)

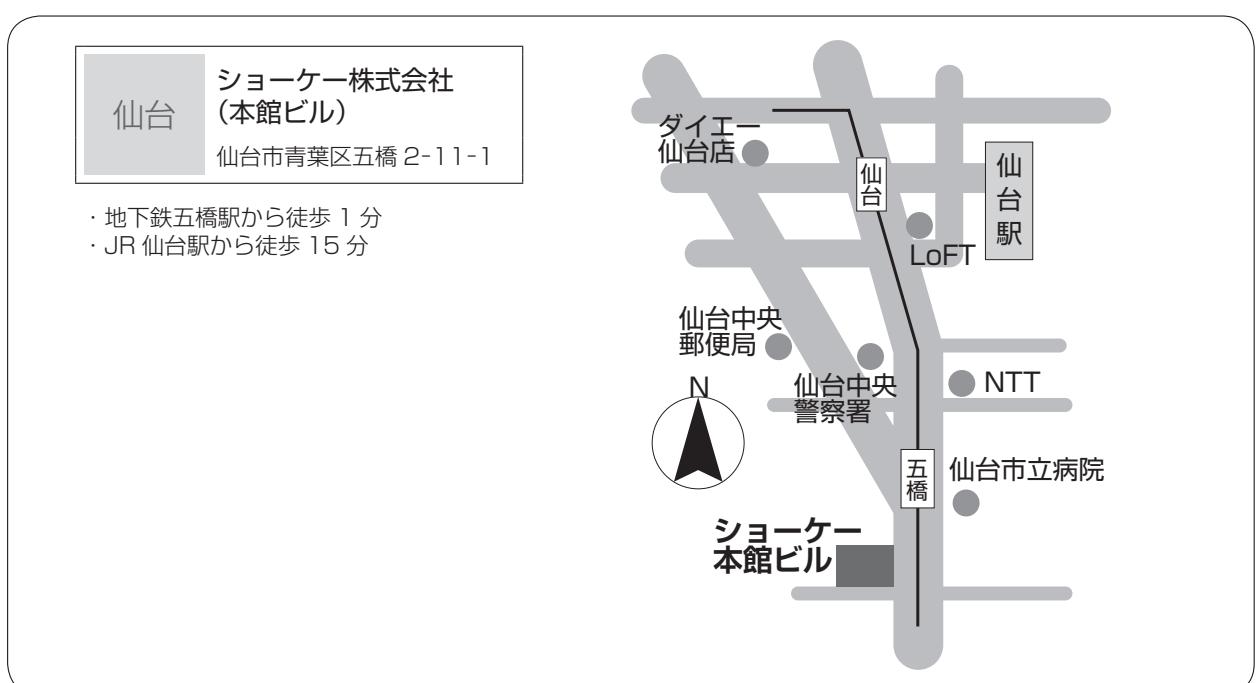
仙 台

日 程		授 業 時 間		備 考	
11月 2日	土	9:30 ~ 18:30		※時間内に昼休みを設けます。	
11月 3日	日	9:00 ~ 18:30			
11月 4日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>			

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加して下さい。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

開催地コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講方式	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キュ ラム	受 講 条 件
60	E1	英 作 文 I	アレックス ブラウン	0447	英 作 文 I	※	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
	E2	東 洋 史 特 講 I	高綱 博文	0665	東洋史特講 I		2年		



注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ English Composition

〔英作文Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学習目標** This course begins with a look at the writing process and its structure. The course also explores other forms of writing; creative writing, narratives, comparative essays and persuasive approaches.

◆**授業方法** We will work on developing essays through the writing process, generating ideas in group activities, organizing ideas and constructing essays all within a workshop-like environment.

◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students are encouraged to write a journal in English that will be reviewed (not graded) by the teacher during the course.

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	Orientation: self-introduction writing activity, free-writing, What is the writing process?, overview of various writing forms. Brainstorming essay ideas in groups, paragraph construction and formation. Draft paragraphs for essay 1.
2日目	Free-writing activity. Review of the various essay structures. Introduce essay analysis and critique. Check and revise paragraphs in groups. Organize paragraphs into essay form. Begin first draft of essay 1. Free-writing, brainstorming and organizing ideas for essay2
3日目	Free-writing. Creative writing activity. Check and revise paragraphs for essay 2. Begin first draft of essay 2. Essay analysis and critique for essay 2. Make revisions and prepare for final completion.

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook, dictionary and folder for handouts.

◆**参考書**

◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays with strong consideration on class participation and group contribution.

◆ E-Mail :

◆近代上海における日本人

〔東洋史特講Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：高綱 博文

◆**学習目標** 近代上海における日本人の活動と意識のあり方について明らかにし、その歴史的意義について考えます。

◆**授業方法** 配布資料等により講義を行い、また関係する映像資料を視聴しながら理解を深めます。

なお、中国〈国民文学〉の父・魯迅の仙台における足跡を探訪します。

◆**準備学習** 下記の参考書を予め学習しておくことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	テーマ1：上海史研究への招待（ビデオ視聴を含む） テーマ2：「租界都市」上海論 テーマ3：上海共同租界（ビデオ視聴を含む） テーマ4：上海日本人コミュニティ論
2日目	テーマ5：上海事変と日本人居留民（ビデオ視聴を含む） テーマ6：上海内山書店の歴史 テーマ7：魯迅と内山完造 テーマ8：仙台における魯迅の足跡を訪ねる（史跡探訪）
3日目	テーマ9：最後の上海日本人居留民社会 テーマ10：上海における李香蘭（ビデオ視聴を含む） テーマ11：上海日本人引揚者ノスタルジー

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 授業中に配布します。

◆**参考書** 丸沼『「国際都市上海」のなかの日本人』高綱博文 研文出版 6,825円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 試験（70%）、小テスト・リポート（30%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地方 (第2期)

大 垣

日 稲	授 業 時 間	備 考
11月 2日	土 9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
11月 3日	日 9:00~18:30	
11月 4日	月 9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加して下さい。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

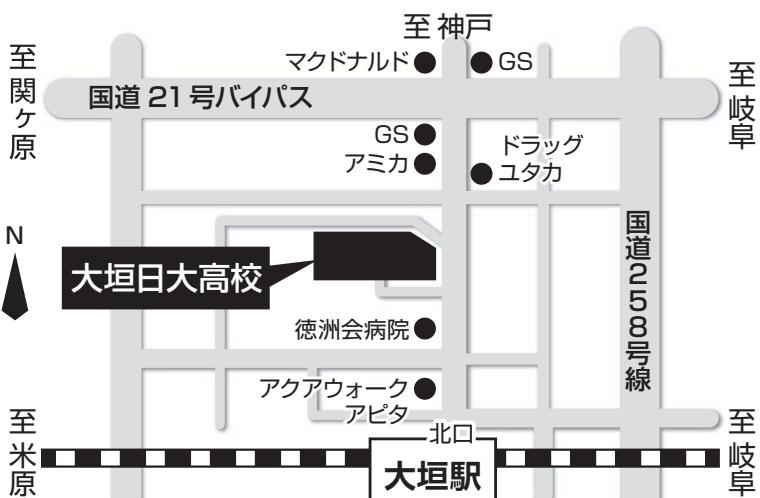
開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
96	E3	哲 学	本間 司	0011	哲 学	※	1年		
	E4	体 育 実 技 B	北村 辰夫	0077	体 育 実 技 I		1年		・I・IIのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
				0078	体 育 実 技 II				
	E5	マーケティング	佐藤 稔	0823	マーケティング		2年		

大垣

大垣日本大学高等学校

大垣市林町 6-5

・JR 大垣駅北口から徒歩約10分



注意
各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆古代医療における倫理と論理

〔哲学〕

開講単位：2単位 担当者：本間 司

◆学習目標 ヒポクラテス書簡からデモクリトスの「笑い」を考察する。
倫理と論理の統一化を考えるのが中心内容となる。

◆授業方法 基本的に講義をした後に、講義を通してディスカッションをする。

◆準備学習 特に必要としない。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ヒポクラテス所感（12篇）についての講義
2日目	ヒポクラテスとデモクリトスの世界観の異なりについての講義。
3日目	倫理と論理の世界観の対立とその克服について。

◆教科書 〔当日資料配付〕資料を配布する。

◆参考書 『古い医術について』ヒポクラテス
(上記の本は品切のため図書館等を利用して下さい)

◆成績評価基準 受講状況50%、ディスカッション50%

◆E-Mail：

◆生涯スポーツの知識と実践

〔体育実技 B〕

開講単位：1単位 担当者：北村 辰夫

◆学習目標 高齢社会を迎え、健康、体力の維持増進の必要性がますます重要になってきていている。運動、スポーツの実践をとおして、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣まで発展することをねらいとする。

◆授業方法 基本的には体育館内で実施する。スポーツを実施するにあたり知識を高める。小グループでスポーツを体験。年齢、体力相応に健康の維持増進について認識を高めてもらう。

◆準備学習 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス ・スポーツと健康（講義） ・準備運動、体力づくり ・準備運動、バスケットボール（班別でゲームを行う）
2日目	・加齢による心拍数とスポーツ（講義） ・準備運動、卓球 ・準備運動、ソフトバレー・ボール
3日目	・ウェイトトレーニングの基本（講義） ・準備運動、バレーボール ・準備運動、バドミントン

※施設・用具等により授業計画の一部が変更になる場合があります。

◆教科書 〔当日資料配付〕プリントを配布する。

◆準備用品 体育実技に適した運動着、室内用の運動靴、健康保健証、筆記用具を持参すること。

◆成績評価基準 授業への取り組み（授業態度・服装）及び事故の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆現代マーケティングの体系

[マーケティング]

開講単位：2単位 担当者：佐藤 稔

◆**学習目標** 現代マーケティングの体系、基本的な諸問題について理解する。

◆**授業方法** テキスト及び資料に基づく講義形式

◆**準備学習** 教科書に一通り目を通してください。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	マーケティングの生成 現代マーケティングの研究方法 マーケティングの諸分野
2日目	マーケティングを取り巻く環境 マーケティング情報の意義と収集方法
3日目	製品計画の体系 価格設定の諸方式

◆**教科書** 通材『マーケティング 0823』通信教育教材 (教材コード 000182) 2,200円 (送料込)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 授業への参加、レポートの提出及び最終試験など総合的に評価

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

地 方 (第2期)	日 程	授 業 時 間	備 考
福 岡	11月 2日 土	9:30~18:30	※時間内に昼休みを設けます。
	11月 3日 日	9:00~18:30	
	11月 4日 月	9:00~16:00 <試験も含む>	

※開講式を初日の9時20分から行いますので、参加して下さい。

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

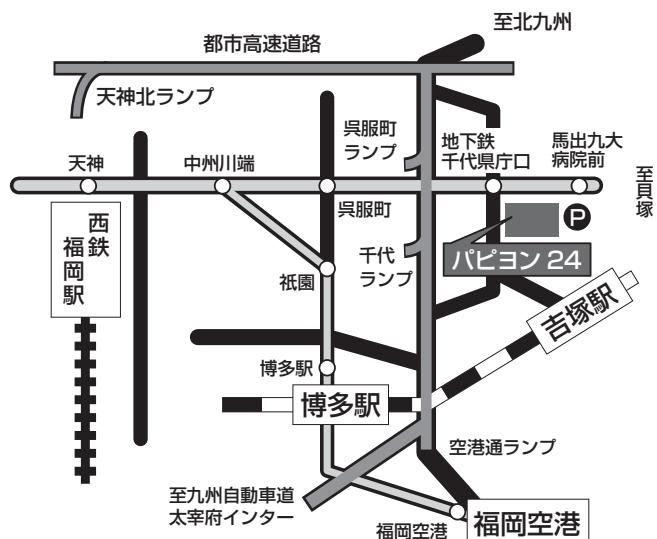
開催地 コード	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
99	E6	倫理学概論 B	水田 英実	0533	倫理学概論		2年		
	E7	英語科教育法 II	吉良 文孝	0997	英語科教育法 II	※	2年		・英文学専攻のみ申込可 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

福岡

パピヨン 24

福岡市博多区千代 1-17-1

- 地下鉄 千代県庁口下車すぐ
- 西鉄バス 千代町バス停前
- JR 吉塚駅下車徒歩 10 分



注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆倫理学の課題は何か

〔倫理学概論 B〕

開講単位：2単位 担当者：水田 英実

◆**学習目標** 倫理学は「私」と「世界」との関係を論じる。特に「行為」の観点からこれを論じる。しかし「世界」は多様な意味で語られる。「世界」の意味との相関において「私」の意味も変わる。この変化に応じてさまざまな倫理学の体系が成立しうることを考慮に入れて、倫理学が担う課題について理解をはかる。

◆**授業方法** まず「世界」がいかなる意味で理解され、またその理解のもとに「私」がどのように把握されることになるかということを順を追って考察する。その上で、「行為」の実践にかかる規範や目的について、どのような歴史的考察がなされてきたかを取り上げ、倫理学の諸問題について質疑を通して理解を深める。

◆**準備学習** 善悪の判断の基準を何に求めるかによって「行為」の善し悪しが変わるとしたら、わたしたちは嫌でも相対主義に陥らざるを得ないのか。それとも行為にはそれ自体の価値があると言えるのか。他人に迷惑をかけない行為であれば社会がそれを規制する理由はないのかあるのか。問題は山積している。考えてみてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	倫理学の課題について、独善的でない仕方で理解をはかるために、まず、「世界」の意味（自然の世界、表象の世界、客觀の世界、対象の世界、実在の世界）について考察し、その多様な意味に応じて「私」の意味が変わることを明らかにする。私の行為がなされる場としての世界について理解を深める。
2日目	世界と私との関係について考察した上で、行為の対象としての世界を見出し、行為の実践にかかる諸問題（行為を行ふとして成り立たせる原理、行為の目的、行為の規範）を取り上げる。歴史的にさまざまな議論が積み重ねられてきた諸問題であるから、あわせて過去の倫理思想家の見解を学ぶ。
3日目	現代世界における倫理学の問題を取り上げる。クローン人間、ネット犯罪、環境破壊など応用倫理学（生命倫理学、環境倫理学、情報倫理学など）の諸問題が昨今の新聞を賑わしている。いくつかの具体的な問題を取り上げ、質疑を通して、倫理学が担う課題について理解を深める。

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリントを配付する予定。

◆**参考書** 必要に応じて授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点（50%）試験（50%）。毎回出席することを前提として評価する。授業中に取り上げた問題について小レポートの提出を求める。

◆**E-Mail :**

◆英語科教育の基礎理論と実践

〔英語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：吉良 文孝

◆**学習目標** 日本の学校教育における外国語（英語）教育についての歴史的経緯、英語科教育の法的枠組み、および応用言語学的視野から見た英語学習の現在について幅広い知識と深い洞察を得ること。加えて、それらを踏まえたうえでの英語教授の実践（模擬授業）を試みること、それを本講座の目標とします。

◆**授業方法** テキスト『英語科教育法Ⅱ 0997』（通信教育教材）にある項目（の一部）について、適宜プリントを用意し、講じます。また、本講座は講義科目ではありますが、こちらからの一方的な講義にならないように学生諸君にも当該領域の著名な文献（の一部を）演習形式で読んでもらいます。上に加え、スクーリング2日目より、英語教授の実践（模擬授業）をします。

◆**準備学習** 事前送付される模擬授業テキストの予習準備。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(1)外国語としての英語の位置づけ (2)国際理解教育 (3)早期英語教育（の是非） (4)学習指導要領の周辺
2日目	模擬授業（その1）
3日目	模擬授業（その2）、ならびに試験

◆**教科書** [事前資料送付] 模擬授業の教科書（授業材料）は受講者宛事前配布（郵送）します。

〔通材〕『英語科教育法Ⅱ 0997』通信教育教材（教材コード 000490）3,200円（送料込）平成25年度新教材

〈この教材は、市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会（三修社）と同一です。〉

◆**参考書**

◆**成績評価基準** 授業への参加度（60%）、試験（40%）。

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

1 開講日程

開講期間	10月21日(月)～12月16日(月)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。					
授業日程 ①：1回目 ②：2回目 ③：3回目 ④：4回目 ⑤：5回目 ⑥：6回目 ⑦：7回目 ⑧：8回目 ※ 8回目は試験を含む	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	10月	① 21	① 22	① 23	① 24	① 25
		② 28	② 29	② 30	② 31	② 11/1
	11月	-	③ 5	③ 6	③ 7	③ 8
		③ 11	④ 12	④ 13	④ 14	④ 15
		④ 18	⑤ 19	⑤ 20	⑤ 21	⑤ 22
		⑤ 25	⑥ 26	⑥ 27	⑥ 28	⑥ 29
		⑥ 2	⑦ 3	⑦ 4	⑦ 5	⑦ 6
	12月	⑦ 9	⑧ 10	⑧ 11	⑧ 12	⑧ 13
		⑧ 16	-	-	-	-

※ 各曜日から1講座のみの申込みで、最多で合計5講座まで受講できます。

2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3
交通案内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※ 授業講堂は、本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

3 開講講座

月 曜 日		
講 座 名		担 当 講 師 名
英 語	G	パトリック マッコイ
英 米 文 学 概 説		佐 藤 秀 一
哲 学 基 础 講 讀		石 井 友 人
国 文 学 講 義 VI (現 代)		渡 邊 重 人
経 済 学 史		塚 本 隆 夫
国 際 金 融 論		谷 川 孝 美

火曜日	
講座名	担当講師名
英語 H	角田裕子
行政法 II	和知賢太郎
国文学史 II	高橋啓之
英作文 II	ダレルハーディ
哲学演習 B	本間司
社会科・公民科教育法 II	壽福隆人
経済学概論	大塚友美

水曜日	
講座名	担当講師名
歴史学	鍋本由徳
英語 V	小田井勝彦
英語基礎	中村則子
英米文学演習 F	石川勝
考古学演習	小泉龍人
貨幣経済論	続橋孝行
生徒指導・進路指導論	野々村新

木曜日	
講座名	担当講師名
経済学	田村和彦
英語 J	八木茂那子
日本政治史	瀧川修吾
英語学特殊講義	田中竹史
スピーチコミュニケーション II	アレックス ブラウン
発達と学習	佐々木心彩

金曜日	
講座名	担当講師名
英語 K	佐藤恵一
刑事訴訟法	三明翔
国文学演習	大川真智子
英語学演習 G	佐藤健児
情報概論	一島力男
教育の歴史	金泰勲

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間	時 間	18:30 ~ 21:25								
		授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
月曜日			10/21	10/28	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方式	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
月	A1	英 語 G	パトリック マッコイ	0041	英 語 I	1年			· I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III	2年			
				0044	英 語 IV				
月	A2	英 米 文 学 概 説	佐藤 秀一	0086	英米文学概説	条件参照			· 英文学専攻のみ1学年以上申込可 · その他は2学年以上申込可
月	A3	哲 学 基 础 讲 読	石井 友人	0091	哲学基礎講読	条件参照			· 哲学専攻のみ1学年以上申込可 · その他は2学年以上申込可
月	A4	国 文 学 講 義 VI(現代)	渡邊 重人	0339	国文学講義VI(現代)	2年			
月	A5	経 済 学 史	塚本 隆夫	0713	経済学史	2年			· 文理・経済・商学部のみ申込可
				0714	経済学説史				· 法学部のみ申込可
月	A6	国際金融論	谷川 孝美	0833	国際金融論	2年			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆ Current English

〔英語 G〕

開講単位：1単位 担当者：パトリック マッコイ

◆**学習目標** The purpose of this course is to develop English language skills by studying current English use in a variety of mediums.

◆**授業方法** Students will develop all four language skills through a number of activities related to newspaper articles, video news reports, and study of a contemporary film. This will involve individual, pair, and group work. Students will be required to prepare homework for class on occasions.

◆準備学習

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Introduction/Orientation; News Article 1; Homework: News & Views 1
2回目	News & Views 1; Video Report 1; Homework Listening Log 1
3回目	Listening Log 1 : News Article 2; Homework: News & Views 2
4回目	News & Views 2; Movie Lesson 1
5回目	Movie Lesson 2; Movie Lesson 3
6回目	Movie Lesson 4; Movie Lesson 5
7回目	Movie Activity; News Article 3; Homework: Listening Log 2
8回目	Listening Log 2; News Article 4

◆**教科書** No text. The instructor will provide material and students will be responsible for homework to be used in class.

◆参考書

◆**成績評価基準** 70% for Homework assignments. 30% for class participation.

◆ E-Mail :

◆英文学への誘い

〔英米文学概説〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 秀一

◆**学習目標** アメリカの黄金時代、イギリス文学ではビクトリア朝の作家たちを取り上げ、彼らの作品の背景となるべくレーシ的、社会的、文化的な状況を考慮しつつ作品を貫くテーマ等を考察しながら解説を交えて論じて行く。同時にイギリス、アメリカの文学的特質を感じて行きたい。

◆**授業方法** 授業方法は、講義方式で行う。授業の中で取り上げられる作家の作品に実際に触れ、それぞれの文学的意識、諸相、表現、描写等を考察しながら論じて行く。また、機会が許せばビデオを理解の一助として活用したい。

◆**準備学習** 下記の授業計画の中で取り上げられている作家や作品の社会的状況等を概観し、更に言及されている作家の主な作品を読んでおくと授業内容も深まり、興味と真の喜びが湧くのではないかと思う。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Introduction アメリカ文学の黄金時代、アメリカ文学の独立—19世紀初期、アメリカ革命の文学、アメリカ文学に寄与した4人の作家
2回目	ニューイングランド文学の開花、17世紀以来の会衆派の伝統、チャニング (W.E. Channing) の『国民文学論』(Remarks on National Literature)、エマソン (R.W. Emerson) と『自然論』、ソロー (H.D. Thoreau) の『自然愛』
3回目	ホーリー (N. Hawthorne) とメルビル (H. Melville)、心のアレルギー
4回目	ホイットマン (W. Whitman) と『草の葉』(Leaves of Grass)、ホイットマンのアメリカ的特質
5回目	ビクトリア朝時代の作家たち、背景、イギリス文学の特質
6回目	ディケンズ (C. Dickens) 『デビット・コパーフィールド』(David Copperfield)
7回目	エミリー・ブロンテ (Emily Brontë) 『嵐が丘』(Wuthering Heights)
8回目	ジョージ・エリオットことメアリ・アン・エバンス (M.A. Evans) 『フロス河畔の水車小屋』(The Mill on the Floss)、ハーディ (T. Hardy) 『日暮のジード』(Jude the Obscure)

◆**教科書** 指定しない。[当日資料配付] 当日プリント配布します。

◆**参考書** 授業の中で適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業への取り組み：30%）、最終試験（70%）
毎回出席することが評価の対象の前提として総合的に評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆『論理学、別名思考の技法』を読む

[哲学基礎講読]

開講単位：2単位 担当者：石井 友人

◆**学習目標** 17世紀フランスのアルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』の「第四部、方法について」を読むことを通して、哲学の思考法に慣れることを第一の目的とします。その際、1. デカルトからの同書への影響と相異点、2. 確実な知識とは何か、曖昧で不確実な事柄について私たちは何を言っているのか、という問題について考えてみたいと思います。

◆**授業方法** 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、受講される皆さんのお見を求めることがあります。なお、アルノーの伝記的事実については、授業では特に言及しないので、教科書に付された評伝をあらかじめ確認しておいてください（講読の進度によって、授業計画に変更を加える場合もある）。

◆**準備学習** 通材内、『論理学、別名思考の技法』の「第四部、方法について」の全体に目を通しておいて下さい。「第1部、観念について」の「第1章、観念について」「第9章、観念の明晰性と判明性について」「第10章、道徳から取り出された不分明で曖昧ないくつかの観念の例」、及び「第3部、推理について」の誤謬推理を扱う第20章なども理解を深めるのに役立つと思われます。教科書に付された訳者による解説が、理解の助けとなるでしょう。

◆授業計画【各170分】

1回目	学的知識と蓋然的知識Ⅰ。	デカルトによる確実な知識の探究。
2回目	学的知識と蓋然的知識Ⅱ。	アルノーに方法的懷疑はあるのか？
3回目	論拠知と信念知。	アルノーによる蓋然的知識の探究。不確実であるとは、どのようなことか？
4回目	内的事情と外的事情（蓋然的知識の諸規則Ⅰ）。	過去の事実についての判断、証言内容と証言者への信頼の問題。
5回目	偶然性と必然性。	アルノー・ライブニッツ論争。
6回目	共通事情と特殊事情（蓋然的知識の諸規則Ⅱ）。	もう一つの信頼の問題、私たちの日常は他者への信頼の上に成り立っている。
7回目	確率的な方法（蓋然的知識の諸規則Ⅲ）。	未来の不確実な事柄についての判断。
8回目	奇蹟は存在するか？ 奇蹟についての証言を考える。	試験

◆**教科書** 通材『哲学基礎講読 0091』通信教育教材（教材コード 000042）3,650円（送料込）

◆**参考書** 講義のなかで紹介します。

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、平常点と試験により総合的に評価。

◆**E-Mail :**

◆表象としての〈新選組〉〈佐幕派〉を読む

[国文学講義VI（現代）]

開講単位：2単位 担当者：渡邊 重人

◆**学習目標** 平成23年度に続き、表象としての〈新選組〉を扱うとともに、今回は〈佐幕派〉の表象についても検討します。これらの分析を通して、物語とキャラクターがどのようにして生成され、受容されていくのかということについて考察します。なお、分析のキー・コンセプトは「敗れ去る者、敗れざる者」です。

◆**授業方法** 講義形式で行い、レスポンス・ペーパーによる履修者との意見交換をします。授業進度については適宜調整します。

◆**準備学習** 入手可能な文献については、予習として一読することを勧めます。「豪剣ありき」「さらば新選組——土方歳三——」は細谷正充編『新選組傑作選 誠の旗がゆく』（集英社文庫）、「新選組の道化師」は山田風太郎『山田風太郎傑作大全⑩ ヤマトフの逃亡』（廣済堂文庫）、「燃えよ剣」は新潮文庫、『榎本武揚』は中公文庫で読むことができます。また、歴史的事項についてもある程度踏まえておくと理解の手助けとなります。

◆授業計画【各170分】

1回目	総論：〈新選組〉の表象 ※物語と史実の葛藤、キャラクターの生成の観点から〈新選組〉の表象について解説します。
2回目	宇能鴻一郎「豪剣ありき」を読む ※〈芹沢鴨〉のキャラクターの変遷について考察します。
3回目	山田風太郎「新選組の道化師」を読む ※2回目に続き、〈芹沢鴨〉のキャラクターの変遷について考察します。
4回目	司馬遼太郎『燃えよ剣』を読む ※鳥羽伏見の戦い以降の〈土方歳三〉、司馬史觀について考察します。
5回目	三好徹「さらば新選組——土方歳三——」を読む ※『燃えよ剣』の〈土方歳三〉との比較をします。
6回目	山田風太郎「それからの咸臨丸」を読む ※「敗れ去る者、敗れざる者」という観点から考察します。
7回目	安部公房『榎本武揚』を読む ※〈榎本武揚〉、〈土方歳三〉ら〈佐幕派〉の表象を多角的に読み解きます。
8回目	まとめ ※これまでの学習内容をまとめ、授業内試験を実施します。

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリントを配付します。

◆**参考書** 授業時に指示します。

◆**成績評価基準** 授業内試験70%、提出物・授業時の積極性30%で評価します。

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆「経済学」はどのようにして創られ、どのようにして受け継がれてきたのか 【経済学史】

開講単位：2単位 担当者：塚本 隆夫

◆**学習目標** 18世紀後半のイギリスでアダム・スミスは「経済学」を作り上げました。ここに至るまでの「経済学」がたどった道のりと、スミス以降の経済学がどのように受け継がれていったかを、検討します。この検討作業を通じ、「経済学」とは、①「経済学者が時代の問題に対処しようとした知的格闘の歴史」であること、そしてそこには②「時代制約」があること。この2つを理解します。

◆**授業方法** 講義の概要を簡単に整理したレジュメを、講義時に配布します。また受講生が講義をどれくらい理解できているかを確認するため、「小テスト」・「宿題」を随時行います。講義は、①アダム・スミスの経済学の解明を中心にします。次いで、②19世紀イギリスの経済学上の論争を講義します。この論争を検討することで、イギリス国民経済の問題が、経済学とどのように関係していったのかを、受講生と共に考えて行きます。受講生の理解度に応じて、講義の進度を調整します。

◆**準備学習** この講義は専門科目です。受講生が、「経済理論」と「経済史」の基礎を修得していることを前提に、講義を進めます。受講時までに、①「ミクロ理論」と「マクロ理論」の基礎、②18世紀中葉から19世紀の中葉にかけてのイギリス経済史、西洋経済史の学習を済ませて下さい。③講義範囲のテキスト・参考文献を精読しておいて下さい。

◆授業計画【各170分】

1回目	「経済学史」とは、どのような学問・科学なのか。「科学としての経済学」を産み出す条件。スミス以前の「経済学」の状況。
2回目	イギリス重商主義の理論とその限界。「富」とはなにか。どうすればその「富」を手に入れることができるか。イギリス重商主義は、イギリスになにをもたらしたか。
3回目	フランス重商主義の功罪。フランス重商主義は、フランスになにをもたらしたのか。なぜ、フランス重農主義が現れたのか。
4回目	アダム・スミスが起こした「革命」とはなにか。「富」とはなにか。どうすれば富を増加できるのか。スミスの分業論と交換論の謎を解く。
5回目	スミスの価値論には謎がある。その謎はなにか。それをどのように解くか。スミスの経済成長戦略とはなにか。
6回目	スミス以降のイギリス経済学の展開。マルサスの「人口論」に挑む。「貧困」は人間の英知で解決できるのか。それとも貧困は人間社会の宿命なのか。農産物の輸出入自由化は、国民経済になにをもたらすのか。
7回目	リカードは、なぜ自由貿易を主張したのか。その根拠はなにか。リカードの経済学体系を調べる。賃金、地代、利潤はどうやって決まるのか。
8回目	自由貿易の基礎理論とはなにか。不況が資本主義を襲う。単位認定試験。

◆**教科書** 通材『経済学史 0713／経済学説史 0714』通信教育教材（教材コード000160）2,150円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『経済思想』松原隆一郎著 新世社 2,520円（税込）（送料340円）

丸沼『入門 経済思想 世俗の思想家たち』ハイルブローナー著 ちくま学芸文庫 1,575円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** ①小テスト、②宿題、③単位認定試験の3つの成績を総合評価します。

◆**E-Mail :**

◆国際金融の基礎理論を学ぶ

【国際金融論】

開講単位：2単位 担当者：谷川 孝美

◆**学習目標** 最近では、我が国の貿易収支赤字や為替レートの変化が大きなニュースになっています。この講義では、国際決済や外国為替市場などの基礎的概念、外国為替レートの決定理論などの基礎理論を理解することを目標とします。また、国際資本移動とマクロ経済の関係について、マンデル・フレミング・モデルなどを紹介する予定です。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や理論を中心に、平易な解説をする予定です。なお、国際金融の歴史や制度は取り扱いませんので注意してください。

◆**準備学習** 国際金融論では、金融論およびマクロ経済学の基礎的理解が前提となります。学習の準備としてこれらを確認しておくと良いでしょう。また、講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などで予習をするとよいでしょう。

◆授業計画【各170分】

1回目	ガイダンス、国際金融論の対象と課題、外国為替と国際決済
2回目	さまざまな外国為替レート、外国為替市場と先物と取引
3回目	オプション、スワップ取引、国際収支と外国為替相場
4回目	国際金融の基礎理論(1) 一物一価の法則、購買力平価
5回目	国際金融の基礎理論(2) 金利裁定取引、金利平価
6回目	国際金融の基礎理論(3) フローラップローチ、アセットアプローチ
7回目	外国為替レートと開放マクロ経済政策
8回目	欧州債務問題と欧州単一通貨ユーロ、講義のまとめ

◆**教科書** 指定しない。〔当日資料配付〕当日プリント配布。

◆**参考書** 通材『国際金融論 0833』通信教育教材（教材コード000432）1,950円（送料込）

丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,205円（税込）（送料340円）
その他、授業時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テスト、レポート、最終試験等により総合的に評価します。

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 火曜日	時間 18:30 ~ 21:25									
		授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
			10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意					
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件			
火	B1	英語 H	角田 裕子	0041	英語 I	1年			· I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				0042	英語 II							
				0043	英語 III	2年						
				0044	英語 IV							
火	B2	行政法 II	和知 賢太郎	0123	行政法 II	2年						
火	B3	国文学史 II	高橋 啓之	0312	国文学史 II	2年						
火	B4	英作文 II	ダレル ハーディ	0448	英作文 II	※	2年		· スクーリング1回の合格で単位完成する科目です			
火	B5	哲学演習 B	本間 司	0581	哲学演習 I	※	3年		· 哲学専攻のみ申込可 · I・II のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				0582	哲学演習 II							
火	B6	社会科・公民科教育法 II	壽福 隆人	0960	社会科・公民科教育法 II	※	2年		· 法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可 · スクーリング1回の合格で単位完成する科目です			
火	B7	経済学概論	大塚 友美	0986	経済学概論		条件参照		· 経済学部のみ1学年以上申込可 · その他は2学年以上申込可			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆英国ヴィクトリア朝を知る

[英語 H]

開講単位：1単位 担当者：角田 裕子

◆学習目標 本講座は、英國ヴィクトリア朝を英語で知ることを目標とします。今から約200年前の英國ヴィクトリア朝は、現代の日本で生活する私達とは何の関係も無いように思われますが、その時代の文化・風習は意外にも私達と密接な繋がりがあります。本講座では、以下の教科書を読み込むことで英國ヴィクトリア朝について知り、同時に英語力を養成します。

◆授業方法 授業計画に従って授業を進めます。毎回、受講者には一人ずつ音読と和訳を必ず発表してもらいます。その後、教員が必要に応じて文法と内容の解説をします。

◆準備学習 毎回、受講者には一人ずつ音読と和訳を必ず発表してもらうので、予習は不可欠です。分からぬ單語の意味を辞書で調べるだけでなく、本文の内容に関しての疑問点を明確にして授業に出席して下さい。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	ガイダンス & Chapter 1 Queen Victoria's Reign Chapter 2 First Industrial Nation
2回目	Chapter 3 Coming of the Railways Chapter 4 The Great Exhibition
3回目	Chapter 5 Working Lives Chapter 6 Victorian Cities
4回目	Chapter 7 Angel in the Home Chapter 8 Life below Stairs
5回目	Chapter 9 Victorian Schooling Chapter 10 Art and Architecture
6回目	Chapter 11 A New Reading Public Chapter 12 Social Reform
7回目	Chapter 13 Highdays and Holidays Chapter 14 Empire-builders
8回目	復習 試験

◆教科書 丸沼『Victorians—総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りものー』杉村醇子ほか編著 英宝社 1,995円（税込）（送料340円）

◆参考書 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参して下さい。

※携帯電話などを辞書代わりに使用することは固く禁止します。

◆成績評価基準 授業への取り組み（発表・授業態度など）：50%，試験：50%

※授業に毎回出席することを前提に評価します。

◆E-Mail :

◆行政運営の公正と透明性・行政救済

[行政法II]

開講単位：2単位 担当者：和知 賢太郎

◆学習目標 本講義の目標は行政法体系の概略を把握することです。行政法IIでは、主として、行政手続、情報公開制度、国家補償、行政救済を中心とした行政法理論についてできるだけ平易に説明して、行政と行政法への関心を深め、行政法を支える理論の概要を把握してもらいたいと思います。

◆授業方法 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義ノート中心として、必要な資料（プリント）を配布します。講義内容はあらかじめパワーポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆準備学習 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時に講義ノートプリントに各自が補った内容を確認しながら、次回の講義の準備としてテキストや講義で紹介する参考書などを読む、というサイクルを繰り返して下さい。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	①ガイダンス ②行政活動の実効性の確保（行政上の強制執行、行政罰、行政上の即時強制）
2回目	①適正手続と行政手続の法理（慈善手続、告知と聴聞、理由付記等） ②行政手続法（申請に対する処分、不利益処分、届出等）
3回目	①情報公開制度（制定の経緯、行政機関情報公開法の概要） ②個人情報保護制度
4回目	①国家賠償（公権力の行使と国家賠償責任） ②营造物の設置・管理と国家賠償責任
5回目	①損失補償と結果責任の制度 ②行政救済のための手段（苦情処理制度、Ombudsman）
6回目	①行政不服審査制度（不服申立て）
7回目	①行政事件訴訟(1) 取消訴訟
8回目	①行政事件訴訟(2) その他の行政訴訟 ②試験の実施

◆教科書 通材『行政法I 0122』通信教育教材（教材コード000051）2,600円（送料込）

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、講義ごと実施する小テスト（40%）、試験（60%）で総合的に判断します

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆国文学とその周辺—絵画と文学—

〔国文学史Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：高橋 啓之

◆**学習目標** 本講義では、国文学史を概観しつつ、その近接ジャンルである「絵画」との関わりを中心に講義する。単に文学研究するだけではなく、周辺にも目を向け、総合的（複合的視野）を養うことを目的とする。

◆**授業方法** 講義を中心に行うが、適宜、映像資料などを用い、わかりやすく解説する。

◆**準備学習** 中世から近世までの国文学史を一通り概観しておくこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス 中世以前の絵画と文学
2回目	百鬼夜行絵巻と奈良絵本
3回目	近世文学の背景・浮世草子と挿絵
4回目	俳諧と絵画
5回目	見立絵本と文運東漸
6回目	草双紙の流れと特質
7回目	黄表紙を読む(1)
8回目	黄表紙を読む(2)・テスト

◆**教科書** 当日資料配付 プリント配布

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 定期試験と平常点にて総合評価する。
2日以上の欠席は、原則として単位を認定しない。

◆ E-Mail :

◆ English Composition 2

〔英作文Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：ダレル ハーディー

◆**学習目標** This course will focus on the form, organization, and composition of a standard five paragraph essay in English. We will review paragraph and essay structure and look at the important points of an effective essay. We will follow the writing process method of composition, especially with respect to generating and organizing ideas prior to writing.

◆**授業方法** We will work on developing writing fluency through free-writing activities, ways of generating and organizing ideas by group activities, and work on group and individual essays in a workshop like environment.

◆**準備学習** No preparation or prerequisites are required. Students should have a good understanding of basic sentence composition and be willing to work in groups.

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Orientation, introduction to free-writing, and overview of paragraph and essay structure. Group brain-storm activity to generating ideas for essay one.
2回目	Free-writing activity and brain storming continued. Focus on paragraph structure; topic sentences and supporting sentences. Begin drafting a paragraph.
3回目	Peer editing and revision of paragraph. Review of general essay structure. Work on first draft of essay one.
4回目	Essay analysis and critique. Check and revision of essay one and complete first draft of essay one. Decide on a general topic for essay two and create a bubble chart.
5回目	Complete and hand in the final draft of essay one. Create an outline for essay two. Work on the first draft of paragraph one, the introduction.
6回目	Free-writing activity. Work on the body and conclusion of essay two.
7回目	Complete the first draft of essay one. Peer editing of essay two and revision.
8回目	Complete and submit the final draft of essay two.

◆**教科書** No text is required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.

◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays: one group essay and one individual essay. Class participation will also be considered part of the grade.

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆自由について**[哲学演習 B]**

開講単位：1単位 担当者：本間 司

◆学習目標 東洋と西洋の自由の概念を比較する。**◆授業方法** 対話方式で進める。**◆準備学習** 特に必要としない。**◆授業計画 [各 170 分]**

1回目	『実践理性批判』における自由(1)	
2回目	//	(2)
3回目	//	(3)
4回目	鈴木正三における自由	(1)
5回目	//	(2)
6回目	//	(3)
7回目	自由の比較	(1)
8回目	自由の比較	(2)

◆教科書 丸沼『実践理性批判』 岩波文庫 945円（税込）（送料 260円）
【当日資料配付】その他コピー配布**◆参考書** 特になし**◆成績評価基準** 平常点（50%），発表（50%）**◆E-Mail：****◆生き生きとした社会科の授業をつくる****[社会科・公民科教育法Ⅱ]**

開講単位：2単位 担当者：壽福 隆人

◆学習目標 「暗記」ばかりの社会科、公民科でいいのだろうか。本来、社会科がめざしたものとは何だったのだろうか。暗記にならない社会科、生徒が自ら考え、学べる社会科・公民科をめざした授業を実際に作っていきたい。**◆授業方法** 実際にテーマを設定して、授業案を作成し、模擬授業を行い、みんなで評価・批評会を行っていく。**◆準備学習** 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領に目を通し、社会科・公民科の目標など、基本的なことを事前に学習しておくことが望ましい。**◆授業計画 [各 170 分]**

1回目	中学校社会科公民的分野の目標を理解し、学習課題の中から、自ら授業案作りをおこなっていくテーマを設定する。
2回目	中学校社会科公民的分野の学習指導案（時案）を実際に作成してみる。
3回目	前回に作成した学習指導案をもとに実際に模擬授業をおこなってみる。
4回目	高等学校公民科現代社会の学習指導案を作成してみる。
5回目	高等学校公民科倫理の学習指導案を作成してみる。
6回目	高等学校公民科政治経済の学習指導案を作成してみる。
7回目	教材研究の重要性について考える。
8回目	教材研究の具体的方法について実践的におこなってみる。

◆教科書 丸沼『歴史教育の課題と教育の方法・技術』壽福隆人著 DTP出版 2005年 2,520円（税込）（送料340円）**◆参考書** 講義の中で適宜紹介する。**◆成績評価基準** 試験 70%，平常点 30%**◆E-Mail：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆経済学の基本的潮流を理解する

[経済学概論]

開講単位：2単位 担当者：大塚 友美

◆**学習目標** 本講義の目的は、ミクロ経済学・マクロ経済学の基本理論に関する講義を通して、①人間の経済活動に関するイメージを形成すること、②経済学の発展に関する基本的潮流を理解すること、③現実の経済問題を自ら考える力を養成すること、の3点にある。

◆**授業方法** 授業は原則として講義形式を中心に行うが、必要に応じて、①現実の経済問題に関する事例研究、②模擬実験（シミュレーション）などを行うことにより、経済活動への理解を深めることを目指す。

◆**準備学習** 教科書をよく読み、ノートを作成する等の予習をしておくこと。また、授業終了後の復習において、講義の内容をチェックすること。なお、講義内容のうち教科書に記載されていない事項に関しては、資料のプリントなどを配布する。

◆授業計画 [各 170 分]

1回目	市場の仕組・機能と市場経済。市場経済の心臓部あるいは中核ともいべき市場の仕組と機能を概観した上で、市場経済の特徴や問題点などを論ずる。
2回目	家計の行動を、財を消費して効用を最大化する消費面と、生産要素である労働力を企業等に提供する供給面の2つの側面から考察する。
3回目	企業の行動。完全競争市場下における企業の行動と、独占企業の行動を理論的観点から概観した上で、それらの特徴と問題点を考察する。
4回目	有効需要の原理1。ケインズが唱えた「有効需要の原理」の基本を概観した上で、その特徴と問題点等について論ずる。
5回目	有効需要の原理2。近年において、「有効需要の原理」に基づく政策の効果が弱まってきた理由などを、理論と現実の側面から考える。
6回目	景気変動。景気変動の意味と種類、これを引き起こす要因などを理論的側面から解説した後に、「加速度原理」を用いて景気変動が起こる過程を確認する。
7回目	経済の成長と発展。経済が成長し発展する過程を、ハロッド＝ドーマー・モデルを用いて概観した上で、その妥当性を模擬実験によって確認する。
8回目	経済変動と人口変動。経済学の教科書では触れられることは少ない経済変動と人口変動との相互作用について、理論と実証の側面から概説する。

◆**教科書** 通材『経済学概論 0986』 通信教育教材（教材コード 000244）1,850円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『実験で学ぶ経済学』 大塚友美 創成社 2,730円（税込）（送料 340円）

◆**成績評価基準** 最終（期末）試験により評価する。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 水曜日

授業日	時間	18:30~21:25							
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
水	C1	歴史学	鍋本由徳	0015	歴史学		1年		
水	C2	英語V	小田井勝彦	0045	英語V		2年		・英文学専攻のみ申込可
水	C3	英語基礎	中村則子	0046	英語基礎		1年	D	・英文学専攻は申込不可
水	C4	英米文学演習F	石川勝	0486	英米文学演習I	※	3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I~IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				0487	英米文学演習II				
				0488	英米文学演習III				
水	C5	考古学演習	小泉龍人	0698	考古学演習I	※	3年		・史学専攻のみ申込可 ・I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				0699	考古学演習II				
水	C6	貨幣経済論	続橋孝行	0747	貨幣経済論		2年		
水	C7	生徒指導・進路指導論	野々村新	0944	生徒指導・進路指導論	※	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆歴史はどのように語られてきたか

〔歴史学〕

開講単位：2単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学習目標** 人々が残した活動痕跡から数多くの「過去」が「歴史」として語られた。そして、これまで人々はどのようにして過去を「歴史」として語ってきたのでしょうか。現在の私たちとは異なる感性を知り、「歴史」の歴史を通じて過去を考える力を身につけたい。日本・東洋・西洋の区分にこだわらず、「歴史」を考えていきます。

◆**授業方法** 下記の授業計画をもとに講義します（およそ10～12テーマ）。参考プリントを参照しながら、スクリーンに書き出す板書、投影する図版を示して講義します。なお、単元終了後、簡単な客観式小テスト（正誤判定）を実施します。

◆**準備学習** 本講義は「歴史学」であるので、歴史小説の類や、評論の部類は参考にならないので注意してください。また、高校教科書（「日本史」「世界史」）の内容とも大きく異なりますから、下記にかけた参考文献や講義で紹介する書籍を事前に読んでおくと理解しやすいと思います。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	講義「歴史学」の概要／「歴史」と「歴史学」に違いがあるのか ここでは、「歴史学」の基本事項について講義します。
2回目	西洋・中東の文字と歴史／古代ギリシア・古代ローマの歴史の見方 歴史は繰り返すのか、繰り返さないのか、古代人の「歴史」の見方や考え方について講義します。
3回目	大航海時代にみるヨーロッパの驚愕／科学革命が引き起こした歴史の大転換 出たことのない大海原への航海で初めて知った驚愕の事実は何だったのかを講義します
4回目	近代歴史学の誕生／アジアにおける歴史の考え方 私たちが学んでいる「歴史学」の誕生と、アジアにおける歴史の考え方について講義します。
5回目	時代区分の考え方(1)／時代区分の考え方(2) 人々は「時間」をどのように区切って考えようとしていたのかを講義します
6回目	時代区分の考え方(3)／文字に表れる「事実」は正しいか？ 現在、「時代」はどう把握されているか、そして「文字」そのものの問題について講義します。
7回目	日本における「歴史」叙述／戦中・戦後の「日本の歴史」 日本では「歴史」をどのように理解し叙述してきたのかを古代～現代にかけて講義します。
8回目	「歴史学」の実践／総括 日本近世史を例にして、実際に「事実」から何を読み取るのかを考えていきます。

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『歴史学ってなんだ?』小田中直樹 PHP新書 714円(税込)(送料260円)

◆**成績評価基準** 試験(70%)、平常点(授業内豆テスト30%)をベースにした総合評価にて決定します(全回出席を前提とします)。よって、欠席数に応じて総合成績が遅減します。

◆ E-Mail :

◆英語でアメリカの短編小説に挑戦

〔英語V〕

開講単位：1単位 担当者：小田井 勝彦

◆**学習目標** 「英語V」は、文学専攻（英文学）の学生を対象にし、今後の学科での学習に必要な英語力養成を完成させる授業です。この授業では、まずは文章を正確に読むことを主眼に置きつつ、アメリカの短編小説を3作品鑑賞し、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」段階への橋渡しを目指していきます。

◆**授業方法** 受講者に1段落ずつ英文を日本語に訳してもらったのち、文構造の解説、内容の解説を教員が行なっていきます。英語をしっかり読んで考えていただくため、作品名は最終日まで伏せますが、最終日に作家と作品の解説をいたします。

◆**準備学習** 物語の文脈をよく考えながら、辞書をよく引き、プリントの英文を日本語に訳してきて下さい。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価についてなど） 1作品目の読解と鑑賞（作品の前半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
2回目	1作品目の読解と鑑賞（作品の中盤3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
3回目	1作品目の読解と鑑賞（作品の後半3分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
4回目	2作品目の読解と鑑賞（作品の前半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
5回目	2作品目の読解と鑑賞（作品の後半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
6回目	3作品目の読解と鑑賞（作品の前半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
7回目	3作品目の読解と鑑賞（作品の後半2分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になります）
8回目	取り上げた作家と作品についての解説 テスト

◆**教科書** [事前資料送付] プリント使用

◆**参考書** 各自、学習用英和辞典（電子辞書可）を用意して下さい。

◆**成績評価基準** テスト 60% 平常点 40% (授業内の発表、授業態度など)
※毎回出席することを前提としています。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆英語を初步から学び直す

〔英語基礎〕

開講単位：1単位 担当者：中村 則子

◆**学習目標** 英語の文法を基礎から学び直すことで、無理なく英語の4技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）を習得することを目標とする。

◆**授業方法** 使用するテキストは基礎英語の文法テキストの中でも、かなりやさしいものなので、受講者は自分の英語力と合うかどうか判断してから、受講すること。テキストに従い、英語の基礎的な文法事項を確認し、発音をCDで確認しながら、演習問題を行う。授業の進み具合により、シラバス通りにいかないこともありますを、おことわりしておく。また、今回は一部のユニットを省いてあるが、進み具合により、ほかのユニットも省略する可能性がある。

◆**準備学習** 初回から必ず、テキストを持参すること。毎回発表してもらうことになるので、判らない単語があれば辞書で調べておくこと。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンスの後、テキストに進む。 Unit 1 be動詞, Unit 2 一般動詞（現在）, Unit 3 一般動詞（過去）
2回目	Unit 4 進行形, Unit 5 未来形, Unit 6 助動詞
3回目	Unit 7 名詞, Unit 8 代名詞, Unit 9 前置詞
4回目	Unit 10 形容詞・副詞, Unit 11 比較, Unit 12 命令文・感嘆文
5回目	Unit 13 接続詞（I）, Unit 14 不定詞（I）・動名詞（I）, Unit 15 受動態
6回目	Unit 16 現在完了形, Unit 18 5つの基本文型, Unit 19 各種疑問文
7回目	Unit 21 itの特別用法, Unit 22 分詞・動名詞（II）, Unit 23 関係代名詞
8回目	復習、試験

◆**教科書** 丸沼『First Primer 基礎からの英語入門』佐藤哲三他著 南雲堂 1,995円（税込）（送料340円）

◆**参考書** ガイダンスにて指示。中型の辞書を必ず持参すること。

◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

◆小説の行間を読む

〔英米文学演習 F〕

開講単位：1単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** 英米の作家の短編小説を読み、作品の解釈の仕方を学ぶ。特に行間を読むことに重点を置く。

◆**授業方法** 授業中はアトランダムに指名して訳してもらうので、事前に指示された個所を全訳しておくこと。予習していない場合単位を認めない。

◆**準備学習** 1回目の授業の前に“Paper Pills”を訳しておくこと。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンス, “Paper Pills”をよむ。
2回目	続き
3回目	“A Clean Well-Lighted Place”を読む。
4回目	続き
5回目	“Eveline”を読む
6回目	続き
7回目	続き
8回目	作品の解釈、テスト

◆**教科書** 丸沼 英米ミニ短編集 成美堂 1,365円（税込）（送料230円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 皆出席と予習を前提とし、作品の解釈を書いてもらい評価を決める。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆オリエントの工芸技術

[考古学演習]

開講単位：1単位 担当者：小泉 龍人

◆**学習目標** 古くから世界をリードしてきたオリエント世界は現代文明の故郷とえいます。本授業では、古代オリエントの人々の暮らしに深く関わっていた工芸技術に注目して、いかに優れた技術が編み出されていたのかを考古学的な目線で捉えることを目標としています。具体的には、土器、金属器、ガラスなど、火を用いて製作された工芸品について議論を深めながら、製作技術や社会的背景の理解を目指します。

◆**授業方法** 初回に講師が古代オリエントにおける火を用いた工芸技術について概説します。2回目以降、毎回数名の発表・討論、最終回に総合討論を行ないます。毎回、考古学的に発見された工芸品について1人15~20分程度の発表後、技術そのものやその背景などについて30~40分程度の討論を全員で行ないます。対象地域は、メソポタミア（西アジア）、インダス（南アジア）、エジプト（北アフリカ）などを想定しています。

◆**準備学習** 各自分が発表するテーマ選択と発表日程について、初回授業までに相談して割り振る予定です。どのあたりの地域、いつごろの時代、どのような工芸技術（土器、金属器、ガラスなど）について発表してみたいのかを予め決めておいてください。まず、興味のある地域・時代・遺物（工芸品）を大まかに設定してから、関連する概説書や図録などを調べておくと良いでしょう。

◆授業計画【各170分】

1回目	ガイダンス	講師による概説（オリエントの工芸技術）
2回目	受講者による発表・討論	テーマ（メソポタミア1）
3回目	受講者による発表・討論	テーマ（メソポタミア2）
4回目	受講者による発表・討論	テーマ（インダス）
5回目	受講者による発表・討論	テーマ（エジプト）
6回目	受講者による発表・討論	テーマ（全般）
7回目	受講者による発表・討論	テーマ（全般）
8回目	総合討論	まとめ

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント配付。

◆**参考書** 授業にて適宜指示。

◆**成績評価基準** 発表内容(50%)、討論(30%)、授業態度(20%)。毎回、積極的な発言を期待しています。

◆**E-Mail:**

◆貨幣経済とアベノミクス

[貨幣経済論]

開講単位：2単位 担当者：続橋 孝行

◆**学習目標** 学習の目標は貨幣経済の下でバブルが発生すれば、必ず崩壊し、そして経済は長期の景気低迷に陥り、場合によっては国家が破綻するかもしれない、ということを理解することにあります。この課題を理解していくにはマクロ経済学の知識が必要です。しかし、これらを十分に理解している学生は少ないので、まずマクロ経済学を平易に解説しそれから課題に取り組んでいきます。

◆**授業方法** 板書を中心とした授業ですが、教員が一方的に説明することは避けたい。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問したりして、課題の理解を深めていきたいと思っております。

◆**準備学習** (1)新聞の経済・政治面を読んでおきましょう。(2)経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3)図やグラフに親しんでおきましょう。(4)現実の経済・政治と人間をイメージしておきましょう。

◆授業計画【各170分】

1回目	国内総生産（GDP）とは何か—キーワードは付加価値、三面等価の法則
2回目	国内総生産（GDP）の計算方法—キーワードは内閣府、商務省
3回目	国民所得決定モデル、すなわち $Y(GDP) = C(\text{消費}) + I(\text{投資}) + G(\text{政府支出}) + X(\text{輸出}) - M(\text{輸入})$ —キーワードは有効需要、不完全雇用均衡
4回目	デフレーションの原因—消費者物価の下落、財政赤字、貿易収支赤字
5回目	ISモデルの導出—キーワードは生産物市場、貯蓄・投資バランス、
6回目	LMモデルの導出—キーワードは貨幣市場、流動性選好
7回目	財政・金融政策の有効性とアベノミクス—キーワードは財政赤字、貿易収支赤字、国家破綻
8回目	バブルの発生・崩壊・授業全体のまとめ

◆**教科書** 通材『貨幣経済論 0747』通信教育教材（教材コード 000440）1,500円（送料込）

◆**参考書** 必要に応じて資料を配布します。

◆**成績評価基準** 筆記試験、授業への取り組みなどで評価します。

◆**E-Mail:**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間	時 間	18:30 ~ 21:25								
		授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
			10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方式	制 限・注 意		
				科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
木	D1	経 済 学	田村 和彦	0024	経 済 学		1年		
木	D2	英 語 J	八木 茂那子	0041	英 語 I	1年			・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III	2年			
				0044	英 語 IV				
木	D3	日本政治史	瀧川 修吾	0213	日本政治史		2年		
木	D4	英語学特殊講義	田中 竹史	0430	英語学特殊講義	※	2年		
木	D5	スピーチコミュニケーションII	アレックス ブラウン	0454	スピーチコミュニケーションII		2年		・英文学専攻のみ申込可
木	D6	発達と学習	佐々木 心彩	0906	発達と学習	※	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆経済学 マクロ

〔経済学〕

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆**学習目標** 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。少子高齢化・格差問題・U.S.A. 発の経済危機が注目されている。これらの点は、各自の経済生活に脅威（特に景気・雇用問題）となっている。この点に言及してみたい。マスコミに多く出ている経済用語も解説する。

◆**授業方法** 講義方式。※この講座は田村和彦師「経済学 ミクロ」と積み重ね受講できます。過去に「経済学 マクロ」を受講した学生は、本スクーリングを受講できないため注意すること。

◆**準備学習** 学習目標に記載したとおり、経済をめぐる様々な問題に关心を持ってもらうことを望む。「失われた 20 年」、産業転換、ハイテク化、少子高齢化、グローバル化、これらの問題が同時に一挙に展開している。各自これらの諸問題についての問題意識を持ってこのスクーリングに臨むこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	経済学の本質、経済学研究の手続
2回目	消費者の経済行動：効用概念、資本主義経済の定義、現代資本主義
3回目	需要の価格弾力性、価格消費曲線・所得消費曲線
4回目	生産の定義、生産函数、等量曲線、収穫遞減の法則
5回目	限界生産力、生産費の理論、平均費用曲線・限界費用曲線
6回目	平均費用最低点と最適生産量、包括費用曲線
7回目	生産者余剰、生産要素の最適結合
8回目	最大利潤の追求と企業規模、供給曲線の導出試験

◆**教科書** 丸沼『経済学』瀬川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 2,940 円（税込）（送料 340 円）必ず購入し、予習しておくこと。

◆**参考書** 通材『経済学 0024』通信教育教材（教材コード 000450）1,900 円（税込）（送料込）所持している場合は、持参してください。ただし、改めて購入する必要はありません。

◆**成績評価基準** 試験：90%，平常点：10%

◆**E-Mail :**

◆楽しくためになるエッセイでリーディング力をアップさせましょう(2) 〔英語 J〕

開講単位：1単位 担当者：八木 茂那子

◆**学習目標** 平易な英文を使って書かれた読み物を後戻りせずに文脈に沿って読む習慣をつることにより、直読直解に近くよう、初中級レベルにある対象者の読解力向上を図る。

◆**授業方法** ユニットごとにやや易しめの英文を速読し、語彙チェックと内容理解を図ります。次に CD によるリスニングの演習、トピックセンテンスの把握、スキミングなどの練習を通じ英語の文章構造パターンを学習、理解を深めるタスクを行います。（クラスのレベルに応じ内容を変更する場合があります。）

◆**準備学習** 短期集中講座のため一回に進む進度が速いので各回の学習範囲の下調べをしっかりしてきてください。入念な単語の意味調べ、文法事項の確認を願います。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス Unit 1 Reading 2: The Power of Laughter (Flowchart, Topic Sentences and Main Ideas; Sense Group Reading and Shadowing) より適宜
2回目	Unit 2 Reading 2: Homo Floresiensis — Real Life Hobbits? (Skimming; Making a Summary; Using 5W Questions) より適宜
3回目	Unit 3 Reading 2: Hayabusa (Paragraph Development: Paragraphs of Classification) より適宜
4回目	Unit 4 Reading 2: Mythology (Paragraph Development: Paragraphs of Chronological Order and Paragraphs of Spatial Order) より適宜
5回目	Unit 5 Reading 2: Family Survey (Paragraph Development: Paragraphs of Definition and Paragraphs of Comparison and Contrast) より適宜
6回目	Unit 6 Reading 2: An Inspirational Story (Paragraphs of Cause and Effect) より適宜
7回目	Unit 7 Reading 2: New Media (Scanning) より適宜
8回目	Review Oral Test 試験

◆**教科書** 丸沼『Fresh Starts (Rapid Reading for Fluency and Fun)』八木茂那子・町田純子・Aaron Dodson 共著 南雲堂（CD付き）1,785 円（税込）（送料 260 円）

◆**参考書** 丸沼『Forest』石黒昭博監修 桐原書店 1,575 円（税込）（送料 390 円）中英和辞典（電子辞書可）

◆**成績評価基準** 筆記試験 50%+平常点（提出物、小テスト、発表、Oral Test 他）50%による総合評価（受講者のレベルにより調整を加えることがあります。）昨年度からの継続受講可

◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆明治維新と日本の近代化

〔日本政治史〕

開講単位：2単位 担当者：瀧川 修吾

◆**学習目標** 本講義では、幕末から明治の、いわゆるオーソドックスな政治史について学ぶ。奇跡的ともいわれる日本の近代化について理解を深めることで、皆さんの「過去から現在を見る目」が涵養され、「温故知新」の引き出しが増えれば幸甚である。

◆**授業方法** 基本的には、教科書に沿って講述するスタイルをとるが、極力、受講生との対話を重視し、「双方向性のある講義」にしたいと考えている。やる気のある学生に対しては、「任意」の課題等にもチャレンジしてもらう予定である。

◆**準備学習** 特別な予習等は不要だが、幕末から明治時代に関する予備知識が殆どないと自認せざるを得ない者は、高等学校で使用した教科書等を通読しておいて欲しい。また、すでに電子辞書を所持している者は、是非、持参して受講して頂きたい（新規購入の必要は無い）。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	ガイダンス、明治維新の始期と終期（近代化とは何か）
2回目	徳川幕藩体制下の社会と国際環境
3回目	開国一鎖国論争と不平等条約の締結
4回目	幕末維新の政治過程と王政復古
5回目	明治新政府の近代化・集権化政策
6回目	「征韓」論と明治六年の政変、土族反乱と自由民権運動の展開
7回目	立憲政治への胎動と明治十四年の政変
8回目	大日本帝国憲法の制定とその特質、総括、期末試験

◆**教科書** 丸沼『増訂新版 近代日本政治史 I 幕末・明治』 黒川貢三郎・瀧川修吾著 南窓社 3,675 円（税込）（送料 390 円）

◆**参考書** 講義の中で、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 試験結果と出席時の状況（小テスト及びクイズの得点、ノートの筆記具合等）を総合的に勘案して評価する。

◆ E-Mail :

◆文法について考える

〔英語学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：田中 竹史

◆**学習目標** ヒトの自然言語は音と意味の結び付きにより成り立っていますが、音と意味は直接的に結び付いているのではなく、それらの間には文を組み立てる仕組み・文の組立に関する法則（i.e., 狹い意味での文法）が介在しています。このような仕組みを持つのは多くの生物種の中でヒトだけであり、この特殊能力のため、ヒトはことばを使う事ができると考えられています。このような能力を持たないヒト以外の動物は、叫ぶ事はできてもことばを使う事はできません。たとえチンパンジーのように賢く、またある種の認知能力においてはヒトより優れた動物であっても、です。本講座では必要に応じて言語獲得・言語障害や日本語にも触れつつ、英語を中心として文法の仕組みについて考えます。

◆**授業方法** プリントを基に講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆**準備学習** 授業の中では中学校・高等学校以来馴染みのある言語現象ばかりでなく、余り馴染みのない現象も扱いますから、予習・復習など自発的な学習が必要です。

また、事前に参考書として挙げられている大津（2004, 2008）に目を通しておくと、講義内容のより良い理解につながります。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	初回ガイダンス、母語話者の言語知識
2回目	文の解析と知覚
3回目	無意識の知識と心的文法
4回目	ことばの決まりと文法の組立
5回目	文と句の内部構造
6回目	句構造規則
7回目	心的辞書と動詞の情報記述
8回目	まとめ

◆**教科書** [当日資料配付] プリント使用

◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄（2004）ひつじ書房 1,680 円（税込）（送料 340 円）

丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄（2008）ひつじ書房 1,680 円（税込）（送料 340 円）
通信教育部英語学概説教材『英語学入門』や『ファンダメンタル英語学』などの英語学の入門書

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、授業に対する取り組みとレポートなどの課題により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」と「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆ Speech Communication 2

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕

開講単位：1単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学習目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.

◆**授業方法** This course syllabus will be topic-based where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used in the various topics. Students will incorporate the language covered by performing group tasks and role plays. The course is open to all students, however the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate language abilities.

◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	Course Introduction, Ice-breakers. Topic 1: Obligations.
2回目	Topic 1 continued.
3回目	Topic 2: Suggestions
4回目	Topic 2 continued.
5回目	Topic 3: Conditionals
6回目	Topic 3 continued.
7回目	Topic 4: The Future. Preparation for Oral test and Exam.
8回目	Speaking test and Written Exam

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.
Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes.

◆参考書

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.

◆ E-Mail :

◆心身の発達と学習の心理的基礎を学ぶ

〔発達と学習〕

開講単位：2単位 担当者：佐々木 心彩

◆**学習目標** 「子どもは『小さな大人』ではない」ということばでたとえられますか、人間の発達は身長が伸びる、体重が増えるといった量的な変化のみではなく、もののとらえ方や考え方など様々な質的な変化を含んでいます。この授業では、人間の発達に伴う変化やその特徴について学ぶことで、教育現場における児童・生徒との関わりの基礎としてももらいたいと考えています。

◆**授業方法** 講義形式で行います。教育現場における様々な課題の解決への手がかりとなるような、人間の発達と学習の過程に関する心理学的基礎について学びます。講義では、各回のテーマに関連する基本的な重要事項を中心に解説していきます。また、理解度の確認として、適宜授業内で小レポートを課す予定です。

◆**準備学習** 人間の行動には必ず原因・理由があります。目の前にある問題に振り回されることなく、その原因・理由が何であるかということに対する疑問を持ち、解決に向けてアプローチできるような視点で、普段から人の行動に関心が持てるようにしてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	発達と学習の心理学を学ぶ意義、発達の原理 ※教育のために心理学を学ぶ意義、発達の定義、発達に影響する要因、発達の過程などについて学びます。
2回目	乳児期から青年期までの発達 ※乳児期、幼児期、児童期、青年期における身体・運動機能、認知機能、社会性などの発達の特徴について学びます。
3回目	代表的な発達理論、発達と教育 ※発達段階や発達課題に関する代表的な発達理論について、また教育が発達に及ぼす影響について学びます。
4回目	学習の理論 ※心理学における学習とはどのような概念かについて、また代表的な学習の理論や効果的な学習の方法について学びます。
5回目	記憶、動機付け ※記憶のはたらきについて、またやる気のメカニズムについて学びます。
6回目	知能、パーソナリティ ※知能のとらえ方や学力との関係について、またパーソナリティのとらえ方やパーソナリティ形式に影響する要因について学びます。
7回目	不適応行動の理解、発達障害の理解 ※欲求と欲求不満、不適応行動について、また発達障害（LD, ADHD, 広汎性発達障害など）の特徴について学びます。
8回目	教育評価について、試験 ※教育評価の種類や方法について学びます。

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業内で適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（70%）および平常点（30%）で評価します。

※試験同様、平常点も重視しますので、受講に際しては欠席しないように注意してください。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

MEMO

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜間 金曜日

時 間	18:30 ~ 21:25								
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13

※以下の金曜日開講の講座から1講座を選択してください。

曜日	講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
				科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
金	E1	英語 K	佐藤 恵一	0041	英語 I	1年			・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				0042	英語 II				
				0043	英語 III	2年			
				0044	英語 IV				
金	E2	刑事訴訟法	三明 翔	0163	刑事訴訟法		2年		
金	E3	国文学演習	大川 真智子	0386	国文学演習 I	※	3年		・国文学専攻のみ申込可 ・I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				0387	国文学演習 II				
				0388	国文学演習 III				
				0389	国文学演習 IV				
				0390	国文学演習 V				
				0391	国文学演習 VI				
金	E4	英語学演習 G	佐藤 健児	0481	英語学演習 I	※	3年		・英文学専攻のみ申込可 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				0482	英語学演習 II				
				0483	英語学演習 III				
金	E5	情報概論	一島 力男	0773	情報概論		2年		
金	E6	教育の歴史	金 泰勲	0905	教育の歴史	※	2年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

◆イギリスを知ろう

〔英語 K〕

開講単位：1単位 担当者：佐藤 恵一

◆学習目標 リスニングを中心に英語のコミュニケーションに繋げるためのインプットの部分を高めることを目標にします。また教材に関連し、その背景となるイギリスの歴史や題材に関わる基礎的事項も学習することを目標にします。

◆授業方法 イギリスの国とそれぞれの地域に関し、DVD 映像とリスニング中心に確認していきます。更に、歴史・文化・民俗等について時間をかけて詳細に学習します。また DVD を使いリスニング能力を高めることに時間をかけます。

◆準備学習 イギリス全般的な背景を知ることは、授業内容を理解するのに大いに役立ちます。関連する文献や参考書・インターネット等から確認しておいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	UNIT I INTRODUCTION オリエンテーション A) History : early people B) History : the Romans
2回目	LONDON I A) Getting around B) Trafalgar Square C) Hyde park
3回目	UNIT II WALES A) Welcome to Wales B) Cardiff Castle C) Cardiff Market
4回目	UNIT III ENGLAND ANCIENT STONES A) History of the stones B) Avebury C) Stonehenge
5回目	STILL MORE TO SEE A) Roman Baths B) Wells Cathedral C) Pubs
6回目	UNIT IV SCOTLAND A) Introduction to Scotland B) Edinburgh City C) Sheep
7回目	UNIT V IRELAND NORTHERN IRELAND A) Dunluce Castle B) Giant's Causeway
8回目	まとめ・テスト まとめのためのポイントチェック・試験

◆教科書 丸沼『Discover Great Britain and Ireland』 KINSEIDO 2,310円（税込）（送料 260円）

◆参考書 特に指定しない。

◆成績評価基準 授業参加（学習意欲・発表・グループ討議・小テスト等）と試験で総合的に評価

◆E-Mail :

◆基本原理から学ぶ刑事訴訟法

〔刑事訴訟法〕

開講単位：2単位 担当者：三明 翔

◆学習目標 刑事訴訟法は手続法であり、細かい規定、論点を多く伴います。ですが、憲法の規定や刑事手続に求められる機能を分析すると、刑事手続の各局面を規律する基本原理というものがあらわれてきます。本講座では、「木を見て森を見ず」ということにならないよう、捜査、起訴、公判、上訴の各段階を規律する原理を常に意識しながら、刑事訴訟法と判例の解説を行います。基本原理に基づく刑事手続の理解が本講義の狙いです。

◆授業方法 講義公式で行います。本講座は短期集中型の講座なので、全ての論点を網羅的に解説することは時間的に難しいと考えます。むしろ本講座では、各自の発展的な学習が可能となるよう、刑事手続の各段階の基本的な考え方を理解できる解説に努めたいと思います。とくに捜査段階に重点を置きます。補助的にレジュメを作成し、配布します。

◆準備学習 受講にあたっては六法を持参してください。また受講前、教科書に一通り目を通しておいてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	①刑事手続の意義と概要、②我が国の刑事手続を特徴づける二つの基本原理
2回目	③捜査段階の基本原理、④強制処分と任意処分
3回目	⑤逮捕・勾留、⑥捜索・押収
4回目	⑦取調べ、⑧その他の捜査手法
5回目	⑨起訴段階の基本原理、⑩不合理な不起訴を規律する方策
6回目	⑪公判段階の基本原理、⑫証拠法
7回目	⑬上訴段階の基本原理、⑭裁判の種類と確定
8回目	⑮まとめ、⑯試験

◆教科書 丸沼『Next 教科書シリーズ 刑事訴訟法』関正晴編 弘文堂 2,520円（税込）（送料 340円）

◆参考書 丸沼『プライマリー刑事訴訟法（第4版）』椎橋隆幸編 不磨書房 3,045円（税込）（送料 390円）
丸沼『刑事訴訟法基本判例解説』渥美東洋・椎橋隆幸編 信山社 2,940円（税込）（送料 390円）

◆成績評価基準 試験、レポート、平常点により総合的に評価します。

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆「異性装」の文学

〔国文学演習〕

開講単位：1単位 担当者：大川 真智子

◆**学習目標** 古典文学や古典文学研究の基礎を身につけ、その楽しさを知る。古典文学が過去の堅苦しい遺物ではなく、現代にも通じる生々しい人間ドラマであることを味わって欲しい。また、参考文献の探し方や発表資料作成などの基礎はもちろん、受け身の「学習」ではなく、自分自身で問いを立て、その答えを見つけていく楽しさを体験して欲しい。これは、卒業論文へと繋がる過程である。

◆**授業方法** 「異性装」には男性が女性の装いをする「女装」と、女性が男性の装いをする「男装」がある。2013年のNHK 大河ドラマ『八重の桜』や漫画『ペルサイユのばら』、宝塚歌劇の男役など女性の「男装」が憧れの対象であるのに対し、「女装癖」という言葉が物語るように男性の「女装」には拭い去り難い負のイメージがある。なぜ「異性装」は行われるようになり、こうしたイメージの違いはどのようにして生まれたのだろうか？本講座では古典文学に限らず、近代の小説、漫画、映画などから幅広く異性装を取り上げ、その諸相を探りたい。こちらで用意する作品だけでなく、受講生にも各自用意してもらい、各作品の比較対照、そこから浮かび上がる問題点について資料を作成し、発表することを求める。なお、受講人数により、下記の授業計画は一部変更することがある。

◆**準備学習** 受講生が確定し次第、教材となる資料を郵送する。資料を読み、指示に従った学習をしたうえで授業に臨むこと。また、こちらで用意する資料以外にも、ジャンル、時代を問わず「異性装」の人物が登場する作品を各自で取り上げることを求める。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	ガイダンス 「研究」とは何か？
2回目	参考文献の集め方 伝えるための発表資料の作り方
3回目	「異性装」とは？
4回目	学生による発表と質疑① 日記・物語文学における異性装
5回目	学生による発表と質疑② 軍記物語における異性装 ～白拍子・巴～
6回目	学生による発表と質疑③ 古典芸能における異性装 ～能・歌舞伎～
7回目	学生による発表と質疑④ 宝塚歌劇・少女漫画における異性装
8回目	まとめ

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『「女装と男装」の文化史』 佐伯順子 2009年10月 講談社選書メチカル 講談社 1,785円（税込）（送料340円）

この他は事前配布資料、および授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 事前学習課題への取り組み、発表、質疑への参加、発表後に課すレポートにより、総合的に評価する。全授業に出席することを前提とするので、欠席する際には相談すること。

◆ E-Mail :

◆英語未来表現—その意味と形

〔英語学演習 G〕

開講単位：1単位 担当者：佐藤 健児

◆**学習目標** 「意味が違えば形が異なる。形が違えば意味が異なる」—ことばの世界の大原則です。では、英語に数多く存在する未来表現の意味はそれぞれどのように異なるのでしょうか。この授業では、G.N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語未来表現を学習します。専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し説明できるようになること、それを本演習の目標とします。

◆**授業方法** 輪読形式でテキストを読み進めます。指名された学生にはテキストの音読と和訳（説明）をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。必要に応じてほかの文献やプリントも参照します。

◆**準備学習** 第4章 *The Expression of Future Time* (p.55) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書（参考書）に挙げた文献等を参考しながらできるだけ丁寧に（文法や語彙の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、受講者の様子を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでも「参考」です。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	Time and Tense (時と時制) Will (§86, 87)
2回目	Will (§89) Be Going To (§92)
3回目	Be Going To (§93, 94)
4回目	現在進行形 (§98, 99, 100)
5回目	現在進行形 (§100, 101)
6回目	単純現在形 (§103, 104, 105)
7回目	単純現在形 (§105) 未来進行形 (§106, 107)
8回目	総まとめと試験

◆**教科書** 丸沼『*Meaning and the English Verb (Third Edition)*』 Geoffrey Leech著・澤田治美注釈 ひつじ書房 2,446円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1,785円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・発表等）・試験により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

◆知的活動のための情報リテラシー

[情報概論]

開講単位：2単位 担当者：一島 力男

◆**学習目標** まず、Windows の基本操作とネットワーク上のパソコン利用について学ぶ。その上で、WWWによる情報収集、情報セキュリティと情報倫理、ワードによる情報の編集、エクセルによる情報の分析について学ぶ。

◆**授業方法** 本講座では講義と演習の両方を行う。講義ではコンピュータネットワークの仕組と歴史、情報セキュリティと情報倫理などについて学ぶ。演習では、コンピュータを知的道具として利用できるようなることを目的として様々な課題に取り組む。

※授業は、Windows-Vista, Office2007 の環境で実施する。

◆**準備学習** 教科書の Appendix 3 に書かれている内容を予習しておくこと。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	ガイダンス	Windows の基本操作とネットワーク利用	コンピュータネットワークの仕組と歴史
2回目	情報の収集 (WWW とサーチエンジンの利用)	情報セキュリティと情報倫理	
3回目	ワードによる文書作成の基本 (書式設定、文字修飾、箇条書き、均等割り付け、ページ設定などの利用)		
4回目	ワードによる文書作成の応用 (ハイパーリンク、罫線、基本图形、ワードアート、クリップアートなどの利用)		
5回目	ワードによる長文作成 (脚注、文字カウント、文書校正機能、スタイル、目次などの利用) エクセルの基本操とデータ整理		
6回目	エクセルを利用した集計 (SUM 関数、AVERAGE 関数、COUNT 系関数、IF 関数、RANK 関数などの基本関数の利用)		
7回目	エクセルによるグラフ (棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど) の作成 データベース機能 (並べ替え、オートフィルタ、DCOUNT 関数などのデータベース関数の利用)		
8回目	エクセルによる統計処理 (MEAN 関数、FREQUENCY 関数、CORREL 関数などの統計関数の利用) 授業内テスト		

◆**教科書** 丸沼『これからの情報リテラシー』 小林貴之・谷口郁生・毒島雄二著 共立出版 2,520 円（税込）（送料 390 円） ISBN978-4-320-12227-7

※同じ出版社で他著者による同書名の本がありますので間違わないようにお願いします。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み (20%)、実習課題 (50%)、授業内テスト (30%) により総合評価する。

※授業に毎回出席することを前提に評価する。

◆ E-Mail :

◆教育の歴史に学び生き方を考えよう

[教育の歴史]

開講単位：2単位 担当者：金 泰勲

◆**学習目標** 教育学の各専門科目や教職課程の人は、心理学や哲学とともに、欠かせないものが歴史学である。歴史というのは、それだけ人間の生活の中で欠かせないものである。本講義では、その教育の歴史を、日本教育史を中心に、教育に関する歴史的考え方の基礎を身に付けることを学習目標とする。

◆**授業方法** 原則的に講義の形式で進めるが、毎週講義の終了間際に、その日取り上げた内容からテーマを選定し、小論文としてまとめていただく。翌週、その小論文の中からランダムに数名のものを選び、それに基づき、ディスカッションを行う。ディスカッションには受講者の積極的なご参加を願う。

◆**準備学習** 毎週必要に応じて、紹介する。教育史関係の文献や論文などを多く読んでいただきたい。

◆**授業計画** [各 170 分]

1回目	ガイダンス、明治5年「学制」公布から近代学校の設立過程について学ぶ
2回目	戦前の学校や教育制度について学ぶ
3回目	日本の植民地教育政策1（台湾）について学ぶ
4回目	日本の植民地教育政策2（朝鮮編）について学ぶ
5回目	「第1次アメリカ教育使節団報告書」（1946年3月30日）について学ぶ。連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）の要請によりアメリカ合衆国から派遣された教育使節団による報告書である。この報告書に基づき、日本の教育目的および内容、制度などが決まる。
6回目	「第2次教育使節団報告書」（1950年9月22日）について学ぶ。 1次報告書による提言がどこまで行われたのか？
7回目	臨時教育審議会、中央教育審議会、教育改革国民会議、教育済生会による教育改革を中心に改革について学ぶ。
8回目	総括及びテスト

◆**教科書** なし。[当日資料配付] 毎週、資料を提供する。

◆**参考書** 毎週、必要に応じて紹介する。

◆**成績評価基準** テスト及び平常点

◆ E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24131999 日大通子」

MEMO

V 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学習要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目の単位修得方式決定	・受講講座・科目的単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学習要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



スクーリング併用試験方式希望者のみ	履修登録	・未登録科目を登録する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録を行っていない科目は、表紙記載の締切日までに「履修届」又は「追加科目履修届」で登録する。 【「履修届」用紙の配布は前期生は『部報』3月号、後期生は『部報』9月号に同封（1枚）にて行います。「追加科目履修届」は『手引』各種用紙にとじこまれています。】
	リポート提出	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「在学生専用サポート（Web 報）」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	--



スクーリング受講許可通知書の確認	・会計課から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・「受講許可通知書」の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やホームページの新着情報で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「在学生専用サポート（Web 報）」で、受講した講座の成績を確認する。 ・発送日程は表紙記載。
------------	---

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート(Web報)」の両方で申し込みがあった場合は、「在学生専用サポート(Web報)」の内容を有効とします。

① 「在学生専用サポート(Web報)」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）	
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「在学生専用サポートページ(Web報)」にある「個人情報の設定」で登録してから手続きをしてください。	<p>● 個人情報の設定</p> <p>パスワードなどの登録内容の変更をしたい方はこちら。 ※ログインが必要です。</p>

〈メールアドレスについて〉

正科生は大学から配布しているメールアカウント(Gメール)で申込みできます。Gメールを利用するためには、承認が必要となりますので、「在学生専用サポート(Web報)」に掲載されている「NU-AppsG(在学生専用メール)」から手続きをしてください。

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ(URL : http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html)の「在学生専用サポート(Web報)」をクリックしてください。	
2	「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をし[申込]ボタンをクリックしてください。	

【各スクーリングのWeb報による申込期間】

スクーリング名	Web報による申込期間
東京(秋期)第1・2期	2013年8月16日(金)10:00～2013年9月4日(水)24:00
東京(秋期)第3期	2013年10月3日(木)10:00～2013年10月15日(火)24:00
地方(秋期)第1・2期	2013年8月16日(金)10:00～2013年9月4日(水)24:00
夜間(秋期)	2013年8月16日(金)10:00～2013年9月4日(水)24:00

3	申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の【次へすすむ】ボタンをクリックしてください。	【画面下】
---	--	-----------

<p>【ログインしていない場合】 ログインID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください（すでにログイン済みの場合は表示されません）。</p>	<p>こちらは、ログインが必要なページです。 ID、パスワードを入力してください。</p> <p>ログインID: <input type="text"/> ※学生証番号を半角数字で入力</p> <p>パスワード: <input type="password"/> ※初期パスワードに入力</p> <p><input type="button" value="ログイン >"/></p> <p>パスワードを忘れた場合はこちら</p>
--	--

4	申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、【申込】ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手続を完了してください。	<p>【受付中のスクーリング】</p> <p>希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>04</td> <td>夜間（秋期）スクーリング</td> <td>東京</td> <td><input checked="" type="button" value="申込"/></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="button" value="戻る"/></p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2013	04	夜間（秋期）スクーリング	東京	<input checked="" type="button" value="申込"/>
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作								
2013	04	夜間（秋期）スクーリング	東京	<input checked="" type="button" value="申込"/>								

●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されますので必ず確認してください。配信されない場合は、申込確認画面で申込受付が完了しているか確認してください。

●申込確認

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で確認することができます。

1	申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。	<p>【受付中のスクーリング】</p> <p>希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>62</td> <td>夜間（秋期）スクーリング</td> <td>東京</td> <td><input checked="" type="button" value="確認"/></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="button" value="戻る"/></p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2013	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	<input checked="" type="button" value="確認"/>
年度	コード		スクーリング種別	開催地	操作							
2013	62	夜間（秋期）スクーリング	東京	<input checked="" type="button" value="確認"/>								
2	申込みをしたスクーリングの【確認】ボタンをクリックして、内容を確認してください。											

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で申込講座の変更・取りやめをすることができます。

<p>申込内容を変更する場合には、いったん申込内容を削除する必要があります。</p> <p><input checked="" type="button" value="変更する"/> ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スクーリング名</th> <th>開催地</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013</td> <td>夜間（秋期）スクーリング</td> <td>東京</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>講座</th> <th>充当科目</th> <th>併用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*****</td> <td>*****</td> <td>**</td> </tr> </tbody> </table> <p>確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る <input type="button" value="確認終了"/></p> <p>申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る <input checked="" type="button" value="変更する"/></p>	年度	スクーリング名	開催地	コード	2013	夜間（秋期）スクーリング	東京	13	講座	充当科目	併用	*****	*****	**
年度	スクーリング名	開催地	コード												
2013	夜間（秋期）スクーリング	東京	13												
講座	充当科目	併用													
*****	*****	**													

注意) 申込期限の経過した場合、申込内容の変更・取りやめはできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

(ア) 開催地コード

開催地のコード番号です。

(イ) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(ウ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(エ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

(オ) 受講希望方式

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「併用」と記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入（空欄のまま）

(カ) 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コードの計6桁のコードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

<input type="checkbox"/> 内を必ず御記入ください	平成25年 月 日作成																													
平成25年度東京スクーリング(秋期)受講届(84) 第1・2期 東京用																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>開催地コード</th> <th>講 座 コード</th> <th>講 座 名</th> <th>充当科目コード</th> <th>受講希望方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ア)</td> <td>(イ)</td> <td>(ウ)</td> <td>(エ)</td> <td>(オ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期	開催地コード	講 座 コード	講 座 名	充当科目コード	受講希望方式	0	0					(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)		0	0										
期	開催地コード	講 座 コード	講 座 名	充当科目コード	受講希望方式																									
0	0																													
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)																										
0	0																													
<small>※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。 なお、希望しない場合は、空欄のままで提出してください。</small>																														
<small>上記のとおり相違ありません。</small>																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>学 生 番 号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フ リ ガ ナ</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="5">(カ)</td> </tr> <tr> <td>自 宅 電 話 番 号</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>緊 急 時 電 話 番 号</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table>	学 生 番 号						フ リ ガ ナ						氏 名	(カ)					自 宅 電 話 番 号						緊 急 時 電 話 番 号					
学 生 番 号																														
フ リ ガ ナ																														
氏 名	(カ)																													
自 宅 電 話 番 号																														
緊 急 時 電 話 番 号																														
<small>※提出締切日 平成25年9月4日(水)【締切日までの消印有効】 ※本票は東京スクーリング(秋期)第1・2期用の受講届です、それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合は、無効となります。 ※書き損じた場合は修正テープ修正液で訂正してください。 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。</small>																														

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
15	英 語 B	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
16	英 語 C	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
			(4)	(3)

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
 - (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「16」となる。
 - (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 - (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる。
 - (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペン消せるペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課カウンターに提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」に切手を貼付し、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講許可通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「受講希望方式」の併用申込有無を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

① 東京スクーリング（秋期）第1・2期の場合

平成〇年〇月〇日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成25年度東京スクーリング（秋期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（秋期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当時の受講講座）

開催地	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
1期 79	A1	美術史	0019	併用
2期 79	B2	英語 B	0041	-

（変更後の受講講座）

開催地	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
1期 79	A2	日本史入門	0095	併用
2期 79	B3	英語 C	0042	併用

上記のとおり相違ありません。

文理学部史学専攻 学生番号：24123999
氏 名：日大 太郎

② 夜間スクーリング（秋期）の場合

平成〇年〇月〇日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成25年度夜間スクーリング（秋期）受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（秋期）受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いいたします。

記

（当時の受講講座）

曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
水	C1	歴史学	0015	併用
金	E1	英語 K	0041	-

（変更後の受講講座）

曜日	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
コード	コード		コード	
水	C3	英語基礎	0045	併用
木	D1	経済学	0024	併用

上記のとおり相違ありません。

法学部法律学科 学生番号：11123999
氏 名：日大 太郎

VI 申込講座の許可と不許可

1 受講許可通知書を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により通知します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送日は、下記日程を予定しています（発送完了をもって「在学生専用サポート（Web 報）」にも掲載します）。発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

〈受講許可通知書発送予定日〉

スクーリング名		在学生	25年度後期新入生（10月生）
東京（秋期）	第1・2期	9月25日（水）	10月 2日（水）
	第3期	10月29日（火）	11月 6日（水）
地方（秋期） 第1・2期		10月 2日（水）	10月11日（金）
夜間（秋期）		10月 2日（水）	10月 9日（水）

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受領したら、以下の要領で許可内容を必ず確認してください。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目的名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備考
○	許可	
－	不許可	スクーリングの受講は可能です

※ 受講許可後にスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、「スクーリング受講許可通知書」を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

【すべての講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の(1)及び(2)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

【一部の講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の(1), (2)及び(3)を同封の上、教務課（試験係）まで提出してください。

この場合、受講希望の許可講座のみ記載された「スクーリング受講許可通知書」等を大学から再送付します。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 受講許可通知時送付書類（2連用紙、次の(A)及び(B)の書類）
 - (A) スクーリング受講許可通知書兼領収書
 - (B) スクーリング受講料等振込依頼書
- (3) 350円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東京（秋期）	第1・2期	10月 2日（水）
	第3期	11月 6日（水）
地方（秋期）	第1・2期	10月 11日（金） 《事務取扱時間内必着》
夜間（秋期）		10月 9日（水）

③ 提出先 教務課試験係

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

MEMO

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料

スクーリング名		受 講 料
東京（秋期）	第1・2期	1講座 10,000円×受講講座数
	第3期	
地方（秋期）	第1・2期	1講座 13,000円×受講講座数
夜間（秋期）		1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」のみ受講料の他にコンピュータ等実習料3,000円の納入が必要となります。（受講料と共に納入してください）。

2 納入期限

スクーリング名		納 入 期 限
東京（秋期）	第1・2期	10月 9日（水）
	第3期	11月 13日（水）
地方（秋期）	第1・2期	10月 21日（月） 銀行窓口 <u>※当日取扱時間まで</u>
夜間（秋期）		10月 16日（水）

3 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学定期券購入手続を行う際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注意事項

「指定配本」、「履修届」及び「追加科目履修届」による配本を受け、所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を購入してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、「スクーリング受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合は、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9:00～20:00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（141ページを参照）で購入のほか以下(1)～(3)の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料250円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記あてに郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。「在学生専用サポート（Web報）」の「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- (1) 「学生番号」「氏名」「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- (1) 学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅
JR東日本	水道橋駅
都営地下鉄	水道橋駅、神保町駅
東京メトロ	神保町駅、後楽園駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	③ 記名人以外が使用すること。
② 他人に譲渡・貸与すること。	④ その他、不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

4 学割証の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は、科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため、片道100kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ、運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し、学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は、80円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行条件（以下の全項目に該当すること）

- (1) 正科生であること。
 - (2) スクーリングに出席することが目的であること。
 - (3) JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
- JR以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道100km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引き対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間に限り選択できます。

⑤ 発行枚数

原則として1枚です。（1枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。

【往復乗車券有効期間】

片道の距離(km)	200 kmまで	400 kmまで	600 kmまで	800 kmまで	1000 kmまで
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

⑥ 発行所要期間

発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから2日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も350円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。

⑦ 発行開始日

スクーリング名		発行開始日
東京（秋期）	第1期	9月25日（水）
	第2期	10月3日（木）
	第3期	10月18日（金）
地方（秋期）	第1期	10月18日（金）
	第2期	10月18日（金）
夜間（秋期）		① 10月8日（火）※ ② 11月13日（水）※

※学割発行後の有効期間は1か月ですので、夜間スクーリングでの「学割証」発行開始日を、2回に分けています。夜間スクーリング全期間を通して毎週通学する必要があり、「学割証」の発行を希望する場合は、事前に学生課にご相談ください。

⑧ 購入方法

JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。

⑨ 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。

新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

⑩ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること。	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。
② 記名人以外が使用すること。	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③ 有効期間外に使用すること。	⑥ その他、不正に使用すること。

⑪ よくある質問

Q1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

→A1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q2. スクーリングに毎日（10月12日～14日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

→A2. 乗車日欄に行 10月12日、帰 10月14日と記入し、必要枚数欄に3枚、理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全出席が前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。

なお、スクーリング試験を受験できなかつたり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
 - 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
 - 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
 - 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
 - 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
 - 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
 - 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
 - 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
 - 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
 - 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。
- ※ 試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、平成25年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に教務課から郵送で通知します。また、「在学生専用サポート（Web報）」でもお知らせします。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

スクーリング名	結果発送時期	
東京（秋期）	第1・2期	12月上旬
	第3期	12月下旬
地方（秋期）	第1・2期	12月上旬
夜間（秋期）		1月下旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたリポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が記載されます。

X 受講期間中の学生生活

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要となります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落し物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出してください。届けられた物品は学生課で保管します。

⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本誌「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」を記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受け付けしません。
- ※ 通学定期券購入手続の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 水道橋駅及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指針について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きた不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などから、あわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて避難してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けのこと。—

(3) 避難場所

- ア 避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。
- イ 避難場所は安全な場所を前提に「通信1号館学生ホール」や「西神田公園」とし、必要に応じて千代田区指定の避難所へ移動する。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信1号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

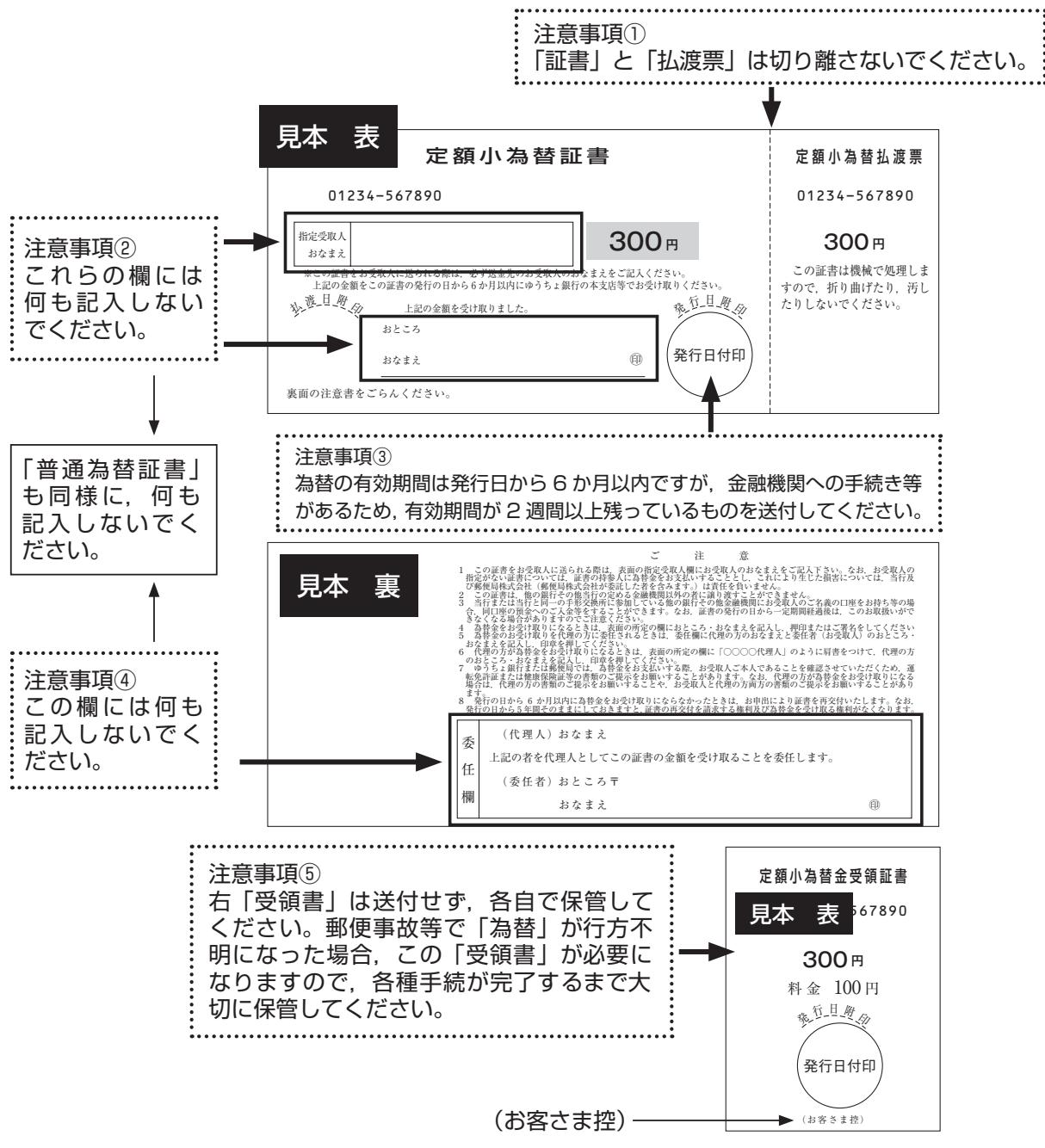
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・追加科目履修届
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勧奨状）申込書
- ・<受講申込辞退願>

- ・東京スクーリング（秋期） 第1・2期
- ・東京スクーリング（秋期） 第3期
- ・地方スクーリング（秋期） 第1・2期
- ・夜間スクーリング（秋期）

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「追加科目履修届」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



丸沼

教材購入用紙(丸沼書店用)

市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成25年度 秋期スクーリング				
申込日	平成25年 月 日			
科目名	書名	教材費(税込)	送料	
小計		円	円	
合計		円		
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換	②定額小為替・郵便為替	③現金書留	

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の定額小為替 又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記 へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費） + 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書 店 名) (株) 丸沼書店
(所 在 地) 〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
(電 話) 03-3261-4540
(F A X) 03-3261-0118
(営 業 時 間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別
			講 座 名
1 0 0 0			
2 0 0 0			
3 0 0 0			
4 0 0 0			
5 0 0 0			
6 0 0 0			
合計科目数		合計金額	
		_____	円

(太線枠内にボールペンで記入してください)

*ボールペンで記入してください。

会計課領収印

*「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』
で確認し、必ず記入してください。

「教材コード(6桁)」と「科目コード(4桁)」は異なりますので、
注意してください。

*「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授
業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してく
ださい。

*『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄
で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 0023』通信
教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入
する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講
科目ではなく**指定された教材の科目名を記入**)。

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用して下さい。

為替には何も記入せず送付してください。

2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で『通信教育教材』を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

3 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ③ 「教材購入願」で入手した教材でリポート提出はできません。リポート+科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先:会計課)

追加科目履修届

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

(平成 年度)

*「裏面」の注意事項を熟読の上、記入してください。

科目コード	科 目 名	単位	合計科目 _____科目
1			
2			
3			
4			
5			
_____ 単位 × 1,500 円			合計単位数 _____ 単位
_____ 合計金額 _____ 円			

*科目コードは『教材要綱』で確認し、必ず記入してください。

*「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。

上級学年の科目を履修する場合は注意してください。

【裏面〈注意〉④※印 参照】

*新入生の登録は前期生は4月1日から、後期生は10月1日からになります。

会計課領収印

「追加科目履修届」提出上の注意

「1学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

1 追加履修費

1単位につき1,500円（例：4単位科目は4単位×1,500円=6,000円）。

2 手続方法

手続は隨時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。

① 窓口による手続（直接持参による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口に提出し、手続を行ってください。

② 郵送による手続（為替による納入）

郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替証書」又は「普通為替証書」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。

③ 郵送による手続（現金書留による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。

※教材の受け渡しは郵送に限ります。窓口での受け渡しは一切行いません。

なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、約1週間を要します。

3 注意事項

① 対象者・科目

- ・「1学年指定配本」以外の科目
- ・「履修届」による配本以外の科目
- ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
- ・Dカリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
- ・正科生のみ（科目履修生は使用できません）。

② 履修登録の有効期間

履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。

③ 当該科目の所定単位で登録

4単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で2単位修得している場合でも4単位として登録してください（所定単位4単位の科目を、2単位のみ登録することはできません）。

④ その他

「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。

- ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
- ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
- ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。

※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は4月1日、後期生は10月1日）から登録が可能となります。

また、新入生の場合も同様で、前期新入生は4月1日から、後期新入生は10月1日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号		
大 学 院					
フリガナ				性 別	年 齢
氏 名				男・女	才
現 住 所					
電 話	()				
通学区間	駅～ 駅 経由				
	駅～ 駅 経由				

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 水道橋 駅 秋葉原 駅 経由
誤った記入	新橋 駅～ 水道橋 駅 総武線 駅 経由

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請	
学部	学科（専攻）	学生番号		
氏名			年齢 歳	
現住所	〒 -			
TEL ()				
申請事由（該当箇所に○を記入してください）				
東京・地方スクーリング（春期） （　　）	開講地	卒業論文面接指導（月日）		
夏期スクーリング（第期）		総合面接試問		
東京・地方スクーリング（秋期） （　　）	開講地	科目修得試験（第回）		
昼間・夜間スクーリング （曜日 時限）		その他（　　）		
乗車区間	自	線 駅	至	線 駅
乗車日	行	年 月 日	帰	年 月 日
必要枚数	_____枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること） ※理由			
利用交通機関	鉄道・バス・その他（　　）		受取方法	窓口・郵送

【注意事項】

- ① 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- ② 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、80円切手貼付）を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。

滞在先届 平成 25 年度 東京スクーリング（秋期）

学 部	専攻部門	学 生 番 号							氏 名		
スクーリング期間中滞在先住所（宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。）											
〒 -											
方											
電 話 ()											
最 寄 駅 [駅]											
受講期間 第1期 · 第2期 · 第3期 (○で囲む)											
現 住 所										学生課受付印	
〒 -											
TEL ()											

* 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

----- キ リ ト リ -----

注意事項

※記入後にコピーしたものを添えて（計2部必要）受講初日までに学生課窓口に提出してください。
※郵送では受け付けません。

日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため休暇依頼状の発行をお願いします。

平成 年 月 日 申請

申込者	氏 名										
	学 部		学科（専攻）								
	学 年		学生番号								
	勤 務 先										
	所 属 部 署										
スクーリング	種 別		開 催 地								
	受 講 期 間										
提出先	勤 務 先 名										
	役 職 名										
	役職者氏名										

<注意事項>

- * スクーリングの受講許可後発行します。
- * スクーリング開講期間のみの証明になります。
- * 送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を必ず同封してください。
- * 勤務先名は正式名称を記入してください。
- * 複数のスクーリングで発行を希望する場合は、この用紙をコピーしてください。

併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号、350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成25年度東京スクーリング(秋期)第1・2期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 - - -

4 辞退内容 全講座辞退(許可通知書記載講座すべてを辞退)
(□にチェック) 一部講座辞退(許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入)

期	講座コード	辞退講座名
1期		
2期		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限【教務課必着】10/2(水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度東京スクーリング(秋期)第1・2期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

平成 25 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 25 年度東京スクーリング(秋期)第 3 期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名 (フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____ - _____

4 辞 退 内 容

期	講座コード	辞 退 講 座 名
3 期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】11／6 (水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成 25 年度東京スクーリング(秋期)第 3 期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 各スクーリングの辞退手続きは 1 回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号、350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成25年度地方スクーリング（秋期）第1・2期受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名（フリガナ）_____

3 連絡先電話番号 - - -

4 辞退内容 全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）
（□にチェック） 一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入）

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞退講座名
札幌 大阪	1期		
仙台 大垣 福岡	2期		

5 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】10／11（金）

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度地方スクーリング（秋期）第1・2期」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと。

※ 各スクーリングの辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒（長形3号、350円切手貼付）

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成25年度夜間スクーリング(秋期)受講申込辞退願

1 学生番号 _____

2 氏名(フリガナ) _____

3 連絡先電話番号 - -

4 辞退内容 全講座辞退(許可通知書記載講座すべてを辞退)
(□にチェック) 一部講座辞退(許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入)

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由(詳述)

※ 提出期限【教務課必着】10/9(水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この「辞退願」は「平成25年度夜間スクーリング(秋期)」専用です。

他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと。

教務課受付印	会計課受付印

付 錄

1 東京スクーリング（秋期）宿泊施設の利用案内

東京スクーリングを受講する際に、宿泊施設の確保あるいは滞在にかかる経費は大切な問題です。大学では、皆さんが大学近隣の施設にできる限り低料金で宿泊できるよう、下記のとおり宿泊施設を紹介します。

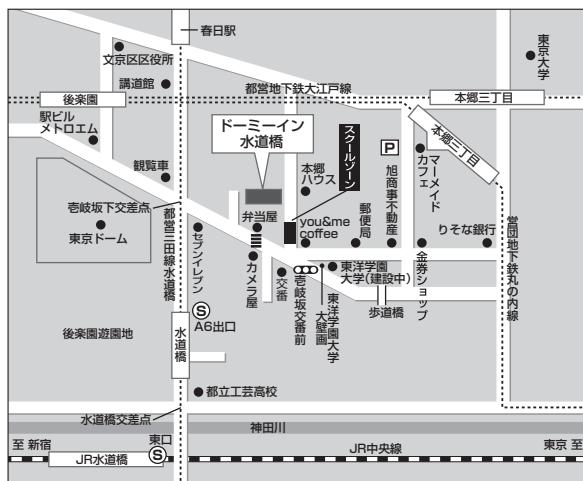
なお、掲載の宿泊施設に予約する際には、必ず「日本大学通信教育部東京（秋期）スクーリング受講生」であることを申し出てください。申し出がない場合には、通常料金となります。

ホテル（水道橋周辺）

ドーミーイン水道橋

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27
TEL (03) 3815-4790 FAX (03) 3815-4791
<http://www.hotespa.net/hotels/suidobashi>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
プチシングル	7 室	7,000 円
シングル	35 室	8,000 円
スタジオツイン	18 室	14,400 円



交 通 案 内 JR 総武線「水道橋」駅東口下車徒歩 7 分、都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩 3 分
客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷暖房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー・ビデオ・ズボンプレッサー・LAN ケーブルは無料貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DC MC JCB AMEX NICOS OMC UFJ Saison AEON Diner's Club

朝 食 1,100 円（和洋食のバイキング）

※ 男女別人口炭酸泉大浴場「楽楽の湯」（サウナ付）

ヴィラフォンティーヌ神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30
TEL (03) 3233-9990 FAX (03) 3233-9998
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
エコノミー	10室	8,500円 (通常 9,500円)
スタンダード	34室	8,500円 (通常 10,000円)
ヒーリングルーム	シングル 26室	8,500円 (通常 11,500円)
ツイン	2室	15,000円



※連泊プラン：エコノミー、スタンダード、ヒーリングルーム1名1泊あたり 8,000円

交通案内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩7分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A5番出口下車徒歩3分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー(有料)あり。ズボンプレッサーは貸出し。全室LAN回線無料(光ファイバー方式)。
※全室16m²のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
※ヒーリングルームは低反発マット使用

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 無料サービス(部屋食可)

ヴィラフォンティーヌ九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4
TEL (03) 3222-8880 FAX (03) 3222-8868
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
スタンダード	72室	8,500円 (通常 10,600円)
ヒーリングルーム	60室	8,500円 (通常 12,000円)
レディースルーム	12室	8,500円 (通常 12,000円)



※連泊プラン：スタンダードルーム、ヒーリングルーム、レディースルーム1名1泊あたり 8,000円

交通案内 JR「水道橋」駅西口下車徒歩7分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A2出口下車徒歩3分、東京メトロ東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅5番出口徒歩6分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・ズボンプレッサー・机・コインランドリーあり。全室LAN回線無料(光ファイバー方式)。
※全室約16m²のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
※ヒーリングルームは低反発マットレス使用。

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 無料サービス

東急ステイ水道橋

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-12
 TEL (03) 3293-0109 FAX (03) 3293-0109
 メールアドレス : suidobashi@tokyustay.co.jp
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/SUI/>

タイプ	室数／面積	料金（税・サ込）
シングル A	120室 / 15m ²	8,000円 1泊朝食付き (通常 10,000円)



※日本大学通信教育部秋期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。

※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。

※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交通案内 JR「水道橋」駅 東口から徒歩3分、都営三田線 水道橋駅 A1出口から徒歩4分、
 都営三田・新宿線 東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5出口から徒歩8分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・
 洗濯乾燥機・ドライヤー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス・インターネット(LAN)
 は使用料・通信費無料・全室 WiFi接続可能(無料)
 ※ゆったりサイズのバスルーム

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

2 交通案内・校舎案内

① 交通案内～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

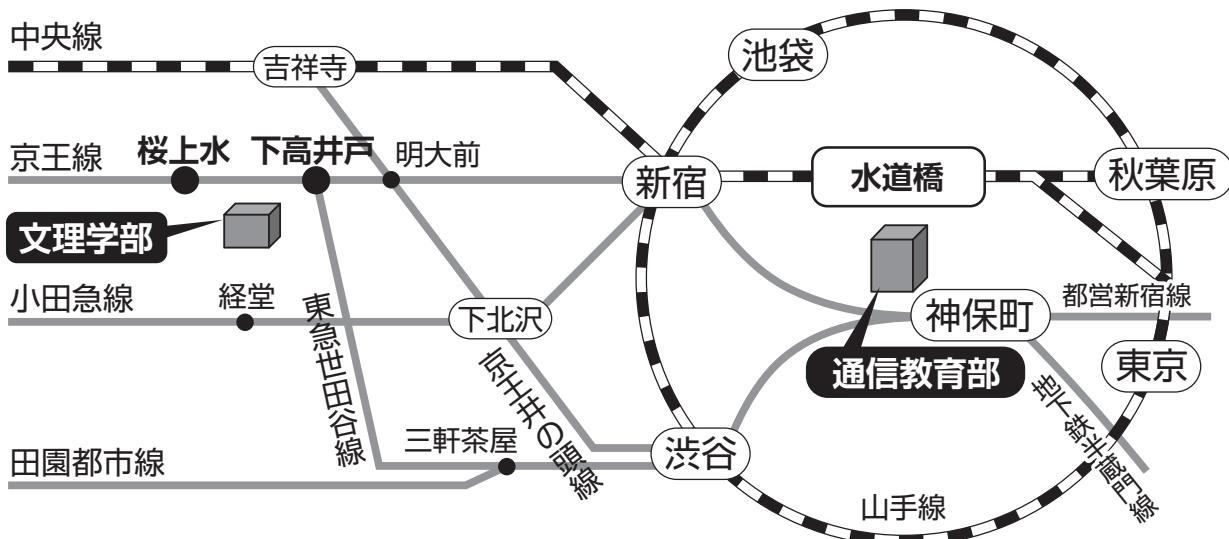
JR 中央線(1・2番線から発車する電車いずれも可)に乗車、御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、次の駅・水道橋駅下車徒歩約5分。東京駅から約15分。

〔上野駅乗継の場合〕

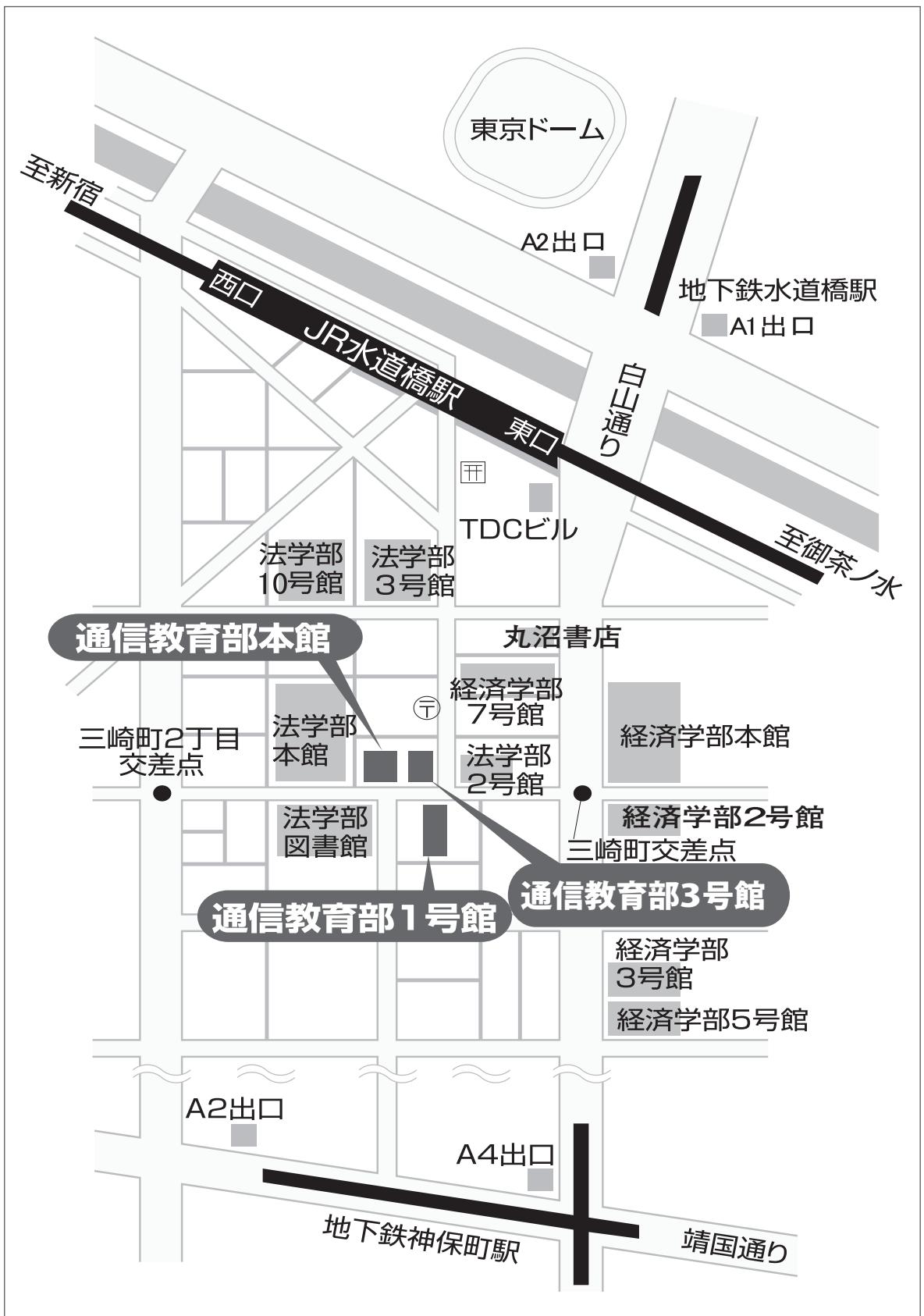
JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。上野駅から約20分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗車、秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。羽田空港駅から約50分。



② 校舎案内



- JR 中央線・総武線（各駅停車）「水道橋」駅下車 徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩 6 分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 徒歩 7 分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ エ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> [] 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生証番号・氏名・電話番号)	V-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (在学生専用サポート)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に『併用』を記入していますか	V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (④ 履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙 (⑤ リポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (① 受講届提出締切日) V-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> <推奨> 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> <推奨> 特定記録郵便で発送しましたか	V-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講許可通知書を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY
編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部